

岩手県文化財調査報告書第 165 集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(東日本大震災津波の復興事業に係る埋蔵文化財調査の総括報告)

令和 4 年 3 月
岩手県教育委員会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(東日本大震災津波の復興事業に係る埋蔵文化財調査の総括報告)

岩手県教育委員会

序

岩手県の沿岸部に甚大な被害をもたらした、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波の発災から 11 年が経過しました。震災後、各地で災害公営住宅の建設、防災集団移転事業等、居住地の高台への移転計画が策定されるとともに、復興道路・復興支援道路の建設が急がれることとなりました。これにより、岩手県教育委員会では、埋蔵文化財の保護と復興事業の推進を両立させるため、文化庁の調整により、他道府県から延べ 41 名の専門職員を派遣いただき、増員された岩手県職員とともに、沿岸市町村教育委員会への調査支援を含む、膨大な埋蔵文化財調査に対応してまいりました。沿岸市町村においても、自治体派遣による全国市町村からの派遣職員の活躍は、復興事業の加速化に大きく貢献するものとなりました。

令和 3 年度現在、復興事業に係る埋蔵文化財調査は、県・市町村事業ともにほぼ終息を迎え、造成が完了した高台・集団移転地では、大規模開発や個人住宅、企業店舗・施設の再建等、公共・民間開発事業が着実に進められています。

また、復興道路である三陸沿岸道路は、国のリーディングプロジェクトとして「命の道」と位置づけられ、最終区間（久慈～普代間）が令和 3 年 12 月 18 日に開通し、青森県八戸市から宮城県仙台市までの 359 km が、一本の自動車専用道路で結ばれることとなりました。

本書は、発災から 10 年を経た節目として、おもに岩手県教育委員会が実施した埋蔵文化財の復興調査を総括する報告書として発刊したものです。本書が震災・復興対応当時の記録としてのみならず、今後の災害対応の参考となれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの復興調査及び報告書作成に御協力をいただきました関係機関・各位に厚く感謝を申し上げます。

令和 4 年 3 月

岩手県教育委員会
教育長 佐藤 博

例 言

- 1 本書は岩手県教育委員会が実施した、県内遺跡発掘調査事業（復興関係）に係る調査成果の総括報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、県埋文センターと略記）及び関係市町村教育委員会の協力を得て実施した。
- 3 令和3年度の組織体制は次のとおりである。
（埋蔵文化財担当総括） 上席文化財専門員 半澤 武彦
（予算・経理） 文化財専門員 長屋敷 淳史（事業担当兼務）
（事業担当） 文化財専門員 佐々木 務・高橋 祐・吉田 充・鎌田 勉
 会計年度任用職員 尾形 文子・米田 奈美・阿部 彩海
- 4 文章執筆は主にⅠ・Ⅲ章：長屋敷・半澤、Ⅱ章：半澤・佐々木、Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ章：高橋、Ⅴ・Ⅷ章：吉田、Ⅸ章：鎌田が行い、編集・校正は高橋が担当した。

目 次

序

例言

Ⅰ章 経過	1
Ⅱ章 埋蔵文化財保護への対応（行政）	5
Ⅲ章 復興調査における調査体制	13
Ⅳ章 埋蔵文化財保護への対応（調査）	17
Ⅴ章 市町村支援	35
Ⅵ章 遺跡登録	39
Ⅶ章 普及啓発	43
Ⅷ章 埋蔵文化財保護マニュアルの改訂	45
Ⅸ章 総括	47

I 章 経過

年度	月日	文化庁・その他省庁	岩手県
H23	3/11	東日本大震災津波の発災	
	3/14～		山形部各市町村教委へ安否確認開始・文化庁への報告継続
	3/16	兵庫県教育委員会から阪神淡路大震災当時のマニュアルが届く	
	3/23	東北地方太平洋沖地震に伴う復旧工事に係る埋蔵文化財に関する文化財保護法の規定の適用について（通知）	
	3/28		平成23年東北地方太平洋沖地震被害に係る緊急要望を文部科学省へ提出
	4/15	第1回東日本大震災復興懇話会	出土文化財レスキュー実施（大槌町）コンテナ100箱
	4/18		平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波によって被災した埋蔵文化財の届出等 について（依頼）
	4/18		埋蔵文化財関係レスキューに係る職員の派遣について（依頼）
	4/20		文化財の復旧に係る財政支援及び弾力的な運用を文部科学省へ要望
	4/21		遺物レスキュー実施（陸前高田市）コンテナ200箱
	4/28	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知）	
	5/13-15	陸前高田市視察（文化庁）	
	6/14		東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知）
	6/18		生活の平常化に向けた市町村との意見交換会
	6/24	東日本大震災復興基本法施行	
	6/29	岩手県視察（文化庁）	平泉の文化遺産が世界遺産に登録 宮古市 文化財保護の特例制度を復興対策担当大臣へ要望
	6/30		災害復旧に伴う埋蔵文化財調査等への人的・財政的支援を文部科学省へ要望
	7/11		第1回山形市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（宮古市）
	7/13	第1回三県一市会議（宮城県）	
	8/10	宮古市・大船渡市訪問（文化庁）	
	8/11		岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画を策定
	8/12	総務省打ち合わせ（専門職員派遣について）	
	9/2	第2回三県一市会議（岩手県）	
	9/30	埋蔵文化財専門職員の派遣について要請	
	10/12		第2回山形市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（宮古市）
	10/23	第3回三県一市会議（福島県）	
	10/27		東日本大震災からの復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知）
	11/7	第4回三県一市会議（宮城県）	
	12/6-7	平成23年度埋蔵文化財・史跡保護行政担当者会議にて支援要請	
	12/13	第5回三県一市会議（東京都）	
	12/19-21	復興交付金説明会	
	12/26	東日本大震災復興特別区域法成立	
1/6	東日本大震災復興交付金制度要綱制定		
1/17	東日本大震災復興交付金交付要綱制定		
1/18	第6回三県一市会議（東京都）		
1/18	平成24年度派遣に係る説明会		
1/20	復興交付金事業計画説明会（岩手県）		
2/10	復興庁設置	岩手復興局設置	
2/24	東日本大震災に係る派遣の経費を全額国庫負担とする決定		
2/26	第7回三県一市会議（東京都）		
3/6-7	復興交付金事業計画説明会（宮城県・岩手県）		
3/22	第8回三県一市会議（仙台市）		
H24	4/2	第9回三県一市会議（福島市）復興交付金第1回交付職員派遣開始（県教委へ10名・市町村へ11名）	
	4/13		復興道路・復興支援道路の調査を開始（延べ187km）

年度	月日	文化庁・その他省庁	岩手県
R24	4/17	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知）	
	4/23	平成24年度派遣議員会議（福島市）	
	5/18		被災市町村への議員派遣等連絡会議（第1回）
	5/22	第10回三基一市会議（盛岡市）復興局参加開始	
	5/28		第1回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	6/7	復興庁政務官が山田町の調査現場を視察	
	6/11		復旧・復興ロードマップ（総括工程表）を発表
	6/19	復興交付金事業計画説明会（盛岡市）	
	6/25	臨時埋蔵文化財担当者会議	
	6/26		第2回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	7/24	第11回三基一市会議（東京都）	
	8/1		田野畑村野場1遺跡発掘調査開始（防災集団移転に伴う初の発掘調査）
	8/21-22	岩手県沿岸調査現場視察（文化庁）	
	8/23		県教育長調査現場を視察（野田村・田野畑村）
	8/24		第3回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	8/28	第12回三基一市会議（仙台市）	
	9/1		第1回内陸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	9/27	文化庁文化審議会（史跡部会）視察（岩手県高田市・大船渡市・釜石市）	
	10/17		東日本大震災からの復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知）
	11/2	平成24年度第2回派遣議員会議（盛岡市）	
	11/28-29	平成24年度埋蔵文化財・史跡担当者会議で支援要請	
	12/1	第13回三基一市会議（仙台市）	
	12/4	文化庁次長視察（田野畑村・宮古市）	
	12/21	奈良朝による調査迅速化プロジェクト（野田村）	
	12/26		第4回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	1/16-17	第14回三基一市会議（東京都）	
	1/21		第5回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）
	2/16		埋蔵文化財講座・連絡報告会
	2/18	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する平成23年4月23日付け文化庁次長通知（23庁第61号）について（通知）	
	2/22	第1回復興再建・復興まちづくりの加速化のためのタスクフォース	
	2/26-28	岩手県沿岸視察（文化庁）	
	2/28	文化庁部長・文化財部長視察及び大船渡市・岩手県高田市長訪問	
3/4	自民党から発掘調査の迅速化の緊急提言		
3/11	安倍首相（当時）が発掘調査の迅速化を明言		
3/14		第6回沿岸市町村埋蔵文化財保護行政担当者会議（盛岡市）	
3/15	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（通知・回答）東日本大震災の復興に伴う防災集団移転促進事業における埋蔵文化財発掘調査の実施に関する取扱いについて（通知）	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（回答）	
3/21	第15回三基一市会議（福島市）		
3/23		復興連絡会議（第2回）	
3/25	独立行政法人国立文化財機構に発掘調査支援を要請		
R25	4/5	職員派遣（岩手県8名・市町村27名・財団3名）宮古市・山田町訪問（文化庁）	
	4/8-26	青森県教育委員会による宮古市への支援	
	4/19	平成25年度第1回派遣議員会議	
	4/24		文化庁・沿岸市町村担当者会議（盛岡市）

年度	月日	文化庁・その他省庁	岩手県
R25	5/9	岩手県協議（民間調査組織の導入）	
	5/10	岩手市・大槌町訪問（文化庁）	
	5/21		復興道路整備促進連絡会議
	5/28	平成24年度派遣委員の派遣元に対し感謝状を贈呈	
	6/11	第16回三県一市会議（宮城県）	
	7/26		岩手県派遣専門職員会議（盛岡市）
	7/30	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のための派遣された職員の見学管理について（依頼）	
	9/9-10	奈文研 渡辺特別研究員視察（岩手・内陸）	
	10/4	平成25年度第2回派遣職員会議・第17回三県一市会議（福島県）	
	10/29		市町村担当者会議
	10/31	復興庁岩手復興見学使	
	11/11	大槌町視察（文化庁）	
	11/28-29	平成25年度埋蔵文化財・史跡保護行政担当者会議で支援要請	
	12/5	第18回三県一市会議（東京都）	
	12/13-14		沿岸担当者会議（盛岡市）
	1/24	平成26年度派遣説明会	
	2/6-7		いわて復興回覧会・感謝の集い
	2/13		復興道路整備促進連絡会議
	2/15		埋蔵文化財講座・遺跡報告会
	3/13	第19回三県一市会議（盛岡市）	
3/31		岩手県東日本大震災津波復興実施計画（第2期）を策定	
R26	4/1	職員派遣（岩手県12名・市町村21名・財団6名）	
	4/24		文化財行政研修
	4/25	平成26年度第1回派遣職員会議（盛岡市）	
	5/16		復興道路会議
	5/20	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の迅速化のための域内市町村間の協力について	
	5/29	徳前高田市視察（文化庁）	
	6/4	平成25年度文化庁表彰	
	6/25	第20回三県一市会議（福島市）	
	7/25		県内派遣職員会議（盛岡市）
	8/20-21	徳前高田市・洋野町視察（文化庁）	
	9/5	岩手県視察（文化庁）	
	9/24		沿岸担当者会議
	10/1	第21回三県一市会議（仙台市）	
	11/13	平成26年度派遣職員会議（盛岡市）	
	12/2-3	平成26年度埋蔵文化財・史跡保護行政担当者会議で支援要請	
	12/15	第22回三県一市会議（仙台市）	
	1/9		県内派遣職員会議
1/16		復興県土づくりシンポジウム（盛岡市） 兵庫県柏原専門員発表	
1/17-18	宮神浜路大震災復興シンポジウムに出席（明石市ほか）		
2/14		埋蔵文化財講座・遺跡報告会	
3/5	第23回三県一市会議（盛岡市）		
R27	4/1	職員派遣（岩手県8名・市町村12名・財団5名）	
	4/7		復興計画説明会
	4/17		市町村教委との意見交換会
	4/21		復興道路整備促進連絡会議
	1/23		文化財保護行政研修
4/24		派遣専門職員会議（福島市）	

年度	月日	文化庁・その他省庁	岩手県
H27	6/17	平成26年度文化庁表彰	
	7/8	楳野勝直山を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録	
	7/14	第24回三県一市会議（福島市）	
	8/28		沿岸担当委員会会議（盛岡市）
	10/10-11	平成27年度埋蔵文化財・史跡保護行政担当委員会支援要請	
	10/11		国交省連絡会議
	10/29	平成27年度派遣職員会議（仙台市）	
	1/14	発掘された日本列島展（岩手県立博物館）	
	1/29	第25回三県一市会議（盛岡市）	
	2/6		埋蔵文化財講座・遺跡報告会
	3/23	第26回三県一市会議（仙台市）	
		東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護 中間報告	
H28	4/1	職員派遣（岩手県3名・市町村1名・財団3名）	
	4/21-22	岩手県沿岸復興（文化庁・復興庁）	
	4/22	平成28年度第1回派遣職員会議（盛岡市）	
	4/27		復興道路整備促進連絡会議
	4/28		文化財保護行政研修
	5/12		沿岸担当委員会出席・復興交付金説明会
	5/13		復興道路会議
	6/16	平成27年度文化庁表彰	
	7/27	第27回三県一市会議（福島市）	
	8/12	文化庁視察（近江調査官）	
	10/14	平成28年度第2回派遣職員会議（福島市）	
	1/22		復興県土づくりシンポジウム（盛岡市） 神崎議員志趣専門員発表
	3/9-10	文化庁視察（宮古市・釜石市・大船渡市・陸前高田市）	
	3/17	第28回三県一市会議（仙台市）	
		東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取り組み（報告）行政対応編・発掘調査の取組と活用へ取組編が刊行	
H29	4/27		文化財保護行政研修
	5/13		市町村担当委員会
	6/19		復興道路整備促進連絡会議
	7/6	平成28年度文化庁表彰	
	1/20		復興県土づくりシンポジウム（盛岡市） 埼玉県藤上康孝専門員発表
	1/23-24		派遣職員説明会（福島県）
	3/30		岩手県東日本大震災津波復興実施計画（第3期）を策定
H30	4/1	職員派遣（市町村1名）	岩手県から福島県へ職員派遣（1名）
	4/25		文化財保護行政研修
	6/14-15		福島県訪問
	8/29-31	平成30年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会（文化庁主催・釜石市会場）	
	1/17-18		派遣職員説明会（福島県）
	1/26		埋蔵文化財講座・遺跡報告会
R1	3/19		派遣職員会議
	4/1		岩手県から福島県へ職員派遣（1名）
	4/24		文化財保護行政研修
	7/4		市町村担当委員会
	8/2	発掘された日本列島（花巻市）	
R2	2/1		埋蔵文化財講座・遺跡報告会
	3/26	復興事業により確認された原形遺跡（釜石市）が国指定史跡へ	
R3	3/30		岩手県文化財保存活用大綱策定
	4/21		文化財保護行政研修
	1/29		埋蔵文化財講座・遺跡報告会

II 章 埋蔵文化財保護への対応（行政）

1 被災状況

（1）岩手県における被災状況の概要

東日本大震災津波による被害状況は、岩手県沿岸北端部に位置する洋野町から、南端部の陸前高田市に至るまでの5市4町3村 58 ㎧において、津波による壊滅的な被害が発生し、津波の遡上高は最大で23.8m、死者4,672名、行方不明者1,126名、家屋倒壊数26,165棟に及ぶ甚大な被害となった。

一方、津波の影響がなかった内陸部においても、地震による行方不明者5名、家屋被害1,845棟にのぼった。被災から10年を経過し復興が進んだ今でも、現地には未だにその爪痕を残すところが見られる。震災による被害額は、本県におけるGDP値1年分（岩手県復興局による試算）に相当するという。

（2）文化財への被害状況

平成23（2011）年3月11日の発災により、岩手県内の文化財も大きな被害を受けたが、同年4月7日に発生した大規模な余震でも、場所によっては本震よりも大きな被害となったことを忘れてはならない。

本震と余震により被害を受けた文化財は、国指定等が64件、県指定28件、市町村指定74件の計166件であった。内訳は、建造物78件、伝統的建造物群保存地区1件、美術工芸品38件、史跡及び名勝21件、無形民俗文化財17件、天然記念物9件、有形民俗文化財が2件となっている。

建造物への主な被害として、沿岸部の陸前高田市では、国の登録有形文化財であった酔仙酒造が津波により滅失（下写真）となり、かつて気仙郡を統括した大肝入の屋敷跡である吉田家住宅（県指定有形文化財（現 旧吉田家住宅主屋）も甚大な被害を受けた。一方で内陸部の盛岡市、一関市においても、地震の揺れによる建造物への大きな被害があった。



写真 震災直後（H23.4）の酔仙酒造（陸前高田市：国登録有形文化財）

(3) 安否確認・被害状況の把握

行方不明者の捜索が最優先されるなかでは、震災直後に文化財や埋蔵文化財包蔵地等の確認が憚られる状況にあり、被害の確認に着手できるまで時間を要することとなった。被災後の数週間は、沿岸市町村教育委員会の担当者の安否確認を行ったものの、通信手段の寸断が続いたことから、個人的な携帯電話や隣接市町村担当者からの情報等を頼りに、地道な確認作業が続けられた。その結果、避難誘導にあたった陸前高田市教育委員会の担当者をはじめ、文化財関係者4名が震災の犠牲となったことが判明した。

岩手県庁では、震災直後から非常電源が稼働したことにより、PCメールでの県内内陸市町村担当者や文化庁との連絡手段が確保され、阪神淡路大震災を経験した兵庫県教育委員会からは、震災直後に御見舞の連絡とともに、震災当時の初動体制をまとめた資料等がメールで届けられた。

安否と被害状況の確認作業とともに、今後予想される復興開発事業への対応に備え、緊急に国土地理院が作成した津波浸水域の地図上に、周知の埋蔵文化財包蔵地を合成させた図面の作成に着手した。作業が進むにつれて、沿岸部の高台に数多くの遺跡が分布している状況をあらためて認識させられることとなり、メディアから「高台移転」という用語が広く喧伝され始めた。次第に復興事業の進展には、大規模な範囲の埋蔵文化財調査が不可避であることを認識させられることとなる。



遺跡の存在が「高台移転の壁」とされた新聞報道 (H24.7.7 読売新聞)



高台移転の「壁」とする報道（H25.4.11 テレビ朝日スーパーJチャンネル）

（４）復興に向けた初期の対応

震災からほぼ1か月が経過しようとする3月の下旬に公用車確保の目途が立ったことから、沿岸市町村の国指定史跡や埋蔵文化財包蔵地の現地確認に着手した。国指定史跡や埋蔵文化財包蔵地は、一部で冠水や崩落が見られたものの、流出・滅失したものはなかった。被害が甚大なため、4月になっても通常の公共事業が再開される兆しはなく、県埋文センターの発掘調査事業も、着手ができなかった。

やがて、沿岸部の陸前高田市、大槌町、山田町の出土遺物収蔵庫が被災したとの情報が寄せられたことから、流出した保管遺物の回収が、県教育委員会から内陸市町村等への呼び掛けで始まった。岩手県立博物館、県埋文センター、内陸市町村教育委員会の人的支援等により、収蔵庫の周辺に埋没・散逸した遺物の回収を行った。特に被害が著しかった陸前高田市では、県立博物館がその後も継続的な回収作業に取組み、大コンテナ換算で約1,200箱の保管遺物を回収することができた。



被災により散逸した出土文化財の回収（H23.4 左：陸前高田市、右：大槌町）

また、古文書や書籍類については、津波により海水、海砂、泥による深刻な被害を受けたことから、内陸部の市町村教育委員会による資料の回収、運搬とともに、国の関係機関や岩手県立博物館を中心とした文化財レスキューが行われ、11年を経た現在でも陸

前高田市の被災資料を中心に被災ミュージアム再興事業として、地道な修復作業が続けられている。

2 埋蔵文化財保護に向けての諸課題とその対応について

(1) 被災した沿岸部の遺跡調査について

本県では内陸部において、東北自動車道や東北新幹線等の大規模事業により、昭和47(1972)年から本格的な行政目的の記録保存の発掘調査が行われてきた。

一方、被災した沿岸部では、内陸部のような大規模事業に伴う開発事業が少なく、埋蔵文化財調査は限定的なものであったことから、遺跡の把握には、事業予定地の広大な範囲の現地踏査が不可欠であった。このため、復興事業とともに進められた現地踏査によって行われた分布調査や試掘調査では、新規の遺跡発見が相次ぎ、大規模な本発掘調査が相次いで実施されることとなる。

(2) 被災地における復興事業計画の策定について

震災から1か月を経過した頃から、沿岸の市町村では相次いで復興基本方針が策定され、平成23年度内に全ての被災自治体で新たな復興計画が策定された。この計画では、各市町村が主に「住民生活の再建」、「災害に強いまちづくり」、「産業・経済の再建・復興」を中心に据えられたが、自治体によっては、「歴史文化を生かしたまちづくり」など、今後の地域の再興に、「歴史や文化」が不可欠であることを明示したところもあった。

復興事業計画は、復興基本方針に沿って具体的な事業が計画されることとなったが、今後の津波被害を未然に防ぐため、高台に居住地を大規模に移転させる「防災集団移転促進事業(防集)」、漁業集落の防災機能を強化する「漁業集落防災機能強化事業(漁集)」、「土地区画整理事業」、「災害公営住宅」等において、各事業の候補地と埋蔵文化財包蔵地の所在地が重複しないよう、幾度も調整を重ねた。計画の段階で、遺跡や遺跡の可能性のある土地を回避ができない場合は、試掘調査の実施と開発部局との協議により、遺跡を回避するための再調整等をあらためて行い、極力、発掘調査に至らないように努めた自治体も多かった。

このことは、緊急を要する復興事業といえども、相互の立場で協議を重ねたことにより、開発と遺跡保護の両立が可能となったことを示すものである。

(3) 復興道路・復興支援道路への対応について

震災前までは、沿岸部を縦に結ぶ主要道路は国道45号線のみ依存する状況で、昭和62(1987)年6月の第四次全国総合開発計画(四全総)の閣議決定により、現道を抜本的に改良する三陸縦貫自動車道(震災後は三陸沿岸道路に改称:以下、三陸道)の建設が始まったものの、建設と供用はごく一部区間において、細々と行われているに過ぎなかった。

しかし震災により、三陸道が津波の影響を受けず、被災者の避難や支援助資の輸送に大きく貢献したことで、沿岸地域の「命の道」として広く認知されることになったことから、平成23年11月21日に国の第三次補正予算の成立を受け、青森県八戸市から宮城県仙台市までの359kmを、一本の高規格道路で結ぶ「復興道路」の建設事業が急遽開始された。

これとあわせて、県を横断する道路についても、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石自動車道）の延長工事と、国道106号を大幅に改築する宮古盛岡横断道路の計画が「復興支援道路」として事業採択されることとなり、これまで経験したことのない大規模なプロジェクトが一気に始動した。

このため、平成23年度末から24年度当初にかけて国土交通省（三陸国道事務所、岩手河川国道事務所、南三陸国道事務所）、県庁県土整備部との膨大な協議が始まり、全線を発災後5年（のちに10年）で開通させるリーディングプロジェクトとして、埋蔵文化財調査はよりスピード感を持って臨む体制の構築が不可欠となった。



主な復興道路・復興支援道路（国土交通省東北地方整備局 HP より）

国土交通省からは、復興道路・復興支援道路の新規事業区間（岩手県内分）について、平成 24 年度と 25 年度で分布調査と試掘調査を完了させ、発掘調査を平成 25 年度に開始することで、当初の目標どおりに全線の供用が可能となる見通しと示されたことにより、県教育委員会で他県からの専門職員の派遣支援を受けて、期限内での事業遂行を目標に見据えて、分布・試掘調査に着手することとした。

（４）直面した開発事業と埋蔵文化財保護の課題

道路建設や高台移転に伴う復興事業が本格的に動き出すにつれて、事業者側との協議が幾度も重ねられた。協議の場では毎回のように、周知の埋蔵文化財包蔵地だけでなく、遺跡の可能性のある場所についても、遺跡の有無を判断する試掘調査を必要としたことで、根拠の説明を幾度も求められた。

この疑問に対しては、工事着手後に予期せぬ遺跡の発見（不時発見）があれば工事の中断が避けられず、復興事業に大幅な遅滞が生じる可能性を極力防ぐためであることを丁寧に説明していった。この地道な説明と調整が、結果として復興事業を円滑かつ迅速に進められる最善の近道であったことを強く実感している。

（５）復興道路・復興支援道路事業における埋蔵文化財調査の調整

調査への本格的な着手にあたり、復興道路の新規事業区間にどの程度埋蔵文化財が所在または遺跡の可能性があるかを、早期に把握するための分布調査（現地踏査）が必要となった。前述のとおり、沿岸部では震災前まで大規模な開発事業が少なく、文化財の専門職員が配置されていない自治体が複数あったことから、未知の埋蔵文化財が相当数所在している可能性が想定された。平成 24（2012）年には、文化庁の取りまとめによる、全国の道府県から埋蔵文化財を担当する専門職員 10 名による派遣支援を受けることが

できた。この支援により、人海戦術による復興道路・復興支援道路の予定地を中心とした大規模な分布調査に着手した。

その結果、踏査中の遺物採取や、遺跡の可能性のある場所について絞り込み（全 233 か所、約 300 ㎩）を行い、順次試掘調査に着手していくことができた。

この調査と並行して、埋蔵文化財調査が不要で工事着手が可能と判断された箇所については、早速に事業者側に通知され、工事が逐次着工されることとなった。



全国から集まった派遣専門職員を伝える新聞記事（H24. 4. 14 岩手日報）



復興道路の現地踏査を行う派遣専門職員（H24 左：田野畑村、右：洋野町）

（6）沿岸市町村による埋蔵文化財調査の調整

震災前から専門職員が配置されていた自治体では、震災後の混乱状況下ではあったものの、復興事業と埋蔵文化財調査の両立に向けた協議が進められていた。一方で、専門職員が未配置であった市町村については、県教育委員会が計画段階から参加し支援を行ったが、市町村によっては、首長部局だけでなく教育委員会内においても、埋蔵文化財調査は全て県が行う、または行ってくれるものとの誤った認識を持っていたところがあった。このことは自治体によっては、埋蔵文化財保護行政の仕組みが十分に認知されてこなかったものと考えられ、震災を契機に、埋蔵文化財保護行政の理解と専門職員の必要性をあらためて認識した。

（7）被災地に特化した埋蔵文化財の取扱い方針について

平成12年度より、埋蔵文化財の取扱いが国から都道府県に権限委譲されたことが、阪神淡路大震災からの復興調査時とは異なる部分である。

埋蔵文化財調査が復興の妨げとならないよう、震災復興調査に特化したマニュアルの策定を見据え、沿岸地区を中心とした、県内の文化財担当者を対象とした会議を複数回開催し議論を重ねた。その際に沿岸市町村の担当者から、復興調査に特化したマニュアルを別途策定することは理解できるが、「通常分」と「被災分」からなる2種類のマニュアルの存在は、被災地に二重の基準をもたらし、新たな混乱が生じる可能性が指摘された。確かに、沿岸自治体といえども津波の影響を受けなかった内陸部での事業計画もあり、担当者のみならず事業者側にも混乱を生じさせる可能性が十分に考えられた。

このため、県教育委員会では再度検討を行い、「岩手県では、震災復興調査マニュアルを策定しない。そのため、人的体制を充実、最新機器を導入することにより、調査の効率化と迅速化を図り、埋蔵文化財の取扱いは通常通りの基準で進めることとする。」（平成24年10月17日付け教生第973号）とした文書で通知することとした。これにより、盛土造成時の道路等における取扱いについては、被災三県で異なることとなった。（12ページ参照）

沿岸市町村の年度別文化財保護法第93・94条提出件数 (H23～R2)

市町村名		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2
洋野町	93条	0	0	3	2	2	4	10	9	6	7
	94条	4	0	1	2	0	1	0	4	6	2
久慈市	93条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	94条	10	0	4	1	2	2	0	3	2	0
野田村	93条	3	10	10	3	4	1	5	7	5	5
	94条	7	6	7	2	4	0	0	2	3	6
普代村	93条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	94条	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0
田野畑村	93条	0	0	6	5	5	4	6	8	9	1
	94条	14	9	3	2	2	32	5	4	22	2
岩泉町	93条	5	12	1	5	7	1	6	4	8	6
	94条	2	1	0	0	0	2	2	6	3	2
宮古市	93条	27	41	38	44	34	55	42	37	20	47
	94条	40	57	43	49	29	43	49	54	35	46
山田町	93条	6	8	9	10	14	5	10	5	4	3
	94条	13	4	10	13	15	0	1	0	0	0
大槌町	93条	1	13	26	24	10	10	2	2	0	1
	94条	0	2	17	9	3	4	0	1	1	0
釜石市	93条	15	11	23	21	18	25	18	13	10	8
	94条	13	31	8	4	0	6	3	6	1	7
大船渡市	93条	31	57	72	73	36	30	25	36	23	34
	94条	4	20	5	12	16	13	11	13	12	11
陸前高田市	93条	15	44	99	93	52	53	56	37	21	24
	94条	4	30	32	15	17	16	3	1	1	3

※届出及び通知件数は沿岸市町村から提出のあった数を集計した。

※93・94条を権限移譲している久慈市及び大槌町には件数について協力をいただいた。

教 生 第 973 号
平成 24 年 10 月 17 日

沿岸市町村教育委員会 様

沿岸教育委員会事務局
生涯学習文化課総務課長

東日本大震災からの復興事業に伴う地域文化財の取扱いについて（通知）
※頃、本課の保護文化財係執行部に御連絡と御協力をお願いする所と承知申し上げます。

さて、今年度も下半期に入り、復興事業の本格化に伴い、事業員からの保護文化財の取扱いに係る問い合わせも増えてきておりますが、沿岸市町村において、復興事業に係る保護文化財調査と、消滅復興事業に係る保護文化財調査とが同時に発生した際、同一市町村内において異なる取扱いとした場合は混乱を招く恐れがあります。

つきましては、お知らせの保護文化財の取扱いについては、原則の平成 22 年 3 月 31 日付け教文第 1341 号により通知しているところですが、復興事業に係る保護文化財調査についても従来どおりお知らせし、高づき取りを促すようお願いいたします。

なお、復興事業に伴う保護文化財調査の実施に当たっては、復興と保護文化財保護の両方を念頭に、発掘調査の発掘が完了するまで十分な調査に努めるとともに、被災状況が事業員への理解と協力を得るため、被災状況や事業員等に対して、事前説明及びその取扱い等について積極的かつ丁寧な説明を行うようお願いいたします。

照 当 生涯学習文化課 保護文化財係担当
文化財専門員 望 志 久
電 話 019-629-6180
FAX 019-629-6179
E-mail kane-tanaka@nissai.ac.jp

被災地でも通常の調査対応を行うこととした通知（平成 24 年 10 月 17 日付け教生第 973 号）

III章 復興調査における調査体制

1 本県の調査体制の構築について

震災以前の県における調査体制は、国・県事業に係る大規模な公共事業を、県教育委員会が事前協議から取扱いの判断までを行い、記録保存が必要と判断した場合は（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、県埋文センターと呼称）が実施してきた。市町村では、主に個人住宅や市町村独自の公共工事等を対象に、市町村の教育委員会が調整から発掘調査まで実施してきたが、場合により県が調整を行い、発掘調査を県埋文センターが受託した実績があった。

また、専門職員が不在の市町村では、要請に応じて県が支援する形で調整や調査を実施してきたケースもあり、震災前から構築されている県と市町村の役割分担と支援体制を、震災復興調査でも活かすことが可能と判断した。

ほとんどの沿岸市町村で復興事業に伴う発掘調査が必要となり、文化財保護部局と復興事業開発部局との埋蔵文化財保護の調整・協議が開始された。未曾有の大震災からの復興計画策定は困難を極め、それに伴う埋蔵文化財調査についても保護の在り方、調査方法、スピードなど今までの常識が当てはまるものではなかった。そこで、県教育委員会では、専門職員未配置の市町村も加えて、市町村との個別協議や沿岸担当者会議を開催し、今後の復興計画と埋蔵文化財調査への対応の検討を開始したが、何よりも調査に携わる専門職員が圧倒的に不足している現状が最大の課題であった。

復興調査の対応について、調査の省略などを求める声も出る中、従来通りの対応としたのは、文化財保護法を遵守するとともに、これまでのノウハウが崩れ混乱が助長されることを防ぐことと災害時であっても埋蔵文化財保護を確実に進め地域の宝を大切に扱うことが真の復興事業であるという信念に基づくものであった。

そこで、県、市町村の状況を踏まえ、今後の調査体制について、三県一市会議や沿岸市町村担当者会議、個別での協議を進め、国の支援により全国自治体からの派遣職員を要請し、対応を図ることとなった。

2 県・市町村の体制づくりと派遣職員の要請

(1) 県教育委員会

本県の埋蔵文化財保護行政の主管は、県教育委員会事務局生涯学習文化課（平成29年度から生涯学習文化財課に改組）の埋蔵文化財担当であるが、震災直後の平成23年度当時は、わずか4名による体制で対応していた。平成24年度からは、復興調査が本格化する可能性が生じたことから、県職員を9名に増員するとともに、派遣職員を要請し対応した。復興調査のピークは平成26年度といえるが、派遣職員の要請は平成28年度まで継続し、県はもちろん市町村の復興調査にも携わった。県では復興事業の推移を見ながら、平成24年度から平成28年度までの5か年にわたり、のべ41名による全国の道府県から支援をいただいた。派遣者の内訳人数は、北海道4、青森県3、秋田県3、群馬県1、埼玉県2、千葉県1、山梨県1、静岡県5、滋賀県3、大阪府2、兵庫県2、

大分県2、熊本県2、鹿児島県2、沖縄県1である（下線は1名で2年継続の派遣があったところ）。また、県職員の市町村への直接派遣も行われた。

県教育委員会における調査体制（人）表

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県職員	4	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
派遣職員	0	10	8	12	8	3	0	0	0	0	0
計	4	19	17	21	17	12	9	8	8	8	8

（2）市町村

市町村への派遣職員が本格化したのは平成25年度からである。それまで、徐々に明らかになってきた復興事業計画とそれに伴う調査量増大への対応として、増員された県教育委員会職員で復興班を構成し支援にあっていたが、復興事業が加速的に増加・本格化し人員不足が顕著となっていた。

市町村への職員派遣（人）表

自治体	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮古市	0	1	6	5	4	1	0	0	0	0	0
大船渡市	0	3	4	2	1	0	0	0	0	0	0
陸前高田市	0	2	5	4	2	1	1	1	0	0	0
釜石市	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0
大槌町	0	1	3	2	2	0	0	0	0	0	0
山田町	0	3	5	6	1	0	0	0	0	0	0
野田村	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
計	0	11	27	21	12	2	1	1	0	0	0

（3）三県一市会議と派遣職員の支援要望

復興事業の進捗に伴い、埋蔵文化財調査の急激な本格化が想定されたことから、平成23年度から文化庁主催の「東日本大震災に伴う埋蔵文化財保護に関する会議」（以下、三県一市会議：岩手県・宮城県・福島県・仙台市で構成）が、被災各県と仙台市の持ちまわりにより開催された。この会議に合わせて、岩手県が会場となった際は、沿岸及び県内市町村埋蔵文化財担当者による会議を合わせて開催し、復興事業の進展と復興計画の変更等を見据えながら、事業量の早期把握、対応方法、必要な派遣職員数を集約することとした。会議では、本格化する復興調査に対応するために、阪神淡路大震災時における復興調査での支援体制を参考に、専門職員の派遣に向けて、全国的な調整を文化庁に要望した。詳細な協議内容は別章で触れるが、三県一市による会議は、平成28年度まで計27回開催された。また、本会議と並行して、奈良文化財研究所客員研究員（文化庁文化財部非常勤調査員）の渡辺伸行氏（旧神戸市教育委員会）が、被災三県の被災地に幾度も現地入りされ、阪神淡路大震災対応時の助言をいただいた。

(4) 沿岸市町村の体制構築と職員派遣の要望

文化庁による調整を経て、沿岸市町村に直接、全国からの専門職員が派遣されるのは平成25年度以降であるが、自治体によっては早急に体制を構築するため、独自の災害派遣協定、内陸自治体との横断連携、総務省ルートの自治法派遣を活用し、平成24年度から専門職員派遣を受け入れた。

市町村により、事業量の急激な増大や計画変更等が生じ、市町村での対応が困難となった場合は、県教育委員会が復興支援班を組織し、市町村教育委員会を支援する形で、県と市町村共同での調査対応を行った。また、沿岸地区担当者会議において、更に事業量の増加が想定される平成25年度以降については、直接的な専門職員の派遣要望が寄せられたことから、被災市町村への直接的な派遣を文化庁に要望した。

(5) 県埋文センターの体制構築

復興事業が進み、復興調査が大幅に増加することが見込まれたことから、急遽、体制の充実を図ることとした。県埋文センターの調査体制の変遷及び調査面積は下表のとおりである。調査面積は平成25年度から5年間にわたって10万㎡前後となっている。特に、復興道路関連では三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、東北横断自動車釜石秋田線は全長359kmに及ぶ長大路線であり、広大な面積の発掘調査が実施されるとともに数多くの新規遺跡発見の契機ともなった。

県埋文センターにおける調査体制（人）表

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
財団職員	18	17	19	19	18	19	19	18	15	15	12
県派遣	0	0	2	2	2	1	1	1	0	0	0
他財団派遣	0	0	3	6	5	3	4	0	0	0	0
臨時職員	7	13	19	29	35	25	23	12	6	1	2
計	25	30	43	56	60	48	47	31	21	16	14

県埋文センターの復興調査事業量（㎡）表

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
通常調査	114,622	68,205	22,952	31,890	11,893	5,000
復興調査（復興道路）	0	0	89,473	99,006	103,088	121,000
復興調査（市町村支援）	0	25,592	82,799	44,617	55,520	0
計	114,622	93,797	195,224	175,513	170,501	126,000

	H29	H30	R1	R2	R3
通常調査	16,100	36,000	95,090	47,072	35,033
復興調査（復興道路）	95,621	20,000	9,410	2,900	178
復興調査（市町村支援）	0	0	2,770	0	0
計	111,721	56,000	107,270	49,972	35,211



三陸沿岸道路 分布調査 (H24: 田野畑村)



生涯学習文化課 復興班分室 (H24~28)



文化庁主催 派遣専門職員会議 (H26: 盛岡市)



三陸沿岸道路 美郷調査 (H26: 洋野町)



市町村支援 美郷調査 (H27: 大槌町)



市町村支援 美郷調査 (H28: 大船渡市)

岩手県教育委員会への派遣職員一覧

派遣元	派遣年度				
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
北海道	藤原 秀樹	宗像 公司	村本 周二	赤井 文人	
青森県	永嶋 豊	齋藤 慶史	中澤 寛将		
秋田県	宇田川 浩一	宇田川 浩一	加藤 竜	新海 和広	
群馬県	深澤 敦仁				
埼玉県			浅野 晴樹		伴瀬 宗一
千葉県	安井 健一	安井 健一			
山梨県			今福 利恵		
静岡県	田村 隆太郎	武田 寛生	丸杉 俊一郎	岩名 建太郎	大谷 宏治
滋賀県	北原 治	北原 治	上垣 幸徳	小竹森 直子	小竹森 直子
大阪府	横田 明	横田 明	関 真一		
兵庫県			柏原 正民	榎宮 正	
熊本県	長谷部 善一		坂井田 端志郎		
鹿児島県	平 美典	平 美典	上床 真	上床 真	
大分県			小林 昭彦	友岡 信彦	
沖縄県				具志堅 清大	
合計	10	8	12	8	3

IV章 埋蔵文化財保護への対応（調査）

1 各種調査

(1) 分布調査

本県では踏査による所在確認調査を「分布調査」として取扱っている。本県は県土が広大であるため、埋蔵文化財の所在確認が必ずしも十分に行われていないのが現状であった。そのため、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状確認をはじめ、開発が及ぶ土地については、可能な限り現地踏査の対象とした。

また、当該では、周知の埋蔵文化財包蔵地以外にも、周知の埋蔵文化財包蔵地に隣接する地域で地形が遺跡の立地と同様であるような場所や、遺物が表面採集された場合、周辺の遺跡の立地状況から、未周知の埋蔵文化財包蔵地が所在する可能性がある場所について、「遺跡隣接地」ないし「可能性あり」として、事業者に協力をいただき試掘調査の対象としてきた。

復興事業の開発の多くは、後世の津波から回避できるよう、未開発の高台を基本としていることも関係して、地元の埋蔵文化財担当者でも未確認の場所も多々あった。

現地踏査は、事前に周辺遺跡の立地状況を整理した上で行った。特に、復興道路として位置づけられた三陸沿岸道路の計画路線は、三陸海岸の海岸段丘及び谷底の溪谷を縦断する計画であったため、山越え谷越えと、計画予定地を縦走する形となり、派遣職員の応援があつてこそ踏査することができた。

遺跡の立地については、各地域で培われてきた土地の成り立ちにより、それぞれの特色があるものであり、地域への愛着や誇りへと繋がるものである。踏査において、全国の派遣職員のそれぞれの経験から意見を交わし、総合的に「可能性あり」を判断ができたことは、踏査したことのない場所がその多くを占めていたことや、多くの埋蔵文化財調査の始まりが本踏査であったことを考えれば、大きな意義があつた。

本線工事が本格的に着手されると、工事に係る作業スペースの確保、工事用道路（一時的なものからそのまま道路として残すものまで）、掘削して生じた残土の置場等の付帯工事に係る埋蔵文化財の取扱い協議の照会が始まった。現地の地形等に多分に影響を受ける付帯工事の多くは、突発的なものが多く、時間の制約から、現地での協議を分布調査に置き換えて対応することで、迅速に対応することとした。

そのため、付帯工事の取扱いは、本線の埋蔵文化財の取扱いに準じることとして、「遺跡隣接地」や「可能性ありの隣接地」であれば、事業者の了承のもと試掘調査対象として取扱った。事業者にとっても、「遺跡隣接地」や「可能性あり」であっても試掘調査で取扱いを判断されたほうが不時発見の可能性が低くなるため、工事に入りやすいといった良い面の声も聞かれた。一方で、「遺跡隣接地」や「可能性あり」で試掘する根拠を求められることもあり、事業者へ丁寧に説明し理解をいただいた。それ以外の場合同じについては、現地協議対応者の視点で判断したため、分布調査の意味合いが薄れたことは否めないが、本線に係る分布調査が十分に行われたことにより、適切に判断がされたものと思われる。

(2) 試掘調査

当課では、周知の埋蔵文化財包蔵地の地下遺構の確認を行う掘削作業を「試掘調査」として扱っており、この言葉は、先述の「遺跡隣接地」や「可能性あり」にも当てはめて使用している。調査の手法については、各調査員の判断に委ねている状況であった。そのため、全国からの派遣職員の方には、決まった型がない分、戸惑ったかもしれないが、派遣元での経験を活かして調査にあたっていただいた。調査体制としては、年度により県職員や派遣職員の人数が異なるため、一様にはならなかったものの、基本的には複数名の班体制を組織し、可能な限り岩手県職員も1名ずつ各班に入るように組織した。

(3) 発掘調査

本県では開発事業に係る記録保存調査について、県の調整により県埋文センターが記録保存調査を行ってきた（事業者と県埋文センターの二者契約）。また、調査委託するには適さない小規模の発掘調査は、必要に応じて当課で記録保存調査を行い、「直営調査」として区別していた。復興事業に係る発掘調査件数は年々増加し、県埋文センターの発掘調査計画にも組み込めないもので、次年度まで待てない事業については、派遣職員の応援を受けて直営調査で対応することとした。直営調査は、県埋文センターと同等の測量機器や記録用カメラを借受けて調査にあたり、それ以外の作業員や重機などの発掘調査に係る一切の手配は、すべて事業者を用意していただくことを条件に調査を引き受けた。本来であれば県職員が調査の中心になるべきところを、人員の関係で必ずしも県職員が配置できないことも多く、派遣職員の方々には調査の中心的役割を担っていた。埋蔵文化財に関する知見や、発掘調査に係る豊富な技術や経験を持つ派遣職員の方があってこそ対応できたと言えるものである。

2 調査一覧

これまでの調査について一覧にまとめた。年度毎の件数は各報告書を参照いただきたい。取扱いが不明のものは空白のままである。記録の管理不足を痛感せざるを得ないものであり、戒めも兼ねてそのまま報告する。

3 調査費用

被災地の埋蔵文化財の所在確認等に係る費用については、復興事業という性質から限られた期間で対応が求められたことや、人員不足や事業規模も多大であったことから、契約事務が滞ってしまっていることが復興事業開始当初から浮彫となった。そのため、緊急対応という性質から、その多くは事業者の協力を賜り、試掘調査を進めたのが現状であった。結果として、ほぼすべての事業について、協力を賜れたことは、大変ありがたいことではある。一方で、埋蔵文化財保護業務を担う当課による主体的な調査を行っていく上では、今後の大規模災害の際への対策として、検討していかなくてはいけない課題である。

事前調査一覧表(1)

一般国道386号宮古環状道路建設

国土交通省東北地方整備局宮古庁(国道事務所)

建設市	道路名	コース	所在地	分布結果	分布結果	調査票番号	調査結果	早期開業
可能性あり-01	環状市道川第4線新設			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日	要調査	要調査
可能性あり-02	環状市道川			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日、28日	要調査	要調査
可能性あり-03(中村建設)	環状市道川	1P20-1054		平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日	要調査	生文雄
可能性あり-04	環状市道川第5線新設			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日	要調査	要調査
可能性あり-05	環状市道川			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日	要調査	要調査
可能性あり-06	環状市道川第1線新設			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月27日	要調査	要調査
可能性あり-07	環状市道川第2線新設内(橋本林道 机No.4～407(2))			平成26年8月7日	要調査	平成26年9月11日	要調査	要調査
可能性あり-08	環状市道川第2線新設内(橋本林道 机No.7～79(2))			平成26年8月7日	要調査	平成26年9月26、27日	要調査	要調査
可能性あり-09	環状市道川第3線新設内			平成26年8月7日	急急			
可能性あり-10	環状市道川第3線新設内			平成26年8月7日	急急			
可能性あり-11	環状市道川第3線新設内(橋本林道 机No.～31(北、環川3号線机No.～31(2))			平成26年8月7日	要調査	平成26年9月19日、11月25日	要調査	要調査
可能性あり-12	環状市道川第4線新設内(国112号机No.9～127(2))			平成26年8月7日	要調査	平成26年11月25日	要調査	要調査
可能性あり-13	環状市道川第4線新設内(工事用道路)			平成26年8月7日	要調査	平成26年11月25日	要調査	要調査
可能性あり-14	環状市道川第5線新設内(工事用道路)			平成26年8月7日	要調査	平成26年11月25日	要調査	要調査
可能性あり-15(盛茂建設)	環状市道川第5線新設内(工事用道路)	1P20-2223		平成26年8月7日	要調査	平成26年11月25日	要調査	横文平
可能性あり-16	環状市道川第5線新設内			平成26年8月7日	要調査	平成26年9月20日	要調査	要調査
新設上環状	1P20-1053			平成26年11月25日				
新設上環状	1P27-1168			平成26年11月25日				

宮古市

建設市	道路名	コース	所在地	分布結果	分布結果	調査票番号	調査結果	早期開業
可能性あり-01	宮古市平津川			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月26日、平成26年4月27日	要調査	要調査
可能性あり-02	宮古市宮原			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月26日	要調査	要調査
可能性あり-03	宮古市西馬代			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月26日	要調査	要調査
可能性あり-04	宮古市西馬代			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月25、26日	要調査	要調査
可能性あり-05	宮古市西馬代			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月29日	要調査	要調査
可能性あり-06	宮古市西馬代			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月25日	要調査	要調査
可能性あり-07	宮古市松市			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月25日	要調査	要調査
可能性あり-08	宮古市松市			平成24年10月9日～10日	要調査	平成25年9月25日	要調査	要調査
可能性あり-09	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成25年9月29日	要調査	要調査
可能性あり-10	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成25年9月29日	要調査	要調査
可能性あり-11	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月29日	要調査	要調査
可能性あり-12	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月29日	要調査	要調査
可能性あり-13	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月29日	要調査	要調査
可能性あり-14	宮古市松市(石橋内)			平成24年10月9日～11日	要調査	平成26年1月30、24日、平成25年10月31日、平成26年6月19日、平成26年4月1日	要調査	要調査
可能性あり-15	宮古市松市			平成24年10月9日～11日	要調査	平成25年10月22、20日	要調査	要調査
可能性あり-16	宮古市松市(石橋内)			平成25年10月18日	要調査	平成25年11月11～13日	要調査	要調査
可能性あり-17(工事用道路)	宮古市松市(石橋内)			平成27年7月27日	要調査	平成27年9月5～7日	要調査	要調査
可能性あり-18	宮古市松市(石橋内)			平成27年7月27日	要調査	平成27年7月27日	要調査	要調査
可能性あり-19(環状新設)	環状市道川第1線新設内	1P20-2221				平成27年11月12日、13日	要調査	横文平
可能性あり-20(区界改定)	宮古市松市(石橋内)					平成29年11月9日	要調査	要調査

一般国道280号釜石環状道路

国土交通省東北地方整備局釜石庁(国道事務所)

建設市	道路名	コース	所在地	分布結果	分布結果	調査票番号	調査結果	早期開業
平野町	平野町目黒川及び隣接区画	平76-0028	平野町上環状(平野町第1線新設)	平成24年4月18日	要調査	平成25年6月12、13日、平成29年12月4日、2019	要調査	要調査
可能性あり-01	平野町上環状(平野町第1線)・平野町第1線(2)			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月12、14日	要調査	要調査
可能性あり-02	平野町上環状(平野町第1線)			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月12日	要調査	要調査
可能性あり-03(平野町目黒川)	平野町上環状(平野町第1線)	平76-0023		平成24年4月18日	要調査	平成25年6月12日	要調査	横文平
可能性あり-04	平野町上環状(平野町第1線)			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月12日	要調査	要調査
可能性あり-05	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月18日	要調査	要調査
可能性あり-06	平野町上環状(平野町第1線)			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月18日	要調査	要調査
可能性あり-07(環状新設)	平野町上環状(平野町第1線)			平成24年4月18日、3月14日	要調査	平成25年6月20日	要調査	要調査
可能性あり-08	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月19日	要調査	要調査
可能性あり-09	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月19日	要調査	要調査
可能性あり-10	平野町上環状(平野町第1線)内(2-地内)			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月19日	要調査	要調査
可能性あり-11	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月21日	要調査	要調査
可能性あり-12	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月21日	要調査	要調査
可能性あり-13	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月27日	要調査	要調査
可能性あり-14	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月28日	要調査	要調査
可能性あり-15	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月28日	要調査	要調査
可能性あり-16	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月27日	要調査	要調査
可能性あり-17	平野町上環状(平野町第1線)内			平成24年4月18日	要調査	平成25年6月21日	要調査	要調査

事前調査一覧表(2)

一般国道283号(6)花巻道路

国土交通省東北地方整備局管轄中環状自動車道事務所

建設市

道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試掘調査日	試掘結果	発見機具
可能性あり18		建設市建設第122地区域内	平成24年4月18日	要試験	平成25年6月21日	要許可	
可能性あり19		建設市建設第122地区域内	平成24年4月18日	要試験	平成25年6月11日	要許可	
可能性あり20		建設市建設第122地区域内	平成24年4月18日	要試験	平成25年6月11日	要許可	
可能性あり21(イノ福遺跡) [福原大工区]	MP55-2067	建設市建設第122地区域内	平成24年4月18日、5月14日	要試験	平成25年12月5日	要発掘	工法変更
可能性あり22		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年6月20日	要許可	
可能性あり23		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年10月21日	要許可	
可能性あり24		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年6月20日	要許可	
可能性あり25		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年10月23日	要許可	
イノ福遺跡	MP55-2014	建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年11月20日	要許可	
可能性あり26		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年11月20日	要許可	
可能性あり27		建設市建設第122地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年7月30日	要許可	
可能性あり28		建設市建設第121地区域、32地区域	平成24年4月19日	要試験	平成25年6月20日	要許可	
可能性あり29(朝原遺跡)	MP55-1023	建設市建設第121地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年7月11日	要発掘	埋文等
可能性あり30(朝原遺跡)	MP55-0091	建設市建設第121地区域内	平成24年4月19日	要試験	平成25年6月12日	要発掘	埋文等
可能性あり31(丸森宮遺跡)	MP58-0071	建設市上郷町丸森内	平成24年4月19日	要試験	平成25年2月28日、3月7日	要発掘	埋文等
可能性あり32		建設市建設第13地区域、23地区域	平成24年4月19日	要試験	平成25年6月11日～16日	要許可	
可能性あり33		建設市建設第13地区域、23地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日	要許可	
可能性あり34		建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日	要許可	
可能性あり35		建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日	要許可	
新生堂公園遺跡	MP54-0227	建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年4月21日～5月8日	要発掘	埋文等
新生堂遺跡	MP54-0225	建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日	要許可	
新生堂本野遺跡及び隣地	MP54-0213	建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年11月19日、4月16日～19日	要許可	
可能性あり36		建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日	要許可	
可能性あり37		建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年6月6日、10日	要許可	
可能性あり38		建設市建設第13地区域内、28地区域	平成24年4月23日	要試験	平成25年11月6日、10日	要許可	
可能性あり39		建設市上郷町平倉地区	平成24年4月14日	要試験	平成25年11月6日	要許可	
上平倉遺跡隣地	MP53-1110	建設市建設第13地区域内	平成25年6月12日	要試験	平成25年11月12日	要許可	
平倉遺跡	MP56-2003	建設市上郷町平倉地区24-22-33地区域 内	平成25年12月20日	要試験	平成26年1月20日	要許可	
可能性あり40		建設市建設第13地区域内	平成24年4月23日	要試験	平成25年12月27日	要許可	
新生堂公園遺跡	MP54-0227	建設市建設第13地区域内			平成24年11月20日	要許可	
可能性あり41		建設市建設第13地区域内			平成25年6月6日	要許可	
可能性あり42		建設市建設第13地区域内			平成25年6月6日	要許可	
可能性あり43(藤原宮遺跡)	MP45-2001	建設市建設第13地区域内			平成26年5月26日～28日	要許可	

一般国道64号(3)陸田平道路

国土交通省東北地方整備局「3」陸田平事務所

建設町

道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試掘調査日	試掘結果	発見機具
可能性あり1		陸田平町第44地区域(No.123～131)	平成24年3月7日	要試験	平成25年5月7、8日、平成26年5月28日、12月1日	要許可	
可能性あり2(田ノ福遺跡)	1P27-2343	陸田平町第44地区域(No.132～136)	平成24年3月7日	要試験	平成25年5月6、9日	要発掘	埋文等
伝古堂遺跡及び隣地	1P27-2392	陸田平町第44地区域(No.139～163)	平成24年3月7日	要試験	平成25年5月6日～9日、23日、平成26年12月12日	要発掘	埋文等
伝古堂遺跡及び隣地	1P27-2384	陸田平町第44地区域(No.166～176)	平成24年3月7日	要試験	平成26年2月27、28日、平成26年11月16日、平成27年5月12日	要許可	埋文等
可能性あり3(北ノ沢1遺跡)	1P47-0343	陸田平町第37地区域(No.177～184)	平成24年3月7日	要試験	平成25年12月12日	要発掘	埋文等
可能性あり4		陸田平町第37地区域(No.186～193)	平成24年3月7日	要試験	平成25年12月12日	要許可	
西平内遺跡及び隣地(西平内1遺跡)	1P48-0041	陸田平町第37地区域(No.197～204)	平成24年3月7日	要試験	平成25年2月13日	要発掘	埋文等
可能性あり5		陸田平町第37地区域(No.209～223)	平成24年3月7日	要試験	平成25年1月13、16日	要許可	
可能性あり6		陸田平町第37地区域(No.231～247)	平成24年3月7日	要試験	平成25年1月16日	要許可	
可能性あり7		陸田平町第34地区域(No.261～283)	平成24年3月7日	要試験	平成25年1月17、18、21日	要許可	
可能性あり8		陸田平町第31地区域(No.293～302)	平成24年3月7日	要試験	平成24年12月5日	要許可	
可能性あり9(赤川田遺跡)	1P48-1197	陸田平町第28地区域(No.309～314)	平成24年3月7日	要試験	平成24年10月25、26日	要発掘	埋文等
可能性あり10(オキヤニ1遺跡)	1P48-2128	陸田平町第33地区域(No.319～341)	平成24年3月7日	要試験	平成24年12月11日、平成25年5月13、14日	要発掘	埋文等
可能性あり11(オキヤニ遺跡)	1P48-2250	陸田平町第25地区域(No.344～349)	平成24年3月7日	要試験	平成24年12月11日、平成26年6月27～29日、8月1～3日	要発掘	埋文等
可能性あり12		陸田平町第21地区域(No.351～353)	平成24年3月7日	要試験	平成24年12月10日	要許可	
可能性あり13		陸田平町第21地区域(No.360～364)	平成24年3月7日	要試験	平成24年12月10日	要許可	
可能性あり14(藤原宮遺跡)	1P58-0234	陸田平町第12地区域(No.369～384)	平成24年3月11日	要試験	平成24年12月5、14日、平成26年2月14日	要許可	埋文等
可能性あり15(丸森内遺跡)	1P58-0243	陸田平町第20地区域宇宮境内(No.385～412)	平成24年3月11日	要試験	平成24年12月13、14日、平成27年12月15日、平成28年3月24～26日	要許可	埋文等
可能性あり16(北高田遺跡)	1P58-0508	陸田平町第18地区域内(No.415～428)	平成24年3月11日	要試験	平成25年3月13、14日	要発掘	埋文等
可能性あり17(南高田1遺跡)	1P58-0323	陸田平町第16地区域(No.429～437)	平成24年3月11日	要試験	平成25年3月11、12日、平成27年2月4、5日	要許可	埋文等

事前調査一覧表 (5)

一般国道45号三陸沿岸道路

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

九龍市

道路名	ロード	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	実施機関
片ノ武遺跡及び隣接地(片ノ武遺跡)	3049-1304	九龍市長内町東1地割敷内			平成27年10月14日・21日	良好	理文社
可能性あり(高家川(工事用遺跡))		九龍市長内町東1地割敷内			平成28年9月8日	良好	理文社
片ノ武遺跡及び隣接地(片ノ武遺跡)	3049-1304	九龍市長内町東1地割敷内			平成27年12月1日	良好	理文社
金田遺跡及び隣接地	3050-1143	九龍市赤松町赤松13地割敷内			平成28年1月25日・26日	良好	生文課
金田遺跡	3050-1098	九龍市赤松町赤松19地割敷内			平成28年1月25日	良好	理文社
金田遺跡及び隣接地	3050-1122	九龍市赤松町赤松13地割敷内			平成28年1月25日・26日	良好	理文社
六ノ川遺跡及び隣接地	3050-0135	九龍市赤松町4町東1地割敷内			平成28年12月6日	良好	理文社
宇津日ノ遺跡及び隣接地	3049-1077	九龍市赤松町下高家1地割敷内			平成28年3月22日	良好	理文社
片ノ武遺跡及び隣接地	3049-1304	九龍市長内町東1地割敷内			平成29年6月8日	良好	工事
可能性あり(3) (遺跡)		九龍市赤松町4町東1地割敷内			平成29年6月29日	良好	理文社
六ノ川遺跡隣接地	3050-0135	九龍市赤松町赤松19地割敷内			平成29年9月27日	良好	理文社
六ノ川遺跡及び隣接地	3050-0135	九龍市赤松町赤松19地割敷内			平成29年11月21日・22日	良好	理文社
片ノ武遺跡	3049-1304	九龍市長内町東1地割敷内			令和2年10月23日	良好	工事

野田村

道路名	ロード	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	実施機関
可能性あり4		野田村野田地区内(№292-208, 30)	平成24年5月15日	確認			
可能性あり5		野田村野田地区内(№294, 5-213)	平成24年5月15日	確認			
可能性あり6		野田村野田地区内(№309-403, 3)	平成24年5月16日	確認	平成24年11月21日, 平成28年6月8日	良好	理文社
可能性あり7		野田村大野田地区内(№422, 5-428, 3)	平成24年6月16日	確認	平成25年2月19日	良好	理文社
可能性あり8		野田村大野田地区内(№424-446, 3)	平成24年6月16日	確認	平成25年2月19日, 20日	良好	理文社
可能性あり9(土佐川遺跡)	3081-2057	野田村野田地区内(№417-420)	平成24年5月15日	確認	平成24年11月21日・22日	良好	理文社
可能性あり10		野田村野田地区内(№484, 5-487, 3)	平成24年5月15日	確認	平成24年11月21日	良好	理文社
可能性あり11		野田村野田地区内(№499-503, 3)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月26日, 平成27年7月10日	良好	理文社
可能性あり12		野田村野田地区内(№509, 5-516)	平成24年5月17日	確認	平成25年2月18日	良好	理文社
可能性あり13		野田村野田地区内(№517-520)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月21日	良好	理文社
可能性あり14(土佐川遺跡)	3080-0387	野田村上野田地区内(№599-561)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月21日	良好	理文社
可能性あり15		野田村野田地区内(№653, 5-569)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月21日	良好	理文社
可能性あり16		野田村野田地区13地割敷内(№671-385)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月26日, 27日, 平成27年10月25日, 31日	良好	理文社
野田宮(中平)遺跡	3060-0258	野田村大野田地区13地割敷内(№594-597)	平成24年5月17日	確認	平成25年2月19日	良好	理文社
大平野遺跡及び隣接地	3050-0396	野田村大野田地区13地割敷内(№598-597)	平成24年5月17日	確認	平成25年2月19日	良好	理文社
可能性あり17		野田村野田地区内(№687, 5-689)	平成24年5月17日	確認	平成25年1月21日	良好	理文社
伏拝殿跡及び隣接地	3030-2354	野田村野田地区内(№610-627, 3)	平成24年5月17日	確認	平成25年1月21日, 5月28日, 29日	良好	理文社
可能性あり18		野田村大野田地区13地割敷内(№629-633)	平成24年5月17日	確認	平成25年1月21日	良好	理文社
可能性あり19		野田村野田地区内(№632, 5-636)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月17日	良好	理文社
可能性あり20		野田村野田地区内(№645-652)	平成24年5月17日	確認	平成24年11月17日	良好	理文社
可能性あり21		野田村野田地区	平成24年12月6日	確認	平成24年12月6日	良好	理文社
野田宮(中平)遺跡	3060-0258	野田村大野田地区13地割敷内	平成26年11月26日	確認	平成27年11月26日	良好	中平
可能性あり(工事用遺跡野田1)		野田村大野田地区13地割敷内			平成25年1月22日	良好	理文社
可能性あり22		野田村大野田地区内			平成25年1月26日・27日	良好	理文社
可能性あり23		野田村大野田地区内			平成25年1月26日・27日	良好	理文社
可能性あり24		野田村大野田地区内			平成25年1月26日・27日	良好	理文社
片ノ武遺跡	3030-1208	野田村大野田地区内			平成25年1月26日・27日	良好	理文社
可能性あり21(村遺跡)		野田村野田地区13地割敷内12地割敷内			平成27年7月10日	良好	理文社
可能性あり22(村遺跡)		野田村野田地区13地割敷内12地割敷内			平成27年7月10日	良好	理文社
可能性あり(5/17工事用遺跡)		野田村大野田地区13地割敷内			平成28年4月12日	良好	理文社

豊村

道路名	ロード	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	実施機関
可能性あり11		豊村村松本平地区内	平成24年5月15日	確認	平成28年12月14日・15日	良好	理文社
可能性あり12		豊村村松本平地区内	平成24年5月15日	確認	平成24年5月14日, 15日	良好	理文社
可能性あり13		豊村村松本平地区内	平成24年5月15日	確認	平成24年5月14日, 15日	良好	理文社
可能性あり14		豊村村丹波地区内	平成24年5月15日	確認	平成24年5月14日	良好	理文社
六井遺跡及び隣接地	3092-0132	豊村村丹波地区内(№7, 5-46, 3)	平成24年5月15日	確認	平成25年2月19日, 令和3年2月2日	良好	理文社
六井遺跡隣接地	3092-0117	豊村村第17地割敷内(№617-18, 3)	平成24年5月15日	確認	平成25年1月21日	良好	理文社
可能性あり1		豊村村第19地割敷内(№186, 5-126, 3)	平成24年5月15日	確認	平成25年4月22日・23日	良好	理文社
可能性あり2		豊村村第19地割敷内(№178, 5-122)	平成24年5月15日	確認	平成25年2月21日	良好	理文社
可能性あり3(高家遺跡)	3092-0097	豊村村第19地割敷内(1)第19地割敷内(№60-67, 3)	平成24年5月15日	確認	平成25年4月24日・26日	良好	理文社
可能性あり(豊村川(豊村))		豊村村第19地割敷内(1)第19地割敷内	平成28年5月19日	確認	平成28年5月19日	良好	理文社
可能性あり(豊村川(豊村工事用遺跡))		豊村村第19地割敷内(1)第19地割敷内			平成29年4月28日	良好	理文社
可能性あり13隣接地(片ノ武遺跡工事用遺跡)		豊村村松本平地区内			平成28年3月9日	良好	理文社

事前調査一覧表（6）

一般国道45号三陸沿岸道路

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

道路種別	道路名	区画ID	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	検査機関
可能性あり1			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり2			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
宮城県道線状及び隣接地	8043-9839		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、28日、29日、平成24年7月28日	要手付	
宮城県道線状及び隣接地	8042-9816		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、31日	要手付	
宮城県道線状	8022-2086		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、31日	要試験	横文工
大正11農林及び隣接地	8022-2089		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、4日	要手付	
可能性あり3（農林及び隣接地）	8022-2058		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要試験	横文工
宮城県道線状及び隣接地	8022-2047		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり4（農林道線状）	8022-2047		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、22日	要手付	横文工
可能性あり5			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、27日、28日	要手付	
宮城県道線状及び隣接地	8022-2063		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、22日、23日、平成24年7月24日	要手付	
農道線状	8022-1995		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、23日、平成24年7月24日	要手付	
可能性あり6			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり7			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
宮城県道線状及び隣接地	8022-1020		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、18日、24日、25日、27日、平成24年7月28日	要手付	横文工
可能性あり8			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり9			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、4日、平成24年7月14日	要手付	
可能性あり10			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、24日	要手付	
可能性あり11			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、24日、平成24年7月9日	要手付	横文工
可能性あり12			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり13（菅原屋敷農道線状）	8022-2230		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、29日	要試験	横文工
可能性あり14			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、29日	要手付	
可能性あり15（菅原屋敷農道線状）	8022-2219		道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、29日、30日	要試験	横文工
可能性あり16			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり17			道路種別: 宮城県内	平成24年4月13日	要試験	平成24年5月13日、12日、4日	要手付	
可能性あり18（沼田農道線状）	8021-9213		道路種別: 宮城県内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、19日	要試験	横文工
可能性あり19			道路種別: 宮城県内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり20（沼田農道線状）	8011-2363		道路種別: 宮城県内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、4日	要試験	横文工
可能性あり21（沼田農道線状）	8011-2363		道路種別: 宮城県内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、4日	要試験	横文工
可能性あり22			道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり23			道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、19日	要手付	
可能性あり24			道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、26日	要手付	
可能性あり25			道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、16日	要手付	
可能性あり26			道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、16日	要手付	
オヤキ沢農道線状及び隣接地	8011-8207		道路種別: 一の宮内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日、16日、平成24年7月14日、15日	要手付	
可能性あり27			道路種別: 宮城県内	平成24年5月13日	要試験	平成24年5月13日	要手付	
可能性あり28（工業用道路-16）			道路種別: 一の宮内	平成24年6月22日	要試験	平成24年6月22日	要手付	
可能性あり29			道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	平成24年6月18日	要手付	
可能性あり30（河津村農道）			道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	平成24年6月18日、24日	要手付	
可能性あり31			道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	平成24年6月18日	要手付	
可能性あり32（和歌山駅前農道線状）	8022-1262		道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	平成24年6月18日、29日	要試験	横文工
可能性あり33			道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	平成24年6月18日、29日	要手付	
女1			道路種別: 河津町1期内	平成24年6月18日	要手付	平成24年6月18日、9日	要手付	
女2			道路種別: 河津町2期内	平成24年6月18日	要手付	平成24年6月18日、24日	要手付	
宮城県道線状隣接地	8022-2041		道路種別: 宮城県内	平成24年6月18日	要試験	令和4年5月14日	要手付	
女1			道路種別: 河津町2期内	平成24年6月18日	要手付	平成24年6月18日	要手付	
女2			道路種別: 河津町2期内	平成24年6月18日	要手付	平成24年6月18日、22日	要試験	生文工
宮城県道線状隣接地	8022-1020		道路種別: 宮城県内	令和4年6月24日	要手付	令和4年6月24日	要手付	
菅原農道線	8022-2254		道路種別: 宮城県内	令和4年6月24日	調査中	令和4年6月24日	調査中	
沼田農道線隣接地	8011-2363		道路種別: 河津町1期内	令和4年6月24日	要試験	中止	中止	
女1			道路種別: 河津町1期内	令和4年6月18日	要手付	令和4年6月18日	要手付	
可能性あり34（オヤキ沢）			道路種別: 河津町			平成24年7月23日～14日		

岩手県

道路種別	道路名	区画ID	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	検査機関
可能性あり1（小成農道線）	8064-1048		岩手県: 小本町内	平成24年3月14日	要試験	平成24年3月15日～9日	要試験	横文工
女1			岩手県: 岩手県子中町内	令和4年9月24日	要手付			
小成農道線	8064-1048		岩手県: 小本町内	令和4年9月24日	要手付	平成24年7月24日～22日	要試験	生文工

事前調査一覧表（7）

一般国道45号三陸山岳道路・一般国道106号宮古圏環状道路

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

宮古市	道路名	ロード	所在地	分布調査日	分布調査	調査期間	調査結果	取扱形態
	山口駅1 遺跡	1023-2244	宮古市山口1丁目	平成24年3月14、15日	確認済	平成23年11月6、7日、12月6、8日、平成26年4月15日～17日、12月13日	着手可 被検済	博文文
	高松遺跡	1023-1232	宮古市山田1丁目高松赤坂	平成24年3月28日	確認済	平成23年10月28日	被検済	博文文
	寺の遺跡	1023-4228	宮古市山田3丁目3番寺の町	平成24年3月28日	確認済	平成24年9月30日、9月28日、平成26年2月24、25日	被検済	博文文
	一ノ井1 遺跡 可能性あり2	1023-1336	宮古市橋本3丁目1番一ノ井	平成24年3月28日	確認済	平成25年7月22～24日	着手可	
	可能性あり3（乙部野原遺跡）	3004-2147	宮古市御老字青柳地区内	平成24年3月28日	確認済	平成26年4月21～23日、9月29日～10月2日	着手可 被検済	博文文
	乙部遺跡	3004-0909	宮古市御老字青柳地区内	平成24年3月28日	確認済	平成24年9月25日、平成25年4月15、16日	着手可 被検済	博文文
	小堀内遺跡	3004-0149	宮古市御老字小堀内南地区内	平成24年3月27日	確認済	平成25年4月16、17日	着手可	
	新築田原遺跡	4074-2123	宮古市御老字新築田原内	平成24年3月27日	確認済	平成25年5月6、8日、平成26年2月24、25日、7月14～17日	着手可 被検済	博文文
	霞村日影遺跡	3003-0290	宮古市御老字日影地区内	平成24年3月27日	確認済	平成25年1月16、17日	被検済	博文文
	霞村日向1 遺跡	3003-0233	宮古市御老字日影地区内	平成24年3月27日	確認済	平成25年7月27、28日、11月20日	被検済	博文文
	私川遺跡	3003-0399	宮古市御老字私川地区内	平成24年3月27日	確認済	平成24年9月19、20日、11月14、15日	着手可 被検済	博文文
	私川遺跡	3003-2294	宮古市御老字私川地区内	平成24年3月27日	確認済	平成24年9月19、20日、11月14、15日、平成25年4月22日	着手可 被検済	博文文
	磐井沢穴塚遺跡	3003-1283	宮古市御老字磐井沢地区内	平成24年3月27日	確認済	平成24年11月21日～14日	着手可	
	磐井沢穴塚2 遺跡	3003-1272	宮古市御老字磐井沢地区内	平成24年3月27日、13日	確認済	平成25年2月12日、4日、9日	着手可	
	田原遺跡	3003-1306	宮古市御老字田原地区内、第19地割外	平成24年3月12、13日	確認済	平成24年4月18日	着手可	
	田原遺跡	3003-1223	宮古市御老字田原地区内・田原地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成24年2月5～7日、平成25年6月27日	着手可 被検済	博文文
	津越石人森遺跡	3003-1407	宮古市御老字津越石人森地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成23年2月4、5日、平成25年11月20日、平成26年4月21日、平成27年1月29日	着手可 被検済	博文文
	熊野1 遺跡	3003-0298	宮古市御老字熊野地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年1月18日	着手可	
	可能性あり2	3003-0310	宮古市御老字熊野地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年1月18、19日	着手可	
	金谷平遺跡	3003-0333	宮古市御老字金谷平地区内、第7地割内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年2月7、8日	着手可	博文文
	可能性あり3	3003-0310	宮古市御老字金谷平地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成24年9月18日～19日	着手可	
	金谷平遺跡	3003-2363	宮古市金谷平地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成24年9月18日、19日	着手可	
	可能性あり4	3003-1266	宮古市御老字金谷平地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年2月25日	着手可	
	磐井川神楽遺跡及び金谷平1 遺跡調査1	10402053.1	宮古市金谷平1地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年1月18日	着手可	
	磐井川神楽遺跡及び金谷平2 遺跡調査2	10402053.2	宮古市金谷平2地区内	平成24年3月12、13日	確認済	平成25年1月18日	着手可	
	磯崎山崎遺跡及び隣接地	1024-1049	宮古市磯崎山崎1地区内	平成24年4月21日	確認済	平成23年6月13～15日	被検済	博文文
	上杉野原遺跡及び隣接地	1024-1051	宮古市上杉野原1地区内	平成24年4月21日	確認済	平成24年4月21日	被検済	
	小山田遺跡及び隣接地	1023-1389	宮古市小山田地区内	平成24年4月21日	確認済	平成24年4月21日	被検済	
	可能性あり1		宮古市小山田地区内	平成24年4月21日	確認済	平成24年4月21日	被検済	
	可能性あり2		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年1月23日	着手可	
	可能性あり3		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年10月5、6日	着手可	
	可能性あり4		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年1月22日	着手可	
	可能性あり5		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年9月22日	着手可	
	可能性あり6		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年9月21日、平成25年4月22日	着手可	
	大戸内川原遺跡及び隣接地	1023-2214	宮古市千歳第14地区内大戸内地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年10月21日、平成25年4月22～24日	着手可	
	可能性あり7		宮古市千歳第14地区内大戸内地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年10月21、22日	着手可	
	可能性あり8		宮古市千歳第14地区内大戸内地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年9月26、27日	着手可	
	可能性あり9		宮古市千歳地区内	平成24年4月22日	確認済	平成24年4月18、20、24日、10月28～30日	着手可 被検済	博文文
	可能性あり10（大戸内川内川遺跡）	1023-2149	宮古市千歳、包山地区内	平成24年4月22日	確認済	平成23年12月5日	被検済	
	可能性あり11		宮古市千歳老舗	平成24年4月22日	確認済	平成24年7月2、3日	被検済	
	小山田1 遺跡	1023-1390	宮古市小山田第1地区内	平成24年4月22日	確認済	平成25年4月24日	被検済	
	可能性あり11		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成25年6月18日	着手可	
	可能性あり12（青柳遺1・東・原遺跡）	3004-0379 3004-0380 3004-0381	宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年6月18日～17日	被検済	博文文
	可能性あり13		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年9月7日	着手可	
	可能性あり14		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年7月2日～4日	着手可	
	可能性あり15		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年7月5、11日	着手可	
	可能性あり16		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年6月28日	着手可	
	磐井川神楽遺跡調査	3004-0379	宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年6月18～26日	着手可	
	可能性あり17		宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年6月17、18日	着手可	
	可能性あり18（青柳遺1・東・原遺跡）	3004-0379 3004-0380 3004-0381	宮古市御老字青柳地区北	平成24年4月22日	確認済	平成24年6月28日～7月1日	被検済	博文文
	可能性あり19		宮古市御老字青柳地区内（NO.319～320）	平成24年4月18日	確認済	平成25年4月1日	着手可	
	可能性あり20		宮古市御老字青柳地区内（NO.321～326）	平成24年4月18日	確認済	平成24年7月31日	着手可	
	可能性あり21		宮古市御老字青柳地区内（NO.235～196～230）	平成24年4月18日	確認済	平成24年4月18日	着手可	
	可能性あり22		宮古市御老字青柳地区内（NO.235～196～230）	平成24年4月18日	確認済	平成25年11月26日、平成27年11月5日、12月17日	着手可	
	可能性あり24		宮古市川原地区内（NO.201付近インターンメント定礎）（遺跡中心43-7-9-13）	平成24年4月18日	確認済	平成25年7月30、31日	着手可	
	可能性あり25		宮古市川原地区内（NO.101付近の工事用遺跡）（遺跡中心43-12と右上部分）	平成24年4月18日	確認済	平成25年7月30日	着手可	

事前調査一覧表(8)

一般国道45号三陸沿岸道路
支路名

国土交通省東北地方振興第三国道課事務所

道路名	コード	所在地	分布調査日	分布結果	調査項目	試験結果	発案機関
可能性あり6		宮古市南巻第3地区(内:336~339(南巻第3地区))	平成25年4月19日	確認	平成25年4月26、27日	番号付	
可能性あり7		宮古市南巻(内:300~313)	平成25年4月19日	確認	平成25年4月24日~26日	番号付	
可能性あり8		宮古市南巻(内:304、275~282)	平成25年4月19日	確認	平成25年4月24日	番号付	
可能性あり9		宮古市南巻(内:306、196~197)	平成25年4月19日	確認	平成25年4月24日~27日	番号付	
可能性あり10		宮古市南巻第3地区(内:336~360、130) 現中インター定地	平成25年4月19日	確認	平成25年11月27日、平成27年10月6、12日	番号付	
なし		宮古市南巻町内(南巻地区)	平成25年7月22日、23日	番号付			
なし		宮古市南巻町内(南巻地区)	平成25年7月22日、23日	番号付			
可能性あり15		宮古市南巻石第13地区、山田町石第2地区(現:工:事第No.477~487(定地))	平成25年4月26日	確認	平成25年10月23、24日	番号付	
後継配石道路及び隣接地	1640-1092	宮古市南巻第3地区(内)	平成25年7月20日、12月6日	確認	平成27年4月16日、6月18日	検査済	国土重要
山田町13地区	1623-2244	宮古市山田7丁目内	平成25年12月26日	確認	平成26年4月15日~17日、平成26年10月16日、11月29日	番号付 検査済	横文寺
山田町13地区	1623-2231	宮古市山田7丁目内	平成25年12月26日	確認	平成26年4月16、17日	番号付	
可能性あり1 (構造変更箇所)第3号(工事用道路)		宮古市山田7丁目内	平成25年12月26日	確認	平成26年4月15、16日	番号付	
可能性あり2 (構造変更箇所)第3号(工事用道路)		宮古市山田7丁目内	平成25年12月26日	確認	平成26年4月14、15日	番号付	
可能性あり1 (構造変更箇所)第19号(工事用道路) 暫設1区画	1634-0214	宮古市山田東津波、宇道北地区内	平成25年12月26日	確認	平成26年3月11、12日	検査済	生文課
可能性あり1 (構造変更箇所)第19号(工事用道路) 暫設2区画		宮古市山田東津波地区内	平成25年12月26日、27日	確認	平成26年4月23、22日	番号付	
可能性あり2 (構造変更箇所)第19号(工事用道路) 乙区画 暫設区画	1634-2197	宮古市山田東津波地区内	平成25年12月26日、27日	確認	平成26年4月21日~23日、9月29日~10日	番号付 検査済	横文寺
可能性あり3 (構造変更箇所)第19号(工事用道路) 乙区画 暫設区画	1634-2197	宮古市山田東津波地区内	平成25年12月26日、27日	確認	平成26年4月21日~23日、9月29日~10日	番号付 検査済	横文寺
可能性あり4 (構造変更箇所)第20号(工事用道路)		宮古市山田東津波地区内	平成25年12月27日	確認	平成26年4月26~29日	番号付	
なし		宮古市南巻一小山田(工事用道路)	平成26年1月13日	検査済			
後継配石道路及び隣接地	1634-0448	宮古市南巻一小山田(工事用道路)	平成26年1月13日	検査済			
なし		宮古市南巻一小山田(工事用道路)	平成26年1月13日	番号付			
急傾斜地	1623-0313	宮古市南巻第4区画(暫設)	平成26年4月27日	確認	平成26年4月14、13日	番号付	
旭平区1区画(隣接地)	1623-0278	宮古市南巻小田地区、旭平地区内	平成26年4月27日	番号付			
旭平区1区画(隣接地)	1623-0288	宮古市南巻小田地区、旭平地区内	平成26年4月27日	番号付			
霞川区1区画	1663-0231	宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成26年4月27日	確認	平成26年5月13日、平成26年5月17日	番号付	
霞川区1区画(隣接地)	1663-0231	宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成26年4月27日	確認	平成26年5月13日、20日	検査済	横文寺
可能性あり1 (構造変更箇所) 暫行区画 暫設区画		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年3月5日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり2 (構造変更箇所) 暫行区画 暫設区画	1663-0260	宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年3月5日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり3 (構造変更箇所) 暫行区画 暫設区画		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年3月5日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり4 (構造変更箇所) 暫行区画 暫設区画		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年3月5日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり5 (新設メンテナンス用)		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	確認	平成27年5月16日	番号付	
なし		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	番号付			
可能性あり1 (現土処理)		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり2 (現土処理)		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり3 (現土処理)		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	確認	平成27年5月16日	番号付	
可能性あり4 (現土処理)		宮古市南巻石第14地区(暫設)	平成27年4月19日	確認	平成27年5月16日	番号付	
調査区1		宮古市南巻第2地区(暫設)	平成27年7月29日	番号付			
可能性あり		宮古市南巻第2地区(暫設)	平成27年7月29日	確認	平成27年7月29日	番号付	
可能性あり2		宮古市南巻第2地区(暫設) 地内	平成27年7月29日	確認	平成27年7月29日	番号付	
可能性あり3		宮古市南巻第2地区(暫設) 地内	平成27年7月29日	確認	平成27年7月29日	番号付	
可能性あり (新設工事用仮設ヤード)		宮古市南巻第2地区(暫設)	平成29年2月5日	番号付	平成29年2月9日	番号付	
可能性あり		宮古市南巻第4地区(暫設)	平成26年11月19日	番号付	平成26年11月19日	番号付	
山田町13地区	1674-4260	宮古市山田東津波北第1地区内	平成23年1月16日、9日	確認	令和4年5月12、13日	検査済	工事
なし		宮古市南巻第3地区	令和3年1月5日	番号付			
可能性あり(20号工事用道路)		宮古市千徳地区内			平成25年4月24日	番号付	
可能性あり1 (19号工事用道路)		宮古市南巻第3地区内			平成27年7月2、3日	番号付	
調査区1	1653-0223	宮古市南巻石地区内			平成26年2月12日~14日	不明	
可能性あり	1653-2294	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成26年11月16日	番号付	
可能性あり6 (国庫管理区)	1640-2030	宮古市南巻第4地区(暫設)			平成27年5月16日	検査済	生文課
可能性あり	1643-2063	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年5月16日	番号付	
可能性あり (国庫管理区)メンテナンス用ヤード(国庫管理区)	1849-2149	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年11月10日、11日	検査済	国土重要
可能性あり(新設メンテナンス用)	1674-2171	宮古市南巻石第3地区(暫設)			平成27年11月16日~17日	検査済	生文課
可能性あり(工事用仮設区画)		宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年4月16日	番号付	
現中津波臨時降道	1640-0224	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年4月16日	番号付	
乙区画	1624-0009	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年4月16日	検査済	生文課
後継配石道路及び隣接地	1640-2030	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成27年4月22日	検査済	生文課
千徳臨時降道	1623-0197	宮古市千徳1地区内			平成26年4月1日	検査済	工事
千徳臨時降道	1623-0197	宮古市千徳1地区内			平成26年2月6日	検査済	工事
後継配石道路	1640-2030	宮古市南巻第3地区(暫設)			平成26年11月19日	検査済	工事

事前調査一覧表(9)

一般国道45号三陸沿岸道路

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

山形町		試験調査項目					試験結果	実施時期
道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日			
大武川遺跡及び隣接地	3024-0013	山形町船越地区内	平成23年10月6日、11月17、18日	要試験	平成25年5月22、23日		着手可	
四平遺跡及び隣接地	3024-2006	山形町船越地区内	平成23年10月6日、11月17、18日	要試験	平成25年5月29日		着手可	
宮内川遺跡及び隣接地	3024-1119	山形町船越地区内	平成23年11月19日、12月15日	要試験	平成24年10月25、26日		着手可	
若波遺跡	3.084-0028	山形町山田第4地区	平成24年3月6日	要試験	平成25年1月9、9日、平成25年2月26日		着手可 博文宅	
鮎木川遺跡	3.084-0025	山形町山田第3地区	平成24年3月6日	要試験	平成24年11月16日		着手可	
鮎木川1遺跡	3.084-0026	山形町山田第3地区	平成24年3月6日	要試験	平成25年1月9、9日、平成25年2月26日		着手可 博文宅	
鮎木川2遺跡	3.084-0027	山形町山田第3地区	平成24年3月6日	要試験	平成25年1月9、9日		着手可 博文宅	
鮎木川3遺跡	3.084-2006	山形町山田第4地区	平成24年3月6日	要試験	平成25年3月10日		着手可 博文宅	
鮎木川V遺跡	3.084-2008	山形町山田第3地区	平成24年3月6日	要試験	平成25年1月9、9日		着手可 博文宅	
下田五石遺跡	3.073-1308	山形町豊岡地区内	平成24年3月6日	要試験	平成24年11月14日		着手可	
豊岡新田1遺跡	3.073-1364	山形町豊岡地区内	平成24年3月6日	要試験	平成24年11月15、16日		着手可 博文宅	
可能性あり1		山形町豊岡地区内	平成24年3月6日	要試験	平成24年6月2、3日		着手可	
石前3遺跡	3.063-2129	山形町豊岡地区内	平成24年3月7日	要試験	平成24年9月28、31日、11月12、13日		着手可 博文宅	
内蔵遺跡	3.063-2169	山形町豊岡地区内	平成24年3月7日	要試験				
大武川遺跡及び隣接地	3023-0013	山形町船越第2地区内	平成23年4月27日	調査工事				
石七		山形町鎌苧～山田地区内(山田地区1)	平成23年7月12日、31日	着手可				
石七		山形町鎌苧～山田地区内(山田地区2)	平成23年7月12日、31日	着手可				
石七		山形町鎌苧～山田地区内(山田地区3)	平成23年7月12日、31日	着手可				
可能性あり6		山形町石巻第1地区敷地内(工事敷地No.477～497付近)	平成23年10月26日	要試験	平成25年10月24日		着手可	
新原遺跡及び隣接地	3.084-2146	山形町大武川第3地区敷地内	平成23年10月26日	要試験	平成26年1月26日		着手可	
可能性あり1		山形町豊岡地区内	平成23年10月26日	要試験	平成23年12月22日		着手可	
鮎木川V遺跡	3.084-2006	山形町山田第3地区敷地内	平成23年10月26日	要試験	平成25年4月16日		着手可	
大武川遺跡	3024-0013	山形町船越第2地区敷地内	平成23年10月26日	要試験	平成27年6月4日		着手可	
若波1遺跡	3.084-0028	山形町山田第4地区敷地内	平成23年10月26日	要試験	平成27年5月12日		着手可	
石前3遺跡及び隣接地	3.063-2129	山形町石巻第1地区敷地内	平成23年10月26日	要試験	平成27年6月4日		着手可	

一般国道45号三陸沿岸道路

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所・南三陸町事務所

大船町		試験調査項目					試験結果	実施時期
道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日			
武山遺跡	3023-0007	大船町武山第2地区敷地内	平成23年10月5日	要試験	平成24年12月12日、平成26年7月1日		着手可	
金巻遺跡	3023-2225	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月5日	要試験	平成24年12月12日		着手可	
白石遺跡及び隣接地	3023-1279	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月5日、6日	要試験	平成24年12月11～19日、平成26年7月1、2、3日		着手可 博文宅	
轟津→武遺跡及び隣接地	3023-1391	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月5日、6日、11月17日	要試験	平成24年12月16、19日、平成27年10月8日		着手可	
田原遺跡及び隣接地	3023-1373	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月5日、6日、11月17、18日	要試験	平成24年12月20～平成25年4月19日、平成27年12月2、3日		着手可 博文宅	
包蔵遺跡及び隣接地	3023-1354	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月5日、6日、11月17、18日	要試験	平成24年11月25日～平成25年1月16日		着手可 博文宅	
可能性あり0		大船町武山地区内	平成23年10月5日	要試験				
金巻遺跡及び隣接地	3023-2225	大船町吉妻吉妻地区内	平成23年10月22日	要試験	平成23年5月21日		着手可	
可能性あり1		大船町吉妻吉妻敷地敷地内	平成23年10月22日	要試験	平成23年5月21日		着手可	
大武川遺跡隣接地	3024-0013	大船町吉妻吉妻敷地敷地内	平成23年10月27日	着手可				
吉妻吉妻遺跡	3023-0387	大船町吉妻吉妻一丁目、二丁目	平成23年7月12日、7月31日	調査工事				
新原遺跡	3023-0388	大船町吉妻吉妻三丁目	平成23年7月12日、7月31日	要試験	平成23年9月12日、平成27年3月3日、平成28年2月26日、平成29年5月31日、平成29年9月28日		着手可 調査工事	
字子字区画台榭遺跡	3023-2398	大船町吉妻吉妻第18地区	平成23年7月12日、7月31日	調査工事				
可能性あり3		大船町吉妻吉妻敷地内	平成26年7月24日	要試験	平成26年11月22日		着手可	
可能性あり4		大船町吉妻吉妻敷地内	平成26年7月24日	要試験	平成26年7月24日		着手可	
石七		大船町小船地区内(No.14-1)	平成26年7月24日	着手可				
秋山館遺跡	3023-0002	大船町大船地区内	平成23年12月7日	要試験	平成24年12月7日		着手可 博文宅	
以徳武1遺跡	3023-0339	大船町大船	平成23年12月7日～12日	着手可				
可能性あり0		大船町大船	平成24年12月12日	着手可				
以徳武1遺跡	3023-0001	大船町大船地区内	平成24年12月12日	着手可				
以徳武2遺跡	3023-0339	大船町吉妻吉妻	平成24年12月12日	着手可				
山形式1遺跡及び隣接地	3023-0339	大船町大船第13地区敷地内	平成27年6月18日～19日	着手可				
山形式2遺跡	3023-0339	大船町大船第13地区敷地内	平成28年1月13日	着手可				
包蔵遺跡隣接地(調査工事利用地)	3023-1354	大船町吉妻吉妻敷地内	平成29年2月7日	着手可				
以徳武1遺跡	3023-0339	大船町大船地区内	平成29年5月19日	着手可				
以徳武2遺跡	3023-0339	大船町大船地区内	平成29年11月13日	調査工事				

事前調査一覧表 (10)

一般国道45号「陸田早道橋」
箇所名

国土交通省東北地方整備局「陸田早道橋」南三陸国道事務所

箇所名	道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	検閲機関
荒川和山道路		M01-2369	釜石市南町荒川地内	平成24年2月21日	被災区	平成24年4月21日	健全可	
荒川和山道路		M02-2655	釜石市南町荒川地内	平成24年2月21日	被災区	平成24年4月21日、平成24年5月24日、平成24年6月12日	健全可	被災工事
可能性あり1			釜石市南町荒川地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月21日	健全可	
小川浜道路		M02-6131	釜石市南町小川浜地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月13日、平成24年5月19日、6月21日	健全可	
可能性あり3			釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月27日、28日	健全可	
大沢川道路		M01-2352	釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月27日、28日	健全可	
大沢川道路橋脚地		M01-2359	釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月23日、平成24年5月25日	健全可	
可能性あり4			釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月21日、23日	被災区	平成24年4月27日、28日	健全可	
可能性あり1			釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月13日	被災区	平成24年4月16日	健全可	
大沢川道路		M02-2369	釜石市甲子町宮内地内	平成24年2月13日	被災区	平成24年5月18日	健全可	
千歳ノ瀨道路		M03-2267	釜石市甲子町大沢地内	平成24年3月5日	被災区	平成24年3月26日、6月14日、平成24年4月17日	被災区	被災工事
女1			釜石市甲子町大沢ノ瀨地内	平成23年5月27日	健全可			
女1			釜石市大平字平田～北原町(平田・藤石地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
平道道路		M02-2352	釜石市大平字平田～北原町(平田・藤石地区)	平成23年7月12日、31日	工事完成			
女1			釜石市大平字平田～北原町(平田・藤石地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
女1			釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
女1			釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
女1			釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
女1			釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
上道道路		M02-2238	釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	被災工事			
片原川堤		M02-1365	釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	被災工事			
可能性あり2			釜石市南6町区内(西6地区)	平成23年7月12日、31日	被災工事	平成24年6月12日	健全可	
大沢川道路及び橋脚地		M01-2352	釜石市甲子町南三陸町地内(No.17)	平成23年6月8日	被災工事	平成23年5月5日	健全可	
陸田早道		M02-4261	釜石市甲子町南三陸町地内(No.21)	平成23年6月8日	被災区	平成23年6月28日	健全可	
武山道路		M02-2952	釜石市八戸町地内			平成23年7月13日	健全可	
小川浜道路及び橋脚地		M02-6131	釜石市南6町区内(西6地区)			平成23年12月10日、11日	被災区	被災工事
大沢川道路		M01-2352	釜石市			平成23年2月3日		

大船渡市

箇所名	道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	検閲機関
中央道路橋脚地		M01-1260	大船渡市古高字中央地内	平成24年2月28日	被災区	平成24年5月25日	健全可	
可能性あり1			大船渡市古高地区内	平成24年2月28日	被災区	平成24年5月25日	健全可	
女1			大船渡市三陸町古高字上野地内	平成23年5月27日	健全可			
可能性あり1			大船渡市三陸町古高地区内	平成23年7月21日	被災区	平成23年6月1日	健全可	
可能性あり1(工事済道路) (国庫道路)		M01-4269	大船渡市三陸町古高字上野地内(No.16)	平成23年6月8日	被災区	平成23年6月28日、9月16、17日	被災区	被災工事
中央道路		M01-1260	大船渡市三陸町古高字中央地内			平成23年11月7、8日	健全可	
古高地区橋脚地		M01-4255	大船渡市古高字中央地内			平成24年5月28日	健全可	

陸田早道市

箇所名	道路名	コース	所在地	分布調査日	分布結果	試験調査日	試験結果	検閲機関
可能性あり1			陸田早道市気仙町地内	平成24年2月6、10日	被災区	平成24年7月24日	健全可	
可能性あり2			陸田早道市気仙町地内	平成24年2月6、10日	被災区	平成24年4月12日	健全可	
数田川堤		M06-1315	陸田早道市気仙町字数田地内	平成24年2月6、10日	被災区	平成24年4月21日	健全可	
可能性あり2			陸田早道市気仙町地内	平成24年2月6日～16日	被災区	平成24年4月21日	健全可	
可能性あり4(変形道路)		M08-1278	陸田早道市気仙町地内	平成24年2月6日～16日	被災区	平成24年7月26日、30日	被災区	陸田早道市教委
可能性あり3			陸田早道市気仙町地内	平成24年2月6日～16日	被災区	平成24年4月21日	健全可	
可能性あり7(水かさ道路)		M07-3950	陸田早道市気仙町	平成23年7月11日	被災区	平成23年2月13、14日	被災区	陸田早道市教委
可能性あり1			陸田早道市気仙町～米崎町(高田地区)	平成23年7月12日、31日	被災区			
女1			陸田早道市気仙町～米崎町(高田地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
女1			陸田早道市気仙町～米崎町(高田地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
可能性あり2			陸田早道市気仙町～米崎町(高田地区)	平成23年7月12日、31日	健全可			
可能性あり5			陸田早道市気仙町東谷地内	平成23年12月6日	健全可			
可能性あり1			陸田早道市竹野字旭川地内			平成24年5月13日	健全可	
可能性あり2			陸田早道市竹野字旭川地内			平成23年5月11日	健全可	
可能性あり1			陸田早道市竹野字旭川地内			平成23年4月12日	健全可	
可能性あり1			陸田早道市竹野字旭川地内			平成23年5月16日	健全可	
瓜原道路		M07-2241	陸田早道市竹野字旭川地内			平成23年11月7日	健全可	
上野川道路橋脚地及び橋脚地		M07-8023	陸田早道市気仙町字数田地内			平成24年12月20日	被災区	被災工事
水かさ道路橋脚地		M07-3950	陸田早道市気仙町地内			平成24年4月11日	健全可	
水かさ道路橋脚地		M07-3950	陸田早道市気仙町地内			平成24年5月16日	健全可	

事前調査一覧表 (11)

兵庫県

事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
丸尾地区・山形地区・高田地区調整	河野浩一		山形町(東部)14地区内	平成23年4月9日	要調査			
丸尾地区・山形地区・高田地区調整	中野謙輔(連絡先)	9624-2214	丸尾町(中部)21地区内	平成23年4月3日	要調査			
丸尾地区・山形地区・高田地区調整	なし		徳島郡吉野町(東部)大田地区	平成23年4月13日	要調査			
兵庫県水防整備総合計画								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
豊後川治水防犯事業	なし		宮古郡(山形)東部	平成23年2月18日	要調査			
豊後川治水防犯事業	なし		宮古市(平田)東部17-4	平成23年2月18日	要調査			
豊後川治水防犯事業	なし		大庄町(大庄)東部1号・高30-5	平成23年2月18日	要調査			
豊後川治水防犯事業 (大庄町(大庄)東部1号(中津川事業))	宮野昌隆	7630-2298	大庄町(大庄)東部2号(宮野川)			平成23年2月4日	要検証	横文七
豊後川治水防犯事業	なし		徳島郡吉野町(東部)2号(吉野川)	平成23年2月18日	要調査			
川上調整池建設事業								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
東日本大震災以降(大庄)治水防犯事業	赤松博隆(連絡先)	9620-4204	山形町(東部)東部地区			平成23年12月29日	要調査	
大庄治水防犯事業(東の河川)	藤原謙輔(連絡先)	9624-9836	山形町(東部)14地区内			平成23年12月23日	要調査	
大庄治水防犯事業	内野昌隆(連絡先)及び藤原謙輔	9620-4207	大庄町(吉野川)内			平成23年12月11、27日	要調査	
大庄治水防犯事業	なし		宮古市(吉野川)東部2号地区内	平成23年12月7日	要調査			
大庄治水防犯事業	(可能性あり)		大庄町(大庄)治水防犯事業内	平成23年12月6日	要調査			
大庄治水防犯事業	(可能性あり)		大庄町(大庄)治水防犯事業内	平成23年12月6日	要調査			
大庄治水防犯事業	清水謙輔(連絡先)	7630-4316	大庄町(大庄)治水防犯事業	平成23年12月7日	要調査			
大庄治水防犯事業	なし		徳島郡吉野町(東部)2号(吉野川)	平成23年12月17日	要調査			
山形川調整池								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
山形治水防犯事業	(可能性あり)		宮古市(山形)東部地区内	平成23年4月19日	要調査			
鶴北川調整池上本郷								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
社会福祉総合センター(仮称)事業(赤松)地域連携調整池調整事業【仮定調査】丸尾市山形町東部1丁区	井原 博隆	7630-1064	丸尾市(山形)1丁区地区	平成23年3月3日	要調査			
一般从属近代小規模調整池整備事業 戸渡の1丁区	なし		青代町(戸渡)内	平成23年4月18日	要調査			
一般从属近代小規模調整池整備事業 戸渡の1丁区	(可能性あり)		青代町(戸渡)内	平成23年4月18日	要調査			
一般从属近代小規模調整池整備事業 戸渡の1丁区	(可能性あり)		青代町(戸渡)内	平成23年4月18日	要調査			
調整池調整事業 近代(戸渡)区	なし		下野町(青代町)近代(戸渡)区	平成23年4月22日	要調査			
鶴北川調整池調整池調整事業								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
豊後川治水防犯事業(調整池) 宇野川地区	上野山謙輔(連絡先)	9624-1208	丸尾市(宇野川)内			平成23年10月29日	要調査	
宮形川調整池上本郷								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
宮形川治水防犯事業	早坂謙輔	9620-2067	宮古市(宮形)宇上(戸渡)内			平成23年12月11日	要調査	
宮形川調整池上本郷(宮古市)センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
宮形川治水防犯事業 一般(大庄)区	(可能性あり)		宮古町(大庄)内			平成23年12月21日	要調査	
宮形川治水防犯事業 一般(大庄)区	中野謙輔(連絡先)及び早坂謙輔	9627-9239	宮古町(大庄)内			平成23年12月21日	要調査	
宮形川調整池上本郷(宮古市)上本郷センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試算調査日	試算結果	事後検証
豊後川治水防犯事業 鶴北・藤原地区	藤原謙輔	9624-2223	宮古市(藤原)内	平成23年4月28日	要調査			
豊後川治水防犯事業 鶴北・藤原地区	藤原謙輔(連絡先)	9624-3948	宮古市(藤原)内	平成23年4月28日	要調査			
豊後川治水防犯事業 高田地区	高田(宇野川)東部	9624-1298	宮古市(高田)内	平成23年4月28日	要調査			
豊後川治水防犯事業 高田地区	高田(吉野川)東部調整池	9624-1269	宮古市(高田)内	平成23年4月28日	要調査			
河内川治水防犯事業 二條市(河内)高田(高田)地区	藤原謙輔(連絡先)	9624-1239	宮古市(高田)東部地区内	平成23年4月12日	要調査	平成23年11月6、7日	要検証	横文七
志保川治水防犯事業(山)玉丁地区	高田謙輔(連絡先)	9623-2253	宮古市(山)玉丁地区内	平成23年3月11日	要調査			
志保川治水防犯事業 一般(高田)宮古市(高田)地区	(可能性あり)		宮古市(高田)内			平成23年10月27日	要調査	
志保川治水防犯事業 一般(高田)宮古市(高田)地区	山本謙輔	9623-2096	宮古市(高田)東部(高田)内、高田(高田)東部(高田)内、久入(高田)内			平成23年10月17、20日	要検証	横文七
一般(高田)宮古市(高田)地区 志保川治水防犯事業	藤原謙輔(連絡先)及び早坂謙輔	9624-2048	宮古市(高田)東部地区内			平成23年11月9日	要調査	
一般(高田)宮古市(高田)地区 志保川治水防犯事業	藤原謙輔(連絡先)	9624-2048	宮古市(高田)東部地区内			平成23年12月18日・19日	要検証	横文七
志保川治水防犯事業(高田)高田地区(志保川治水防犯事業)	中野謙輔	9623-4046	宮古市(高田)東部(高田)地区内			平成23年11月25日	要検証	横文七
志保川治水防犯事業(高田)高田地区(志保川治水防犯事業)	山本謙輔	9623-3925	宮古市(高田)東部(高田)地区内			平成23年12月12日	要調査	
志保川治水防犯事業(高田)高田地区(志保川治水防犯事業)	山本謙輔	9623-4183	宮古市(高田)東部(高田)地区内			平成23年12月13日	要調査	
一般(高田)宮古市(高田)地区 志保川治水防犯事業	山本謙輔	9623-2358	宮古市(高田)東部(高田)地区内			平成23年11月25日、12月2日	要検証	横文七
志保川治水防犯事業	藤原謙輔(連絡先)	9624-2069	宮古市(高田)内地区			平成23年10月19日、12月2日	要検証	横文七

事前調査一覧表 (12)

山形市立城崎駅前上本地区土地センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分庫調査日	分庫結果	調査結果	調査結果	備考
一般国道396号宮内市西通結 地城建設調整事業	地城建設課 17号連絡	M22-2323	宮内市西通結内			平成22年12月1日	調査済	横文七
一般国道396号宮内市西通結地城建設調整事業	地城建設課 17号連絡	M22-2333	宮内市西通結内			平成26年12月1日	調査済	
一般国道396号宮内市西通結 地城建設調整事業	地城建設課 17号連絡	M22-2333	宮内市西通結内			平成29年12月1日	調査済	
主要地方道宮内市西通結～宮内市地区城建設調整調整事業	宮内市地区 1号連絡	M28-2303	山形市大沢山1号地内			平成29年12月19日	調査済	横文七
主要地方道宮内市西通結～宮内市地区城建設調整調整事業	宮内市地区 1号連絡	M28-2337	山形市大沢山1号地内			平成29年12月19日	調査済	
主要地方道宮内市西通結～宮内市地区城建設調整調整事業	宮内市地区 1号連絡	M28-2303	山形市大沢山1号地内			平成29年12月19日	調査済	横文七
主要地方道宮内市西通結～宮内市地区城建設調整調整事業	宮内市地区 1号連絡	M28-2301	山形市大沢山1号地内			平成29年12月19日～21日	調査済	横文七
仙崎地区海岸公園復旧工事 (12年度)	国土庁建設課	M21-4-0221	山形市仙崎地区内			平成29年10月14日	調査済	
山形市立城崎駅前上本地区土地センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分庫調査日	分庫結果	調査結果	調査結果	備考
総合支庁地区活性化推進事業	中村建設課	M21-1101	大仙市市二丁目建設普及宇道館、地下道内			平成29年12月11日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎～轟北地区」	可能性あり5		大仙市市東町地区内			平成24年12月13日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎～轟北地区」	可能性あり6		大仙市市東町地区内			平成24年12月13日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	資料提供	M20-0602	大仙市市東町宇道館内			平成24年12月14日	調査済	平成29年6月21日～29日
地城建設調整調整事業復興交付金「仙崎地区」	可能性あり5		大仙市市東町地区内			平成24年12月14日	調査済	平成29年6月21日～29日
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	内容提供	M20-0603	大仙市市東町内地区内			平成24年12月14日	調査済	平成29年6月21日～29日
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	可能性あり2		大仙市市東町地区内			平成24年12月14日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	可能性あり3		大仙市市東町地区内			平成24年12月14日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	可能性あり4		大仙市市東町地区内			平成24年12月14日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	資料提供	M21-1130	大仙市市二丁目建設普及宇道館内			平成24年12月19日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	本庁連絡	M21-1102	大仙市市二丁目建設普及宇道館、地下道内			平成24年12月19日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「仙崎地区」	中村建設	M21-1101	大仙市市二丁目建設普及宇道館、地下道内			平成24年12月19日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	林建設課	M19-2218	大仙市市東町宇道館			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年7月7日～9日、14、15日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり1 (尾丸地区建設課 提供)	M19-0294	大仙市市東町宇道館			平成29年4月11日～12日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり2 (大沢山建設課 提供)	M19-1341	大仙市市東町宇道館			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年7月7日～9日、14、15日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり3		大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり4		大仙市市東町宇道館内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年7月7日～9日、14、15日、8月19日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり5 (大沢山建設課 提供)	M19-2218	大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年7月7日～9日、14、15日、8月19日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり6		大仙市市東町宇道館内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年7月7日～9日、14、15日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり7		大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年11月14日～22日、平成29年7月24日～27日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり8		大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年11月14日～22日、平成29年7月24日～27日
地城建設調整調整事業(復興交付金)赤松地区	可能性あり9		大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年11月14日～22日、平成29年7月24日～27日
地城建設調整調整事業(非編入復興交付金)赤松地区	可能性あり9		大仙市市東町内			平成29年4月11日～12日	調査済	平成29年12月1日
地城建設調整調整事業(非編入復興交付金)赤松地区	可能性あり10 (山崎建設課 提供)	M20-0906	仙崎町建設普及宇道館			平成24年12月19日	調査済	平成29年12月1日
地城建設調整調整事業(非編入復興交付金)赤松地区	山崎建設	M20-1120	仙崎町建設普及宇道館			平成24年12月19日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)竹島地区	古館建設(町長室)	M20-1300	仙崎町古館地区内			平成24年11月1日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)竹島地区	町長室連絡	M20-2311	仙崎町古館地区内			平成24年11月1日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)竹島地区	建設課石塚課	M20-2314	仙崎町古館地区内			平成24年11月1日	調査済	
地城建設調整調整事業(復興交付金)竹島地区	建設課石塚課	M20-2313	仙崎町古館地区内			平成24年11月1日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「正田地区」	平松建設	M20-1401	仙崎町古館地区正田平野地区内			平成24年12月13日	調査済	横文七
地城建設調整調整事業 復興交付金「正田地区」	大沢山建設課	M20-2200	仙崎町古館地区正田平野地区内			平成24年12月13日	調査済	
地城建設調整調整事業 復興交付金「九郎地区」	内容提供	M20-2228	仙崎町古館地区正田平野地区内			平成24年12月13日	調査済	横文七

事前調査一覧表 (13)

自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
地域経済活性化推進事業 復興交付金「花川地区」	なし		建設部高松市広野花川地区	平成24年11月13日	審査可			
地域経済活性化推進事業 社会資本整備交付金（復興特）「大島」	赤石建設	M780-0014	建設部高松市高松市・高松市港内	平成24年11月13日	審査可			
地域経済活性化推進事業 社会資本整備交付金（復興特）「大島」	大島建設	M780-2197	建設部高松市高松市大島地区内	平成24年11月13日	審査可	平成25年12月19日	審査可	
地域経済活性化推進事業 復興交付金「今高地区」	伊川建設	7807-0020	建設部高松市高松市今高地区内	平成23年11月14日	審査可			
地域経済活性化推進事業 復興交付金「小豆地区」	なし		建設部高松市小豆地区内	平成23年11月15日	審査可			
自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
河川整備地区交付金事業	なし		国土庁河川整備所	平成24年6月26日	審査可			
国土交通省交付金事業	佐藤建設	8603-2196	国土庁高松市高松地区内	平成27年6月21日	審査可			
国土交通省交付金事業	伊川建設	8603-0119	国土庁高松市高松地区内	平成27年6月21日	審査可			
国土交通省交付金事業（復興交付金）（橋）	赤石建設	8603-0862	大塚町市宮内宮内地区野田山	平成23年11月14日	審査可	平成24年12月20日	審査可	
国土交通省交付金事業（復興交付金）（橋）	西川建設	8603-0864	大塚町市宮内宮内地区	平成23年11月14日	審査可	平成24年12月20日	審査可	
国土交通省交付金事業	西川建設	8603-2208	国土庁高松市高松地区	平成23年11月14日	審査可	平成24年12月20日	審査可	生主簿
自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	伊川建設	1049-0107	山田町大沢川町地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	高井建設	0381-2203	山田町大沢川町地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	柳本建設	8605-0009	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	伊川建設	8605-0171	山田町大沢川町地区内	平成23年11月13日	審査可	平成24年6月14日	審査可	
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	高井建設	8611-0216	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	伊川建設	8611-0221	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可	平成27年10月14日	審査可	
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	柳本建設	8611-0216	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可	平成27年10月14日	審査可	
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	高井建設	8611-0217	山田町高松町地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	高井建設	8611-0202	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域交付金交付事業 国土交通省交付金 （防除）工事	山ノ内建設	8611-0222	山田町高松地区内	平成23年11月13日	審査可			
自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
農林等交付金交付事業	国土交通省	8603-3008	大塚町大塚町1・23地区	平成23年9月26日	審査可			
農林等交付金交付事業	国土交通省	8603-0897	大塚町大塚町1・23地区	平成23年9月26日	審査可			
農林等交付金交付事業	国土交通省	8603-0892	大塚町大塚町1・23地区	平成23年9月26日	審査可			
農林等交付金交付事業	国土交通省	8603-0838	国土庁高松市高松地区内	平成23年9月26日	審査可			
農林等交付金交付事業	なし		国土庁高松市高松地区内	平成23年9月26日	審査可			
農林等交付金交付事業	なし		国土庁高松市高松地区内	平成23年9月26日	審査可			
自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）（土敷地）	可能あり		高松市			平成23年11月13日	不明	
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	8384-2188	高松市加子下町地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	8384-2188	高松市加子下町地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	なし		高松市加子下町地区2～10地区、高松市1～9地区	平成23年12月20日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	8605-2171	山田町小豆島地区内	平成23年6月12日	審査可			
自治広域振興課土木部土木センター								
事業名	連絡先	コード	所在地	分佈調査日	分佈結果	試験調査日	試験結果	実施期間
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	8605-2136	山田町小豆島地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	国土交通省	8601-3052	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	柳本建設	8604-3065	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	高井建設	1040-0617	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可	平成24年4月13日	審査可	生主簿
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	1040-0619	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可	平成24年11月19日	審査可	
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	可能あり		山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可			
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	山ノ内建設	1023-2127	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可	平成24年11月19日	審査可	
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	伊川建設	1023-2139	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可	平成24年11月19日	審査可	
農林等交付金交付事業 国土交通省 （土）	山ノ内建設	1023-2118	山田町高松地区内	平成23年6月12日	審査可	平成24年11月19日	審査可	

直営（生涯学習文化財課）発掘調査一覧表

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成24年1月23日～2月8日	保育園舎建設工事	野田村	大野野遺跡	野田村
2	平成24年10月1日～12月11日	城内地区防犯施設整備促進事業	野田村	新野遺跡	野田村
3	平成24年7月6日～11日	東北横断自動車道赤石林田線（遠野～東和）	国土交通省東北地方整備局弘前河内国道事務所	深沢第1遺跡	野田村
4	平成24年6月28日～30日	個人住宅事業（藤沢地区）	田野塚村	野田第1遺跡	野田塚村
5	平成25年2月18日～21日	個人住宅事業（宮古中央IC～田巻北IC）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	牛久波遺跡（2）	宮古市
6	平成25年5月15日～22日	宮古盛岡横断道路（宮古西道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	木下井内IV遺跡	宮古市
7	平成25年2月17日～21日	三陸沿岸道路（山田宮古道）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	間木IVIV遺跡	山田町
8	平成26年4月21日～16日	三陸沿岸道路（宮古田巻道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	牛久波遺跡	宮古市
9	平成26年6月9日～24日	一般国道340号和井内地区地域連携道路事業	山岸広域振興局土木部宮古土木センター	和井内西遺跡	宮古市
10	平成26年7月28日～31日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	黒坂遺跡	洋野町
11	平成26年9月29日～10月10日	三陸沿岸道路（宮古～田巻）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	狭達I遺跡	宮古市
12	平成26年10月7日～11月28日	国道106号宮古盛岡横断道路（区界～栗川）	国土交通省東北地方整備局弘前河内国道事務所	中村遺跡	盛岡市
13	平成26年10月14日～11月28日	三陸沿岸道路（古峯釜石道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	福崎遺跡	大船渡市
14	平成26年10月20日～11月21日	三陸沿岸道路（洋野～橋上）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	サニヤⅡ遺跡	洋野町
15	平成26年11月4日～12月26日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	海濱第1遺跡	洋野町
16	平成27年5月12日～6月2日	国道45号一陸沿岸道路（宮古中央～田巻）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	乙部遺跡	洋野町
17	平成27年6月15日～19日	主要地方道東平島線大沢～浜川目地区地域連携施設整備事業	山岸広域振興局土木部宮古土木センター	浜川目次IV遺跡	山田町
18	平成27年6月22日～7月16日	古石（堀）及び復元事業	山岸広域振興局水産部	山田遺跡	釜石市
19	平成27年8月24日～9月4日	宮古市盛岡横断道路（宮古～落石）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	蟹野IV遺跡	宮古市
20	平成27年10月13日～28日	三陸沿岸道路（山田～宮古）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	舟行日新I遺跡	宮古市
21	平成27年11月9日～19日	三陸沿岸道路（田巻～菅代）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	小成II遺跡	盛岡市
22	平成27年11月24日～12月21日	三陸沿岸道路（洋野～橋上）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	サニヤⅢ遺跡	洋野町
23	平成27年12月3日～16日	村道切平Ⅱ中央線交差点改良工事	田野塚村	真木IVIV遺跡	田野塚村
24	平成28年4月18日～6月25日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	海ノ尻遺跡	洋野町
25	平成28年6月16日～23日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	サニヤⅣ遺跡	洋野町
26	平成28年6月27日～7月8日	三陸沿岸道路（宮古田巻道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	向田ⅡX遺跡	宮古市
27	平成28年7月4日～28日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	金海津遺跡	八幡町
28	平成28年10月4日～7日	農用地災害復旧計画地区復興管理事業	山岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	馬崎I遺跡	山田町
29	平成28年10月24日～11月2日	一般国道106号 宮古盛岡横断道路	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	蟹野IV遺跡	宮古市
30	平成29年2月16日～23日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	サニヤⅤ遺跡	洋野町
31	平成29年7月19日～26日	個人住宅新築工事	野田村	野田第2次（中平）遺跡	野田村
32	平成29年12月19日～20日	個人住宅新築工事	野田村	野田第2次（中平）遺跡	野田村
33	平成30年9月21日、24日、25日、10月1日～3日	個人住宅増築工事	野田村	野田第2次（中平）遺跡	野田村
34	平成30年12月14日	個人住宅新築工事	野田村	野田第2次（中平）遺跡	野田村
35	平成31年3月16日～8日	野田村公共下水道管施設（S29）工事	野田村	平水水道遺跡	野田村

工事立会一覧表

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成24年5月25日	私道造成工事	個人	東崎達（浜田城）	盛岡市西地
2	平成24年10月18日	農地等災害復旧事業	山岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター	岩崎遺跡	大船渡市
3	平成25年1月23日	農地等災害復旧事業	山岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター	柳川I遺跡	盛岡市西地
4	平成25年4月18日	小沢地区予防山工事	山岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室	小沢大上遺跡	宮古市
5	平成25年6月18日	槻木地区予防山工事	山岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室	下原山遺跡	宮古市
6	平成25年10月28日	ため池等整備事業 大川目地区第3号工事	山岸広域振興局農政課農林整備室	大川目遺跡	久慈市
7	平成25年10月29日	形保村倉元足廻り整備事業 熊谷湖地区	山岸広域振興局農政課農林整備室	熊谷湖遺跡	奥州市
8	平成25年11月1日	山田地区予防山工事	山岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室	野々上IV遺跡	宮古市
9	平成26年7月28日	三陸沿岸道路（菅代～九戸）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	中平遺跡	野田村
10	平成27年1月21日	一般国道45号岩手45号養費（平田地区）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	平田遺跡	野田村
11	平成27年7月17日	三陸沿岸道路（宮古田巻道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	手塚田遺跡群	宮古市
12	平成27年8月18日	一般国道45号岩手45号養費（平田地区）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	平田遺跡群	釜石市
13	平成27年8月24日	三陸沿岸道路（山田～宮古）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	橋井六代I遺跡	盛岡市
14	平成27年8月26日	広田海岸防犯復旧（23号奥東S22号その2）工事	山岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター	中沢貝塚遺跡	盛岡市西地
15	平成27年9月7日	三陸沿岸道路（洋野～橋上）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	南巻第1遺跡	洋野町
16	平成28年2月3日	三陸沿岸道路 赤石釜石道路	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	大沢之遺跡	釜石市
17	平成28年2月19日	一般国道45号一陸沿岸道路（丸壁道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	可能あり	久慈市
18	平成28年7月3日	宮古盛岡横断道路（区界～栗川） 工事用仮設構造物	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	川井遺跡	盛岡市
19	平成28年8月19日	三陸沿岸道路 菅代～九戸	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	山田遺跡	野田村
20	平成28年10月31日	三陸沿岸道路	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	蟹崎山遺跡	釜石市
21	平成28年11月1日	一般国道106号 郡川目道路	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	新道I遺跡	盛岡市
22	平成28年12月7日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	桑原遺跡群	久慈市
23	平成29年4月19日	三陸沿岸道路（古峯釜石道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	小川遺跡	釜石市
24	平成29年5月26日	三陸沿岸道路（和野御遺跡）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	西谷Ⅴ遺跡	野田村
25	平成29年6月1日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	極楽I遺跡	洋野町
26	平成29年10月13日	三陸沿岸道路（釜石山田道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	田島遺跡群	大野町
27	平成30年3月20日	三陸沿岸道路（古峯釜石道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	大沢I遺跡	釜石市
28	平成30年4月10日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	サニヤⅦ遺跡	洋野町
29	平成30年6月15日	三陸沿岸道路（洋野橋上道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	可能あり(21)	洋野町
30	平成30年6月18日	三陸沿岸道路（宮古田巻道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	蟹野IV遺跡	宮古市
31	令和2年7月14日	三陸沿岸道路（野田久慈道路）	国土交通省東北地方整備局一陸国道路事務所	野田第2次（中平）遺跡	野田村

県埋文センター発掘調査一覧表

年度	道跡名	市町村	報告書№.	年度	道跡名	市町村	報告書№.	年度	道跡名	市町村	報告書№.
23	佐原目道跡	名古屋市	619	26	石神目道跡	山田町	709	28	青猿1道跡	名古屋市	711
24	新田目道跡	津野市	622	26	沢田道跡	山田町	722	28	千穂城道跡群	名古屋市	712
24	松山道跡	名古屋市	625	26	関本戸1道跡	山田町	723	28	高根道跡	名古屋市	724
24	野黒1道跡	野田強村	635	26	織田石崎道跡	名古屋市	639	28	力侍道跡	菅代村	694
24	花野道跡	豊橋高田市	638	26	本戸第IV道跡	名古屋市	659	28	上代川道跡	野田村	713
24	中野道跡	大船渡市	636	26	田尻道跡	大塚町	704	28	芦ヶ丘1道跡	丸森市	685
24	堀市道跡	名古屋市	629	26	松崎道跡	大塚町	706	28	芦ヶ丘2道跡	丸森市	685
25	不動ノ尾道跡	名古屋市	630	26	田嶋車室俣道跡	名古屋市	618	28	北ノ沢1道跡	津野町	725
25	上長尾道跡	豊橋高田市	630	26	千歳IV道跡	名古屋市	663	28	サニヤ1道跡	津野町	687
25	松崎道跡	大塚町	660	26	宮野貝塚	大船渡市	649	28	サニヤII道跡	津野町	714
25	沢田道跡	山田町	722	26	高田城跡	豊橋高田市	691	28	北鹿道跡	津野町	686
25	関本戸II・V道跡	山田町	640	26	幸田道跡	名古屋市	650	28	伏戸道跡	津野町	726
25	石神目道跡	山田町	709	26	赤石目道跡	大塚町	690	28	小田ノ沢道跡	津野町	699
25	津野石大森道跡	名古屋市	641	26	徳山道跡	山田町	651	28	田尻道跡	大塚町	704
25	赤田V道跡	名古屋市	630	27	西平内1道跡	津野町	673	28	迫田1道跡	大塚町	688
25	小成目道跡	京原町	644	27	サニヤ1道跡	津野町	661	28	狭田道跡	大塚町	706
25	高根IV道跡	野田強村	615	27	北流道跡	津野町	686	28	和田新築神社道跡	野田強村	692
25	高根目道跡	野田強村	645	27	南流道跡	津野町	697	28	北野ノ目道跡	丸森市	692
25	豊原池新田1道跡	山田町	642	27	上のワッカ道跡	津野町	698	28	本戸道跡	丸森市	692
25	乙高道跡	名古屋市	630	27	中平道跡	野田村	710	29	中野城内道跡	津野町	692
25	伏伊道跡	野田村	695	27	上泉道跡	野田村	674	29	沼見道跡	名古屋市	692
25	浜宮原道跡	野田強村	655	27	東津保1道跡	名古屋市	664	29	根井穴内道跡	名古屋市	692
25	菅谷道跡	菅野強村	645	27	乙部野1道跡	名古屋市	682	29	伏伊道跡	野田村	695
25	西原兼又区道跡	丸森市	646	27	越田松長根1道跡	名古屋市	666	29	田ノ尾2道跡	津野町	715
25	北野ノ目道跡	丸森市	630	27	高根道跡	名古屋市	724	29	サニヤII道跡	津野町	714
25	弘川目道跡	名古屋市	643	27	山口新込1道跡	名古屋市	696	29	尾津内道跡	津野町	701
25	松川目道跡	名古屋市	643	27	青猿1道跡	名古屋市	711	29	留野道跡	津野町	726
25	関本戸1道跡	山田町	723	27	田嶋車室俣道跡	名古屋市	718	29	南八木道跡	津野町	703
25	野黒1道跡	野田強村	635	27	田尻道跡	名古屋市	718	29	南流道跡	津野町	697
25	中野道跡	大船渡市	636	27	鎌倉道跡	名古屋市	662	29	鹿舞目1道跡	津野町	727
25	冨田道跡	大船渡市	637	27	千歳IV道跡	名古屋市	663	29	鹿舞目2道跡	津野町	702
25	赤根道跡	名古屋市	650	27	根井穴内道跡	名古屋市	683	29	北土川道跡	津野町	726
25	田の倉部跡	山田町	639	27	筒竹白影目道跡	名古屋市	675	29	上のワッカ道跡	津野町	698
25	鳩山道跡	山田町	651	27	筒竹日向1道跡	名古屋市	681	29	北ノ沢1道跡	津野町	725
25	花畑道跡	豊橋高田市	638	27	幸田道跡	名古屋市	665	29	千穂城道跡群	名古屋市	712
25	小滝道跡	名古屋市	630	27	石神目道跡	山田町	709	29	青猿1道跡	名古屋市	711
25	新里安室黄道跡	津野市	672	27	関本戸1道跡	山田町	723	29	中平道跡	野田村	710
25	九重沢道跡	津野市	672	27	南の沢IV道跡	山田町	661	29	田尻道跡	大塚町	704
25	新田道跡	津野市	672	27	川平貝塚	山田町	668	29	小白山道跡	名古屋市	705
25	平野原道跡	津野市	672	27	タケ井道跡	大塚町	667	29	狭田道跡	大塚町	706
25	南川尻道跡	津野市	647	27	田尻道跡	大塚町	704	29	内貝塚	大船渡市	707
25	下向道跡	津野町	647	27	白石道跡	大塚町	661	29	田嶋車室俣道跡	名古屋市	718
25	西平内1道跡	津野町	673	27	赤石目道跡	大塚町	690	29	長谷貝塚	大船渡市	719
25	北ノ越道跡	丸森市	654	27	小白山道跡	名古屋市	705	29	中平道跡	野田村	710
25	宇田道跡	丸森市	654	27	西和野1道跡	豊橋高田市	669	30	サニヤII道跡	津野町	714
25	伏伊道跡	野田村	695	27	高田城跡	豊橋高田市	691	30	留野道跡	津野町	726
25	中平道跡	野田村	710	27	菊花道跡	橋岡市	670	30	北土川道跡	津野町	728
25	上泉道跡	野田村	674	27	新里安室黄道跡	津野市	672	30	田ノ尾2道跡	津野町	715
25	力侍道跡	菅代村	694	28	八森道跡	津野町	676	30	鹿舞目1道跡	津野町	727
25	沼見道跡	野田強村	647	28	長谷貝塚	大船渡市	719	30	坂原1道跡	津野町	729
25	沼見道跡	野田強村	647	28	赤田城跡	住田町	678	30	下村道跡	菅代村	720
25	菅谷長尾俣目道跡	野田強村	656	28	新田IV道跡	津野市	676	31	留野道跡	名古屋市	730
25	菅谷長尾俣道跡	野田強村	656	28	田嶋車室俣道跡	名古屋市	718	31	根井穴内道跡	名古屋市	721
25	青野滝北1道跡	名古屋市	658	28	田尻道跡	名古屋市	718	31	伝石目道跡	津野町	721
25	青野滝北目道跡	名古屋市	658	28	西川目沢目道跡	山田町	679	31	米崎道跡	豊橋高田市	721
25	青野滝北目道跡	名古屋市	658	28	霞井井道跡	名古屋市	680	31	坂原2道跡	津野町	729
25	高根道跡	名古屋市	724	28	根井穴内道跡	名古屋市	683	31	北土川道跡	津野町	726
25	向古川道跡	名古屋市	657	28	留野道跡	名古屋市	684	2	本戸道跡	丸森市	733
25	留野道跡	名古屋市	684	28	山口新込1道跡	名古屋市	696	2	中平道跡	野田村	733
25	筒竹日向1道跡	名古屋市	681	28	長途道跡	菅代村	700				

V章 市町村支援

1 被災前における県及び市町村の体制と専門職員の確保

本県沿岸部における震災前（平成22年度時点）の専門職員数は以下のとおりであった。

津野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	碧泉町	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市
1	2	0	0	1	1	7	1	1	2	3	1

（計20名）

このなかで、震災前から専門職員が複数名配置されていた宮古市、釜石市、大船渡市では、復興計画が具体的に策定される前の段階から、事業候補地と所在する遺跡を見据え、極力遺跡を回避して事業を行うよう、開発部局との調整を行っていた。

また、県教育委員会では、平成23年度当初から沿岸の市町村教育委員会と個別に協議を開始し、復興計画の策定を見据えた調査への対応を検討するため、平成23年7月11日に1回目となる沿岸地区埋蔵文化財担当者会議を開催した。過去に経験したことがない膨大な調査事業量を前に、やがて急激に迫り来ることが予想される復興事業の調整作業や発掘調査を前に、専門職員の支援、派遣要請に向けた準備が進められていった。調査体制については、Ⅲ章のとおりである。

2 支援について

（1）支援方針

被災した市町村の負担軽減のために、市町村公共事業、個人住宅及び民間開発事業を対象として、埋蔵文化財専門職員の不在市町村については、事前協議、分布調査、試掘調査、発掘調査を県教育委員会が支援した。

ただし、市町村教育委員会に専門職員が配置されていても、発掘調査量等で対応できない場合については、県埋文センターが発掘調査を実施した。

（2）年度毎の支援内容

平成23年度は、4名の県職員のみにより対応してきたが、平成24年度から市町村支援対応職員として、県職員1名と文化庁の斡旋による全国から派遣された専門職員2名の計3名で班編成し、7班編成で被害の大きかった市町村で調査業務を行った。第1班は野田村・田野畑村、第2班は大船渡市、第3班は陸前高田市、第4班は宮古市・山田町、第5班は復興道路担当・釜石市、第6班は復興道路担当・大槌町、第7班は通常事業班による機動対応とした。当該年度は、主に被災市町村の試掘調査と発掘調査支援を行った。特に野田村・田野畑村・陸前高田市では、防災集団移転事業による高台移転のほか、個人住宅への対応も急増し、年間を通しての支援となった。全体的に防災集団移転事業と個人住宅対応が多く、このほかに漁業集落防災機能強化事業、町復興事業（公共下水道、盛土材料採取）などがあった。

平成25年度も発掘調査が主体となった。防災集団移転促進事業や個人住宅のほかに高速道路建設移転事業や土地区画整理事業対応が入ってきた。

平成26年度も発掘調査が主体となった。山田町では当課職員が長期にわたり従事し、

調査業務・整理作業を含めて支援した。大槌町では壊滅的な被害を受けた町中心部の町方地区において近世町屋遺構の調査支援を行った。陸前高田市では堂の前貝塚の個人住宅及び幼稚園移転計画に伴う3年目の発掘調査支援を行った。

平成27年度は発掘調査の占める割合が多くなってきたことから、3～4名一組の班編成をした。支援は宮古市以南の市町村からの要請が多くなった。山田町からは発掘調査以外の業務を含む業務支援要請を受けて、当課職員を1年間派遣することにした。

平成28年度は発掘調査量が減り、被災市町村全体で復興事業が収束に向かっているのではなく、未だに高台移転事業が発掘調査以前の段階で停滞している状況があった。もともと市町村の文化財担当職員が少ない中であって発掘調査を優先させていたために、自力で報告書作成を完了できない可能性がでてきていた。

平成29年度～令和2年度は個人住宅建設に伴う発掘調査が多くなり、文化財専門職員不在町村への支援を行った。県埋文センターでは整理作業や報告書作成業務が遅れている市町村から業務を受託し、復興交付金制度が終了見込み前に完了できた。

平成24年度～令和2年度までの支援状況は、初年度ほど防災集団移転促進事業等の大規模な事業への調査支援であり、後半ほど専門職員不在町村での個人住宅の調査支援となっている。

3 全県的な支援体制について

岩手県への支援は平成25年度から27年度がピークとなったが、復興調査が終息していくとともに、平成30年度をもって、他県からの派遣職員による支援は終了した。

短期的な支援として、平成24年度には内陸の二戸市、軽米町の専門職員による支援が、厳冬期の野田村で行われた。この短期的な支援の実現により、平成25年度当初の青森県教育委員会による5名×3週間の宮古市への出張調査に繋がり、期限が迫る調査を予定通り完了することができた。

また、陸前高田市に所在する、堂の前貝塚の復興調査で出土した遺物の整理作業を、内陸の花巻市、北上市による受託支援や、本来は県埋文センターが実施する圃場整備事業、県道工事に係る発掘調査を、花巻市、奥州市、北上市が調査主体として受託することにより、激増する県埋文センターの調査を側面で支援するなど、全県的な「オール岩手」の調査支援体制が構築された。

さらに、大船渡市と野田村の整理作業を盛岡市や県埋文センターが受託したほか、県の遺物保管スペースを拡張するべく、市町村からの譲与申請に基づき、普代村が1,100箱、久慈市が860箱の遺物譲与を受けるなど、直接・間接的な支援が拡大していったことは特筆される。

市町村支援調査一覧表（1）

No.	事業名	事業者	遺跡名	遺跡コード	所在地	発掘調査日	調査結果	発掘機関	備考
1	一般住宅建設	野田村	野田蟹穴(中平)遺跡	J060-0258	野田村大字野田第22地割地内	平成23年6月8日	着手可		
2	保育園建設	野田村	大平野遺跡	J060-0306	野田村大字野田第15地割地内	平成23年6月8日	発掘調査	生文課	
3	防火水槽設置工事	野田村	高岩倉Ⅱ遺跡	K043-0016	田野畑村大字30及び字高岩倉12地内	平成23年11月10日	着手可		
4	村道沿線7号線道路改良掘削事業	野田村	坂の下遺跡隣接地	K021-0205	田野畑村沿袋地区	平成23年11月10日	着手可		
5	社会資本総合交付金事業(村道沿線交代線改良工事)	田野畑村	田代タテ遺跡	K010-2323	田野畑村田代地内	平成23年9月8日	着手可		

市町村支援調査一覧表(2)

No.	事業名	事業者	道路名	道路コード	所在地	試験調査日	調査結果	発着機関	備考
6	一般住宅建設	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村大字野田第22地割	平成24年2月8日	善可		
7	高台移転予定地	野田村	新館道路	J630-2327	野田村大字野田第26地割地内	平成24年1月31日	善可		
8	個人住宅事業(宮窪地区)	田野畑村	菅長尾橋道路	K222-2354	田野畑村宮窪地内	平成24年4月23日	善可		
9	私道造成工事	熊高市	幸崎城道路(西田城)	N628-2050	熊高市田幸崎町字窪	平成24年4月23日～24日	工事立会		
10	災害公営住宅整備事業(原質地区)平井貫池湧出地区湧出集約互換機能強化事業	田野畑村	野場1道路付近	K222-0349	田野畑村野場地内	平成24年4月23日～25日	発着調査	埋文七	
11	防災集団移転促進事業	山田町	緒浜1道路及び隣接地	W04-0121	山田町緒浜12地割	平成24年5月7日～6月27日	善可		
12	防災集団移転促進事業	山田町	緒浜1道路及び隣接地	W04-0131	山田町緒浜12地割	平成24年5月7日～6月27日	善可		
13	防災集団移転促進事業	山田町	細浦IV道路及び隣接地	W04-0037	山田町緒浜12地割	平成24年5月7日～6月27日	善可		
14	防災集団移転促進事業	山田町	細浦V道路及び隣接地	W04-0049	山田町緒浜12地割	平成24年5月7日～6月27日	善可		
15	防災集団移転促進事業	山田町	細浦VI道路及び隣接地	W04-0039	山田町緒浜12地割	平成24年5月7日～6月27日	善可		
16	一般住宅建設に伴う宅地造成(中平地区)	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村大字野田第22地割	平成24年5月8日	工事立会		
17	防災集団移転促進事業(三浜地区)	碓石市	宝爪道路	W43-0058	碓石市片津町第10地割地内	平成24年6月5日～7日	発着調査	碓石市教委	
18	たの池災害復旧工事に伴う土砂採取	熊高市	片地家園路	JF72-1056	熊高市片津町字片津家206-2	平成24年6月11日	善可		
19	復興事業に係る陥陥地区試験調査	碓石市	野川前道路及び隣接地	W53-1055	碓石市福崎町第8地割地内1区	平成24年7月9日～11日	発着調査	碓石市教委	
20	復興事業に係る陥陥地区試験調査	碓石市	上南道路及び隣接地	W53-0230	碓石市福崎町第8地割地内	平成24年7月9日～11日	善可		
21	復興事業に係る陥陥地区試験調査	碓石市	横瀬道路及び隣接地	W43-2193	碓石市福崎町第7地割地内	平成24年7月9日～11日	発着調査	碓石市教委	
22	災害住宅移転整備事業	大畑町	夏木道路	W33-1008	大畑町大畑第24地割字小枝9-277-54地内	平成24年7月11日	善可		
23	山田町船越地区防災集団移転促進事業	山田町	岩ノ上道路	W14-0323	山田町大字船越10地割地内	平成24年7月17日～8月22日	発着調査	山田町教委	
24	一般住宅建設	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村第22地割地内	平成24年7月20日	発着調査	野田村教委	調査文庫
25	一般住宅建設	野田村	大平野道路	J660-0306	野田村大字野田13-84-196	平成24年7月20日	工事立会		
26	一般住宅建設	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村大字野田22-141-5	平成24年7月20日	発着調査	野田村教委	調査文庫
27	域内地区防災集団移転促進事業	野田村	新館道路	J630-2327	野田村大字野田第26地割地内地区	平成24年7月23日～28日	発着調査	生文課	調査文庫
28	大船渡市立錦高小中学校校庭(取付付)道路	大船渡市	小出部通隣接地	N021-0087	大船渡市三郷町錦高小字小出62-1区1号	平成24年8月1日～23日	発着調査	大船渡市教委	
29	個人住宅事業(原質地区)	田野畑村	野場1道路	K222-0349	田野畑村野場地内	平成24年8月6日	発着調査	生文課	
30	宅地造成	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村大字野田第22地割	平成24年8月28日	発着調査	野田村教委	調査文庫
31	沼沢・浦の池災害集約互換機能強化事業	宮古市	大程目道路	L635-0201	宮古市重茂第29地割第9番地1	平成24年9月5日～6日	善可		
32	大畑町夜間仮留倉庫車庫舗装工事に係る試験確認調査	大畑町	大畑代官宿路	W33-2001	大畑町上町1番	平成24年9月6日～7日	善可		
33	山田町船越地区町道建設工事	山田町	タケ目道路	W04-2305	山田町船越9地割地内	平成24年9月10日～10月10日	善可		
34	漁業集約互換機能強化事業	田野畑村	野場1道路	K222-0349	田野畑村原質地内	平成24年9月18日～20日	発着調査	埋文七	
35	一般住宅建設	野田村	大平野道路隣接地	J660-0306	野田村大字野田第15地割	平成24年9月19, 20日	発着調査	野田村教委	調査文庫
36	一般住宅建設	野田村	野田壱穴(中平)道路	J660-0258	野田村大字野田第13地割	平成24年9月20日	発着調査	野田村教委	調査文庫
37	一般住宅建設に伴う宅地造成	野田村	古館山道路	J661-0033	野田村大字野田12-61-1	平成24年9月20日	善可		
38	個人住宅建設	大畑町	白石道路及び隣接地	W23-1279	大畑町吉里吉里第11地割地内	平成24年10月16日	善可		
39	米田地区防災集団移転事業	野田村	米田地区(新設)(廣沢道路)	J661-0076	野田村米田地区	平成24年10月16日～18日	工事立会	野田村教委	調査文庫
40	米田地区防災集団移転事業	野田村	南浜地区(新設)(廣沢道路)	J661-0076	野田村南浜地区	平成24年10月16日～18日	発着調査	野田村教委	調査文庫
41	山田町(早川道路試験調査)	山田町	早川道路	W14-0354	山田町大字船越11地割地内	平成24年11月5日～12月7日	善可		
42	個人住宅建設	大畑町	塚ノ森一里塚道路	W33-1300	大畑町吉里吉里西丁目地内	平成24年11月15日	善可		
43	個人住宅建設	大畑町	白石道路	W23-1279	大畑町吉里吉里第11地割地内	平成24年11月16日	善可		
44	山田町(新沢沢1道路試験調査)	山田町	新沢沢1道路	W05-2156	山田町大字船越19地割地内	平成24年12月10日～27日	発着調査	山田町教委	
45	岩泉町東側土砂採取事業	岩泉町	横原路	K054-2030	岩泉町中島字長内53番2, 3, 4, 11, 13	平成25年2月12日～13日	発着調査	岩泉町教委	調査文庫

市町村支援調査一覧表(3)

No.	事業名	事業者	道筋名	道筋コード	所在地	試調調査日	調査結果	発願機関	備考
46	平井貴商産地区商業集積防犯機能強化事業	田野畑村	野場1道筋	K022-0349	田野畑村田野畑野場地区	平成25年3月15日	着手可		
47	野田村公共下水道管渠施設事業	野田村	野田野田(中平)道筋	J060-0258	野田村大字野田第22地割地内	平成25年3月18日	発願調査	野田村教委	調査文書
48	野田村公共下水道管渠施設事業	野田村	大平野道筋	J060-0306	野田村大字野田第13地割地内	平成25年3月18日	着手可		
49	幸田地区防犯集積移転促進事業等に伴う試調調査	宮古市	幸田南道筋	L054-1025	宮古市幸田第7地割第1、第10地割山崎	平成25年4月8日～18日	発願調査	堀文七	
50	幸田地区防犯集積移転促進事業等に伴う試調調査	宮古市	幸田V道筋→V道筋	L054-0160	宮古市幸田第13地割第6、7番地	平成25年4月19日～28日	着手可		
51	被災者個人住宅建築	田野畑村	和野1道筋	K023-1047	田野畑村和野地内	平成25年5月26日	発願調査	田野畑村教委	調査文書
52	大沢地区防犯集積移転促進事業等に伴う試調調査	山田町	大開道筋	L084-2241	山田町大沢第6地割地内	平成25年9月19、20日	着手可		
53	大沢地区防犯集積移転促進事業等に伴う試調調査	山田町	下条道筋	L084-2277	山田町大沢第10地割地内	平成25年9月19日	着手可		
54	大沢地区防犯集積移転促進事業等に伴う試調調査	山田町	浜川目田1道筋	L084-2393	山田町大沢川目地内	平成25年9月10～12日	発願調査	堀文七	
55	陸前高田市土地改善事業	山田町	八幡館跡(高田城)	NP67-0172	陸前高田市高田町浜の次、鳴石、本丸	平成25年10月15日～22日	発願調査	堀文七	
56	大沢地区個人住宅移転に伴う試調調査	山田町	大沢道筋	L084-2272	山田町大沢第7地割地内	平成25年11月12日～13日	着手可		
57	個人住宅建築事業(高道高路移転事業)	田野畑村	常道道筋	K022-2354	田野畑村字常道地内	平成25年12月12日	着手可		
58	児童養護施設・駐車場建設工事(高道高路移転事業)	田野畑村	浜谷集V道筋	K033-2003	田野畑村浜谷集字浜谷集	平成25年12月12日	着手可		
59	住宅の建築事業	田野畑村	岩呂目道筋	K042-2179	田野畑村岩呂目地内	平成25年12月12日	発願調査	田野畑村教委	調査文書
60	村道の拡幅改良工事	田野畑村	和野目道筋	K023-1129	田野畑村和野地内	平成25年12月12日	着手可		
61	個人住宅建築事業	田野畑村	和野1道筋	K023-1047	田野畑村和野地内	平成25年1月24日	発願調査	田野畑村教委	調査文書
62	旧赤赤小学校校舎北側住宅地に於ける範圍試調調査	大槌町	赤浜目道筋	W033-2237	大槌町赤浜地内	平成27年2月24日	発願調査	堀文七	
63	山田町都市計画道路建設事業	山田町	関谷IV道筋	L094-1040	山田町山田第9地割	平成27年9月9日、15日～17日	着手可		
64	山田町都市計画道路建設事業	山田町	長崎1道筋	L093-1379	山田町飯間第10地割	平成27年9月7日～14日	発願調査	山田町教委	調査文書
65	山田町都市計画道路建設事業	山田町	長崎II道筋	L093-1398	山田町飯間第9地割	平成27年9月9日、16～17日、10月5～14日	発願調査	山田町教委	調査文書
66	村道切牛本丸西側改良工事	田野畑村	真木沢IV道筋	K043-1147	田野畑村真木沢7番11地	平成28年11月25日	発願調査	生文顕	
67	馬崎地区村道拡幅工事	普代村	下村道筋及び隣接地	J060-2158	普代村第2地割字下村地内	平成28年5月24日	発願調査	堀文七	
68	馬崎地区村道拡幅工事	普代村	下村1道筋及び隣接地	J060-2147	普代村第2地割字下村地内	平成28年5月24日	着手可		
69	個人住宅	大船渡市	本丸道筋	NG21-1162	大船渡市二陸町飯倉東下村	平成28年9月1～23日	発願調査	大船渡市教委	調査文書
70	個人住宅	野田村	野田野田(中平)道筋	J060-0258	野田村大字野田第22地割140	平成30年6月13日	発願調査	生文顕	
71	個人住宅	野田村	吉原山道筋	J061-0033	野田村大字野田	平成30年7月29日	発願調査		
72	民間開発(集合建築)	野田村	坂井道筋	J071-2140	野田村大字玉川第1地割17番2、18号	平成30年10月10日	慎重工事		
73	村復興事業(教職員住宅建築)	野田村	大平野道筋隣接地	J060-0306	野田村大字野田15-19-16	平成30年10月19日	着手可		
74	個人住宅	野田村	平清水道筋	J058-2275	野田村大字野田22-02-22	平成30年10月22日	慎重工事		
75	個人住宅	野田村	野田野田(中平)道筋	J060-0258	野田村大字野田第13地割第84-96	平成30年1月27日	発願調査	生文顕	
76	(仮称)道の駅のはた整備事業	田野畑村	和野沢十字道筋隣接地	K033-0010	田野畑村常道地内	平成30年12月10日	着手可		
77	個人住宅	田野畑村	坂の下道筋	K021-0105	田野畑村奥地2番地1	平成30年12月25日	発願調査		
78	町復興事業(公共下水道)	野田村	平清水道筋	J058-2275	野田村野田	平成31年3月6～8日	発願調査	生文顕	
79	個人住宅	田野畑村	和野1道筋	K023-1047	田野畑村和野地内	令和元年9月20日	発願調査	田野畑村教委	
80	個人住宅	田野畑村	平沢沢1道筋	K022-1243	田野畑村田野畑147番地	令和2年3月24日、28日	慎重工事		
81	個人住宅	普代村	馬崎V道筋	K003-0115	普代村第1地割字上村24番地	令和2年8月12日	慎重工事		
No.	事業名	事業者	道筋名	道筋コード	所在地	工事立上り日	立上り結果		備考
82	私道造成工事	個人	米崎道(高田城)	NP68-2050	陸前高田市米崎町字館	平成24年5月25日	影響なし		
83	個人住宅新築	田野畑村	切牛目道筋	K033-2303	田野畑村切牛128番地内	平成25年6月24日	影響なし		
84	村道管渠和野野田側改修工事	田野畑村	常道中IV道筋及び隣接地	K022-2354	田野畑村松沢沢108-6地	平成28年2月25日	影響なし		
85	田野畑村放課後児童クラブ建設工事	田野畑村	平沢沢1道筋	K022-1243	下野伊都田野畑村田野畑134番地内(田野畑小学校地内)	平成28年11月29日	影響なし		

VI章 遺跡登録

沿岸地域（一部内陸地域含む）における平成23年度から令和2年度までの遺跡の新規登録を抽出した。復興事業に係り、遺跡登録事務が滞っていた遺跡も登録手続きが行われたこともあり、新規登録数は計181件、範囲変更登録は10件であった。

遺跡登録一覧表（1）

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構遺物	種別	所在地	登録日
1	1F37-1367	摩中山I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第41地割字摩中山	平成23年4月28日
2	1F38-1042	摩中山II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第41地割字摩中山	平成23年4月28日
3	1F38-2091	向川I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第39地割字向川	平成23年4月28日
4	1F37-2343	扇ノ目I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第42地割字田ノ端	平成23年4月28日
6	1F37-2356	扇ノ目II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第43地割字田ノ端	平成23年4月28日
7	1F38-2052	栞花I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第43地割字栞花	平成23年4月28日
8	1F37-2379	栞花II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第43地割字栞花	平成23年4月28日
9	1F37-2397	栞花IV遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第43地割字栞花	平成23年4月28日
10	1F37-2392	伝吉I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第42、43、44地割字田ノ端、栞花、伝吉	平成23年4月28日
11	1F47-0239	伝吉II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第44地割字伝吉	平成23年4月28日
12	1F47-0238	伝吉IV遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第44地割字伝吉	平成23年4月28日
13	1F47-0216	伝吉V遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第44地割字伝吉	平成23年4月28日
14	1F47-0345	北ノ沢I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
15	1F47-0333	北ノ沢II遺跡	縄文・古代	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
16	1F47-0256	北ノ沢III遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
17	1F47-0390	北ノ沢IV遺跡	縄文・古代	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
18	1F47-0344	北ノ沢V遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
19	1F47-0341	北ノ沢VI遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢22	平成23年4月28日
20	1F47-0257	北ノ沢VII遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
21	1F47-0299	北ノ沢VIII遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
22	1F47-1250	北ノ沢IX遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
23	1F47-1138	北ノ沢X遺跡	近世?	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第45地割字北ノ沢	平成23年4月28日
24	1F48-2192	北平内I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38地割字北平内	平成23年4月28日
25	1F48-0127	北平内II遺跡	縄文・古代	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38地割字北平内	平成23年4月28日
26	1F48-0123	北平内III遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38地割字北平内	平成23年4月28日
27	1F48-0121	北平内IV遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38地割字北平内	平成23年4月28日
28	1F48-0110	北平内V遺跡	縄文・弥生	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38、43地割字北平内、栞花	平成23年4月28日
29	1F48-0143	北平内VI遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38、43地割字北平内、栞花	平成23年4月28日
30	1F48-0158	北平内VII遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第38地割字北平内	平成23年4月28日
31	1F48-0174	平内V遺跡	縄文・古代	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第35地割字平内	平成23年4月28日
32	1F48-0197	平内V遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第35地割字平内	平成23年4月28日
33	1F48-1200	南平内I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第33地割字南平内	平成23年4月28日
34	1F48-1119	南平内II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第33地割字南平内	平成23年4月28日
35	1F48-1126	南平内III遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第33地割字南平内	平成23年4月28日
36	1F48-0041	西平内I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第32地割字西平内	平成23年4月28日
37	1F48-1049	西平内II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第32地割字西平内	平成23年4月28日
38	1F48-1115	東平内I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第34地割字東平内	平成23年4月28日
39	1F48-1039	東平内II遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第34地割字東平内	平成23年4月28日
40	1F48-1090	東平内III遺跡	近世	その他 (近世?) 生産遺跡 (製鉄関連)	その他 (近世?) 生産遺跡 (製鉄関連)	九戸郡野野町摩町町第34地割字東平内	平成23年4月28日
41	1F47-1390	続沢I遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第47地割字続沢	平成23年4月28日
42	1F47-1298	続沢II遺跡	縄文・古代	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第47地割字続沢	平成23年4月28日
43	1F47-1360	続沢III遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第47地割字続沢	平成23年4月28日
44	1F47-1542	続沢IV遺跡	縄文	散布地	散布地	九戸郡野野町摩町町第47地割字続沢	平成23年4月28日
45	WF55-0018	西浜II遺跡	縄文・近世	集落跡・付帯	集落跡	遠野市遠野町24地割255内	平成23年7月12日
46	NF52-1041	上畑遺跡	縄文	散布地	散布地	陸前高田市竹野町字上畑43-1, 2, 44-3, 45, 45-2, 47-1, 2, 107, 108, 54	平成24年2月24日
47	NF79-0031	梅神遺跡	縄文	散布地・集落跡	散布地・集落跡	大船渡市大船町字高清水跡内	平成24年6月21日
48	N022-2130	中野遺跡	縄文・平安	散布地	散布地	大船渡市二楯町字越多字中野遺跡跡内	平成24年8月11日
49	N021-2170	船通遺跡	縄文	散布地	散布地	大船渡市二楯町字越多字中野遺跡跡内	平成24年8月20日
50	J009-1088	北野XII遺跡	縄文	その他(遺跡(無し 穴・土坑)	その他(遺跡(無し 穴・土坑)	久野町夏野町島谷第4地割21番地跡内、得志町夏野町第10地割56番地34地内 外	平成24年8月21日

遺跡登録一覧表(2)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構遺物	種別	所在地	登録日
51	N021-0076	新田沢道路	平安・中世・近世		城郭跡	大船渡市三陸町新田沢大字小出地内	平成24年9月10日
52	N061-0076	薄沢道路	縄文・平安		散佈地	九戸郡野田村大字野田第10地割地内	平成24年12月10日
53	M46-2072	天下目道路	縄文		その他の遺跡(狩場)	遠野市青森町藤原17地割1-1,2,3-1,3-2,4-1,4-5,6-2,7,9,62-3,62-6,62-9,62-54,62-66	平成25年4月18日
54	M60-0306	大平野道路	奈良・平安		集落跡	九戸郡野田村大字野田第16地割地内	平成25年4月29日
55	M60-0208	中平道路	奈良・平安		集落跡	九戸郡野田村大字野田第13地割地内	平成25年4月29日
56	K022-2330	菅宮長尾鎌目道路	縄文		集落跡	下閉伊郡野田村大字野田17-1	平成25年2月26日
57	K022-2219	菅宮長尾鎌目道路	縄文		集落跡	下閉伊郡野田村大字野田17-1	平成25年2月26日
58	K011-2263	沼尻目道路	縄文		散佈地	下閉伊郡野田村一の尻1-2	平成25年2月26日
59	K021-0213	沼尻目道路	縄文		散佈地	下閉伊郡野田村一の尻19-1	平成25年2月26日
60	F49-1313	芦ヶ沢目道路	縄文		散佈地	久慈市長内町第17地割9番地22, 小久慈町第55地割9番地15 他	平成25年3月13日
61	M51-0051	上新山一里塚	近世		その他の遺跡(一里塚)	九戸郡野田村大字野田第33地割5-1	平成25年5月9日
62	M50-0027	北ノ越道路	縄文		その他の遺跡(狩場)	久慈市宇都町第3地割15番地 他	平成25年6月20日
63	BH2-1007	長途道路	縄文		集落跡	下閉伊郡喜代村第19地割字白井91番地・93番地	平成25年6月20日
64	M39-2055	丸森一里塚	近世		その他の遺跡(一里塚)	大船渡市大船渡町丸森4-1・41-2	平成25年6月20日
65	K094-1237	乙部目道路	縄文・古代		集落跡	宮古市田老字乙部地内	平成25年7月22日
66	L633-2149	木戸井内V道路	縄文		散佈地	宮古市千代地内	平成25年8月17日
67	L633-1280	木戸井内V道路	縄文		散佈地	宮古市千代地内	平成25年8月17日
68	M44-0005	イモリ沢道路	縄文		散佈地	遠野市磯崎町磯崎3地割148	平成25年8月17日
69	L090-2105	外尾敷X区道路	縄文		その他の遺跡(陥し穴)	久慈市孫田町外尾敷X区地割19番地 地内	平成25年8月27日
70	3000-1122	北野X区道路	縄文		その他の遺跡(陥し穴)	久慈市孫田町北野第10地割53番地 地内 他	平成25年8月27日
71	K084-0108	青野湖北区道路	縄文		集落跡	宮古市田老字青野湖北地内	平成25年12月24日
72	K084-0118	青野湖北1区道路	縄文		集落跡	宮古市田老字青野湖北地内	平成25年12月24日
73	K074-2290	青野湖北2区道路	縄文		集落跡	宮古市田老字青野湖北地内	平成25年12月24日
74	M61-2057	上代川道路	縄文・平安		散佈地・集落跡・生産遺跡	九戸郡野田村大字玉川第5地割	平成26年1月18日
75	M60-0367	上里沢道路	縄文		散佈地	九戸郡野田村大字野田第12地割	平成26年1月18日
76	M29-1028	坂風道	縄文		散佈地	大船渡市立総合学舎風17, 18-3, 18-7, 22-1, 27-2, 27-3, 27-4, 27-5, 27-6, 27-7, 27-8, 28	平成26年1月18日
77	M88-1278	安定下目道路	縄文・奈良・平安		集落跡	福崎高田市気町安定下50-2, 50-3, 50-4, 50-5, 50-6	平成25年度
78	F099-0199	砂沢山1区道路	弥生		散佈地	久慈市孫田町砂沢山第11地割55番地36内	平成26年10月22日
79	F099-0196	砂沢山2区道路	縄文		その他(狩場)	久慈市孫田町砂沢山第11地割55番地36内	平成26年10月22日
80	F720-2223	長石区道路	縄文		集落跡	盛岡市山田町第3地割・第4地割	平成26年12月11日
81	L720-1054	中野区道路	縄文		集落跡	盛岡市山田町第4地割	平成26年12月11日
82	L644-0045	高田目道路	縄文・古代以降		集落跡	宮古市磯崎町磯崎地内	平成26年12月17日
83	L645-0278	重茂小平道	縄文		集落跡	宮古市重茂町5地割字小平	平成27年
84	M55-1115	赤峰目道路	縄文		散佈地	遠野市遠野町23地割18-10	平成27年11月20日
85	IF57-0174	柳野道路	平安・近世		散佈地	九戸郡野田村大字第53地割地内	平成27年11月25日
86	IF59-2021	北玉川道路	縄文		散佈地	九戸郡野田村大字第14地割北玉川地内	平成27年11月25日
87	F49-1304	芦ヶ沢目道路	縄文		集落跡	久慈市長内町第17地割	平成27年12月16日
88	L643-2330	神の穂目道路	縄文・奈良・平安		生産遺跡	宮古市金谷第3地割字ノ上地内	平成27年12月24日
89	L640-2030	坂宮V道路	縄文		集落跡	宮古市坂宮第4地割地内	平成27年12月24日
90	IF49-2349	坂宮V道路	縄文		集落跡	宮古市坂宮第4地割地内	平成27年12月24日
91	L643-2353	神の穂目道路	縄文・奈良・平安		集落跡・生産遺跡	宮古市金谷第3地割字ノ上地内	平成27年12月24日
92	L684-1192	山谷1区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第4地割	平成28年2月19日
93	L684-1059	山谷V区道路	縄文		散佈地	下閉伊郡山田町大沢第4地割	平成28年2月19日
94	L684-1028	山谷V区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第4地割	平成28年2月19日
95	L674-2174	山谷V区道路	縄文		散佈地	下閉伊郡山田町大沢第10地割	平成28年2月19日
96	L684-0194	山谷V区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第4地割	平成28年2月19日
97	L684-1136	山谷V区	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
98	L684-1148	山谷V区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
99	L684-1193	山谷V区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
100	L594-0121	神田目道路	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第1地割	平成28年2月19日
101	L684-2159	新田堀IV区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第3地割	平成28年2月19日
102	L684-2136	新田堀IV区	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第3地割	平成28年2月19日
103	L684-2241	大畑道路	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第6地割	平成28年2月19日
104	L684-2232	寺ヶ沢道路	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第1地割	平成28年2月19日
105	L684-2233	ワラケ道路	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第7地割	平成28年2月19日
106	L684-2386	黒川目田目V区	縄文		散佈地	下閉伊郡山田町大沢第2地割	平成28年2月19日
107	L684-2324	赤石目1区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第12地割	平成28年2月19日
108	L684-2307	赤石目2区	縄文		散佈地・生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第12地割	平成28年2月19日
109	L684-0188	金ヶ沢1区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
110	L684-1106	金ヶ沢目2区	縄文		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
111	L684-0285	金ヶ沢目3区	縄文		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
112	L684-1267	神倉1区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
113	L684-1125	フジ沢区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
114	L684-0185	タイシ区	時代不明		生産遺跡	下閉伊郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日

遺跡登録一覧表(3)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構遺物	種別	所在地	登録日
115	1683-1276	足毛丸Ⅰ遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町豊間第11地割	平成28年2月19日
116	1683-1287	足毛丸Ⅱ遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町豊間第11地割	平成28年2月19日
117	1683-1380	足毛丸Ⅲ遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町豊間第11地割	平成28年2月19日
118	1683-1392	足毛丸Ⅳ遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町豊間第11地割	平成28年2月19日
119	1684-1161	山笠田遺跡	時代不明	時代不明	生産遺跡	下伊勢郡山田町大沢第4地割	平成28年2月19日
120	1683-2229	高寺丸Ⅰ遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町豊間第11地割	平成28年2月19日
121	1684-2278	下糸遺跡	奈良 平安	奈良 平安	生産遺跡	下伊勢郡山田町大沢第10地割	平成28年2月19日
122	1694-0301	熊石遺跡	中世	熊石 熊跡	熊跡	下伊勢郡山田町大沢第11地割	平成28年2月19日
123	1694-2327	赤石遺跡	中世	赤石 熊跡	熊跡	下伊勢郡山田町大沢第12地割	平成28年2月19日
124	1685-2091	サイノイ丸遺跡	中世	サイノイ丸 熊跡	熊跡	下伊勢郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
125	1684-1269	平ノ宮遺跡	時代不明	時代不明	生産遺跡	下伊勢郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
126	1684-1278	神倉土坑群	時代不明	土坑群	土坑群	下伊勢郡山田町大沢第13地割	平成28年2月19日
127	W55-0091	栢樹Ⅳ遺跡	縄文	縄文	集落跡	淡野市遠敷町30地割地内	平成28年9月12日
128	NF29-1256	細野一里塚	近世	近世	近世	大船渡市〇形町細野3-2、3-10	平成28年11月8日
129	I187-2335	松ヶ丘遺跡	縄文・弥生	縄文・弥生	熊跡	九戸郡野野町市第748地割地内	平成28年12月8日
130	I137-2343	岩ノ目遺跡	縄文	縄文	熊跡	九戸郡野野町市第44地割地内	平成28年12月8日
131	NF88-1376	谷地遺跡	縄文 弥生 奈良 平安	縄文 弥生 奈良 平安	熊跡	陸前高田市広田町谷地地区	平成28年12月26日
132	FF18-2312	鹿嶋倉遺跡	縄文	縄文	熊跡	九戸郡野野町市第138地割地内	平成29年1月27日
133	FF18-2250	サンエツ遺跡	縄文	縄文	熊跡	九戸郡野野町市第25地割地内	平成29年1月30日
134	FF18-1170	飯盛遺跡	縄文	縄文	熊跡	九戸郡野野町市第21地割飯盛地内	平成29年6月18日

95巻

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構遺物	種別	所在地	登録日
1	IF79-0012	続石遺跡	縄文	縄文	熊跡	九戸郡野野町市第4地割地内	平成29年7月11日
2	IF86-2265	新田遺跡	時代不明	時代不明	生産遺跡	九戸郡野野町大野第148地割31	平成29年10月2日
3	IF85-2335	一本松向Ⅰ遺跡	縄文 奈良 平安	縄文 奈良 平安	生産遺跡	九戸郡野野町大野第13地割地内	平成29年10月2日
4	IF86-2033	一本松向Ⅱ遺跡	縄文	縄文	熊跡 生産遺跡	九戸郡野野町大野第13地割地内	平成29年10月2日
5	W542-1047	仁心寺 葛遺跡	縄文	縄文	熊跡	釜石市遠敷町第2地割	平成29年11月29日
6	W522-2344	大沼遺跡	縄文	縄文	熊跡	釜石市平子町第3地割	平成29年11月29日
7	W670-2293	稲俣遺跡	縄文	縄文	熊跡	釜石市南石町第5地割	平成29年11月29日
8	W43-1318	砂子丸遺跡	縄文	縄文	熊跡	淡野市陸奥町鶴崎3地割 地内	平成29年12月22日
9	W35-1069	宮代Ⅳ遺跡	奈良・平安	奈良 平安	集落跡	淡野市松崎町北崎12地割地内、光興寺13地割地内	平成29年12月22日
10	IF67-2265	松ヶ丘Ⅱ遺跡	時代不明	時代不明	熊跡 生産遺跡	九戸郡野野町市第748地割138-53、138-54	平成30年1月22日
11	W079-1342	松木野遺跡	縄文	土器	熊跡	釜石市平子町第88地割地内	平成30年6月8日
12	IF99-0384	尺沢遺跡	縄文	漢状土坑・土坑・土器・石器	熊跡	九戸郡野野町中野第7地割030-2、30-10	令和元年6月26日
13	IF68-0395	南玉川Ⅰ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川106番2	令和元年8月13日
14	IF78-1351	小田ノ沢Ⅱ遺跡	縄文	漢状土坑	熊跡	九戸郡野野町市第3地割字小田ノ沢1	令和元年9月2日
15	IF68-0306	南玉川Ⅲ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑・土器	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川125番3	令和元年11月5日
16	IF68-1386	西戸塚Ⅰ遺跡	縄文	土坑・土器	熊跡	九戸郡野野町市第10地割字西戸塚第36番4	令和元年11月5日
17	IF68-2394	馬場Ⅱ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第7地割字馬場5番地2	令和元年11月5日
18	IF68-1045	南玉川Ⅳ遺跡	奈良・平安	整穴住居跡・木炭窯跡・土器器	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川147	令和元年11月5日
19	IF58-1139	飯盛田遺跡	縄文	漢状土坑・土器・石器	熊跡	九戸郡野野町市第21地割字飯盛6-1	令和元年11月20日
20	IF78-2369	長尾Ⅱ遺跡	縄文	漢状土坑	熊跡	九戸郡野野町小字内野7地割字長尾6番3	令和元年12月9日
21	IF68-0347	南玉川Ⅴ遺跡	縄文	土坑・土器	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川109番1	令和元年12月9日
22	IF58-2380	北玉川Ⅱ遺跡	縄文	漢状土坑	熊跡	九戸郡野野町市第14地割字北玉川106番1	令和元年12月9日
23	IF58-0105	飯盛Ⅳ遺跡	縄文	土坑・石器	熊跡	九戸郡野野町市第21-198-3	令和元年12月9日
24	W672-1341	友坂の一里塚	近世	塚2基	その他の遺跡	釜石市大字平出第3地割内	令和元年12月26日
25	W62-2188	釜石コベール式コークス炉跡	近世	コークス炉跡・煙道・煙突	生産遺跡	釜石市鈴子町23-15	令和元年12月26日
26	W62-2340	釜石鉱山鉄道ノゾ橋釜石段	近世	橋台・橋瓦構造物	その他の遺跡	釜石市野町2丁目地内	令和元年12月26日
27	W42-0192	新釜石段	縄文	縄文土器・石器・貝・魚骨	貝塚	大船渡市一陸町飯沼字砂子892-90、92-81、92-82	令和2年3月5日
28	IF55-0338	関瀬Ⅱ遺跡	縄文	縄文	集落跡	久慈市山形町川井第1地割13番地 地内	令和2年3月31日
29	IF78-0045	西戸塚Ⅲ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第10地割字西戸塚第123番1	令和2年11月2日
30	IF68-0339	南玉川Ⅵ遺跡	縄文	縄文土器・漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川106番1	令和2年11月2日
31	IF77-0378	西戸塚Ⅳ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第10地割字西戸塚第123番1	令和2年11月2日
32	IF69-1022	西戸塚Ⅴ遺跡	縄文	土坑	熊跡	九戸郡野野町市第10地割字西戸塚第36番1	令和2年11月2日
33	IF68-0213	南玉川Ⅶ遺跡	縄文	縄文土器・漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川115番1	令和2年11月2日
34	IF68-1269	南玉川Ⅷ遺跡	縄文	漢状土坑・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川106番1	令和2年11月2日
35	IF68-1036	南玉川Ⅸ遺跡	縄文	縄文土器・石器・土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川112番1	令和2年11月2日
36	IF68-2121	南玉川Ⅹ遺跡	縄文	漢状土坑	熊跡	九戸郡野野町市第11地割字南玉川111番2	令和2年11月2日
37	IF68-1368	西戸塚Ⅵ遺跡	縄文	漢状土坑	熊跡	九戸郡野野町市第10地割字西戸塚第36番5	令和2年11月2日

遺跡登録一覧表(4)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構遺物	種別	所在地	登録日
38	IF08-2321	南戸塚家1遺跡	縄文	溝状土坑	散布地	九戸郡洋野町種市第8地割字南戸塚家23番2	令和3年11月2日
39	IF78-0227	馬場田遺跡	縄文	溝状土坑	散布地	九戸郡洋野町種市第7地割字馬場138番1	令和2年11月16日
40	KG13-2378	虎尻溝敷イシ原古戦場遺跡	近世	竪堀高橋残骸	水中遺跡	下関伊都田野原村野7314番地1 他	令和3年1月8日
41	KG02-2094	大タマ沢1遺跡	近世	鉄洋	製鉄遺跡	下関伊都田野原村巻合2番地1	令和3年1月8日
42	KG02-2093	大タマ沢2遺跡	近世	供養碑	製鉄関連	下関伊都田野原村高生98番地1	令和3年1月8日
43	KG20-1217	ゴマメ沢遺跡	近世	鉄洋	製鉄遺跡	下関伊都田野原村飯島159番地5	令和3年1月8日
44	KG20-0202	フルガコイ沢遺跡	近世	鉄洋	製鉄遺跡	下関伊都田野原村日飯75番地1	令和3年1月8日
45	KG12-1237	湯草沢1遺跡	近世	鉄洋	製鉄遺跡	下関伊都田野原村川平185番地1	令和3年1月8日
46	KG12-1250	湯草沢2遺跡	近世	墓所	製鉄関連	下関伊都田野原村川平52番地24	令和3年1月8日
47	KG12-1573	湯草沢3遺跡	近世	石垣	製鉄関連	下関伊都田野原村川平52番地2 他	令和3年1月8日

遺跡範囲変更一覧表

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構遺物	種別	所在地	変更登録日
1	IF69-2380	大平遺跡	縄文		散布地	九戸郡洋野町種市第3地割字小田沢地内	令和元年6月11日
2	IF77-1026	中平飯山跡	近世		生産遺跡	久慈市山形町小国第10~15地割に隣接する国有林内	令和元年8月13日
3	IF90-0368	神崎遺跡	縄文		—	陸前高田市気仙町字神崎	令和元年11月14日
4	KG33-2320	切牛1遺跡	縄文		散布地	下関伊都田野原村切牛	令和元年11月20日
5	IF35-1294	清瀬飯山跡	近世		飯山跡	久慈市山形町日野沢第5地割地内	令和元年1月7日
6	IF56-2086	赤川1遺跡	縄文		墳墓	遠野市上郷町飯沢 地内	令和元年12月10日
7	IF93-0210	西原跡	中世		城跡跡	遠野市小友町27地割149	令和元年12月10日
8	IF37-2302	伝吉1遺跡	縄文		集落跡	九戸郡洋野町種市第43地割字伝吉地内	令和2年1月31日
9	IF69-1131	大枝飯山跡	近世		製鉄遺跡	久慈市平部町第1地割及び国有林 地内	令和2年8月21日
10	JG60-0258	野田壺穴(中平)遺跡	古墳 奈良 平安		集落跡	九戸郡野田村大字野田第13地割64-1	令和3年1月5日

Ⅶ章 普及啓発

復興調査で得られた貴重な成果を現地説明会、埋蔵文化財展、埋蔵文化財公開講座などで地域住民や県民へ公表し、遺跡の重要性を伝えることができた。

1 現地説明会

発掘調査は、(1)岩手県教育委員会が実施したもの、(2)県埋文センターに委託して行ったものがある。

(1) 岩手県教育委員会が行った現地説明会

岩手県教育委員会が市町村の調査を支援した初めての現地説明会は、平成 24 年 6 月 23 日(土)に中平遺跡(野田村)において開催された。中平遺跡の発掘調査は住宅再建に伴うもので、奈良・平安時代の集落跡と縄文時代の狩り場跡である。調査は藤原秀樹文化財専門員(北海道派遣)と深澤敦仁文化財専門員(群馬県派遣)を中心に担当し、現地説明会は地元住民を中心に約 130 名が参加した。

この説明会に先立ち、地元の野田小学校の生徒約 20 名や野田中学校の生徒約 30 名に対し体験発掘を実施した。



H24 現地説明会の様子(野田村)

現地説明会一覧表(県教育委員会)

年度	遺跡名	所在地	月日	時代区分	担当	備考
24	堂の前貝塚	陸前高田市	9月29日(土)	縄文	宇田川浩一 文化財専門員(秋田県) 長谷部馨一 文化財専門員(熊本県)	-
	新館遺跡	野田村	11月1日(木)	古代、中世	田村隆太郎 文化財専門員(静岡県) 深澤敦仁 文化財専門員(群馬県)	-
25	腰廻館跡	岩泉町	8月10日(土)	古代、中世	北原治 文化財専門員(滋賀県) 宗像公司 文化財専門員(北海道) 宇田川浩一 文化財専門員(秋田県)	9/12に小本地区仮設住宅住民向け講座を開催
26	町方遺跡	大槌町	8月3日(日)	近世、近代	柏原正民 文化財専門員(兵庫県) 小林昭彦 文化財専門員(大分県) 坂井田端志郎 文化財専門員(熊本県)	-
	堂の前貝塚	陸前高田市	12月4日(木)	縄文	浅野晴樹 上席文化財専門員(埼玉県) 今福利恵 上席文化財専門員(山梨県) 上床真 文化財専門員(鹿児島県) 村本周三 文化財専門員(北海道)	発掘調査は9/1～翌3/13
	和井内西遺跡	宮古市	6月24日(火)	縄文、近世	上垣幸徳 上席文化財専門員(滋賀県) 丸杉俊一郎 文化財専門員(静岡県) 加藤竜 文化財専門員(秋田県)	和井内小学校(当時)児童6名、教諭2名に説明会を開催

(2) 県埋文センターが発掘調査を支援した遺跡

県埋文センターでは、平成24年度に5遺跡、25年度15遺跡、26年度16遺跡、27年度6遺跡、28年度10遺跡、29年度4遺跡、30年度2遺跡の合計62遺跡で現地説明会を行い、延べ約5,300人が参加している。中でも平成26年度は発掘調査遺跡数が多く、約1,800人の参加があった。

2 埋蔵文化財展・復興発掘調査展

県内の発掘調査により明らかとなった県内の歴史を広く県民に紹介するため、毎年、県内各地で「埋蔵文化財展」を県教育委員会・県埋文センター共催により実施している。出土遺物や写真パネルの展示とともに、調査員による解説も行っている。平成26、28、29、30、令和元年度はそれぞれ、野田村、久慈市、釜石市、陸前高田市、田野畑村の被災市町村において開催された。

埋蔵文化財展一覧表

年度	開催期間	市町村	展示内容	遺跡名	入場者数
H24	11/22～25	軽米町	12遺跡の縄文時代～弥生時代までの資料352点	馬場野Ⅱ遺跡、大日向Ⅱ遺跡、長倉Ⅰ遺跡、若成田Ⅳ遺跡、宮沢遺跡、色角子久保Ⅵ遺跡、壽の木沢遺跡、板子屋敷Ⅲ遺跡ほか	383
H25	11/14～17	雲波町	14遺跡の縄文時代早期～平安時代までの資料312点	稲村Ⅱ遺跡、下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡、南日陸小路Ⅰ・Ⅱ遺跡、山尾館経塚ほか	545
H26	10/30～11/2	野田村	縄文時代、古墳時代、室町時代の資料	平清水Ⅱ遺跡、南沢遺跡、伏俣経塚ほか	1767
H27	10/30～11/1	九戸村	縄文時代、弥生時代、古代の資料	田代遺跡、道地Ⅲ遺跡、長興寺Ⅰ遺跡、丸木橋遺跡、江刺家遺跡	610
H28	1/20～22	久慈市	旧石器時代、縄文時代、古墳時代、戦国時代の資料	早坂平遺跡、外屋敷ⅤⅥ遺跡、大芦遺跡、中小山内遺跡、山根館跡	657
H29	2/16～18	釜石市	釜石市、大槌町で行った震災関連調査の成果を中心に、釜石市教育委員会が行った屋形遺跡等の調査結果を展示	小白浜遺跡、小滝沢遺跡、不動の滝遺跡、追田Ⅰ遺跡、狭田館跡、夏木遺跡、赤浜Ⅱ遺跡、田屋遺跡、松磯遺跡ほか	728
H30	11/22～24	陸前高田市	復興関連事業の室町時代、平安時代などの資料	花館跡、高田城跡、西和野Ⅰ遺跡、上長部館跡ほか	907
R1	11/29～12/1	一関市	一関市内での発掘された遺跡から出土した遺物および調査写真	清水遺跡、清田台遺跡、稻ノ沢遺跡、下館屋遺跡、中村城跡ほか	673
R2	1/22～24	盛岡市	大船渡市、住田町での復興関連調査7遺跡の出土品、写真パネルの展示	海岸遺跡、内田貝塚、長谷堂貝塚、中野遺跡、宮野貝塚、扇洲遺跡、住田米城跡、二子城跡、明神下遺跡、中林下遺跡、北条館跡	204

また、復興事業に伴う緊急発掘調査により明らかとなった調査成果の展示を「復興発掘調査展」として、県埋文センターの独自事業により、平成29年度は盛岡市（入場595人）、30年度は山田町（509人）、令和元年度は田野畑村（352人）、2年度は大船渡市（368人）、3年度は宮古市（446人）において開催している。

3 埋蔵文化財公開講座

埋蔵文化財調査展とあわせて、郷土の歴史を知り、文化財を守る意識を高めるための埋蔵文化財公開講座も開催している。毎年、考古学・歴史・民俗等の研究者による講演を行っており、平成29年度は盛岡大学文学部教授（当時）熊谷常正氏により、「新しい歴史を作るために～復興発掘調査から見えてきたもの」と題して講演が行われた。

Ⅷ章 埋蔵文化財保護マニュアルの改訂

1 改訂に至る経緯

全国の派遣職員に応援をいただいたことにより、岩手県の埋蔵文化財保護行政の仕組みについて、様々な意見が寄せられた。このため、埋蔵文化財保護行政の運用についてできることから見直しを行った。

なかでも、文化財保護法（以下、法）第93条から第97条については、このままの運用を継続していくと埋蔵文化財保護行政に支障をきたすかもしれない運用をしており、復興事業が落ち着いてきた段階で見直しを行った。

2 運用の変更点

(1) 法第93条・第94条の取扱い

従来、法第93・94条に係る指示・勧告は、「発掘調査」「工事立会」「慎重工事」「試掘調査」と行っていた。「試掘調査」は法93・94条に係る指示・勧告を行うために必要に応じて事前に行政側が行うものであることから、平成29年度から「試掘調査」の指示・勧告は行わないこととした。また、遺跡内の事前調査で遺構が確認されなかった際は、「工事着手可」とせず、「慎重工事」と勧告することとした。

(2) 法第95条から第97条の取扱い

従来、遺跡発見の手続きは、法96・97条で手続きしていたものの、開発対応の事前調整中に見つかった遺跡も含まれていたため、平成29年度から不時発見以外のものは、法95条で扱うこととした。

また、平成31年度から遺跡の範囲変更も法95条の手続きをすることとした。

3 埋蔵文化財保護マニュアル（平成30年度版）の刊行

上記の運用を見直しし、平成31年3月に『埋蔵文化財保護マニュアル（平成30年度版）』を刊行し、現在まで運用している。



岩手県 30期 号
平成 30年 6月 1日

岩手県教育委員会 教育課
生涯学習文化財部 総務課

岩手県埋蔵文化財保護行政推進委員会 編

文化財保護法第93条・第94条に係る「発掘調査」の取扱いについて（通知）
目次、埋蔵文化財保護行政におけるたごき制度の取扱いについて。
このことについて、平成29年4月から施行しております事務手続書の変更点について改めて通知します。
つきましては、本通知の趣旨をご理解いただき、事務処理に資するようお願いいたします。

注

1 変更内容	変更前	変更後（平成29年4月から）
2 発掘調査の取扱い	文化財保護法第93条・第94条に係る通知において「試掘調査」の「指示・勧告」を行っていた。	文化財保護法第93条・第94条に係る通知において「発掘調査」の「指示・勧告」を行わない。
3 慎重工事の取扱い	文化財保護法第93条・第94条に係る「発掘・通知」に対する「指示・勧告」（法第93条・第94条）は、事前調整中に発見された遺跡の取扱いについて、行政側が行う最終的な意思決定である。したがって本来、「試掘調査」は適切な「指示・勧告」を行うために必要に応じて事前に行政側が行うものと位置づけられ、最終的な「指示・勧告」として実施されることとは異なっていた。	文化財保護法第93条・第94条に係る「指示・勧告」は、「発掘調査」「工事立会」「慎重工事」とし、「試掘調査」はその3つの共通するための方法と位置づけ、したがって、法第93条・第94条の通知において「試掘調査」の「指示・勧告」は行わない。
4 発掘調査の取扱い（「試掘調査」が完了した後の場合）	法第93条・第94条の「指示・勧告」は、試掘調査後に施行する。	①事前調整の発掘 ②法第93条・第94条の「指示・勧告」は、試掘調査完了後に施行する。 ③試掘調査の発掘、試掘調査結果の調査通知 ④法第93条・第94条による「指示・勧告」

注 冊

埋蔵文化財部 岩手県 第一
文化財専門員 倉橋 謙人
企画 課長
（直通）019-629-6190
（FAX）019-629-6179

区章 総括

1 復興調査の成果と課題

(1) 復興事業に係る埋蔵文化財保護ための対応

ア 震災当初の対応について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は大規模な津波を発生させ、本県沿岸地域を中心に甚大な被害をもたらした。本県はこの大災害を東日本大震災津波と呼称することとし、県教育委員会埋蔵文化財担当は、市町村の埋蔵文化財担当職員の安否確認、史跡及び埋蔵文化財包蔵地の被害状況の確認、埋蔵文化財整理室・出土品収蔵庫等の被害状況の確認等の対応に追われた。

国指定史跡では、大洞貝塚（大船渡市）の一部が津波の被害を受けたこと、橋野高炉跡（釜石市）一番高炉積石の落下等が報告された。蛸ノ浦貝塚（大船渡市）は直接の被害はなかったものの、近隣住民の高台移転候補地となったことで、地元教育委員会と文化庁の調整や現地視察等の対応を行った。沿岸部の史跡及び遺跡は大半が段丘や高台に立地しており、大津波による被害は少なかった。

埋蔵文化財関連施設では、陸前高田市の埋蔵文化財整理室及び収蔵庫と山田町の文化財収蔵施設が壊滅的な被害を受けた。山田町の施設は完全流失だったが、全壊した陸前高田市収蔵庫周辺に出土品が散乱しているとの情報があり、県内埋蔵文化財関係者による出土品のレスキューが行われた。また、大槌町立大槌中学校保管の出土品の被災情報があり、同様の体制でレスキューが行われた。

イ 復興事業に係る埋蔵文化財保護のための対応

東日本大震災津波からの復興事業が計画された段階で、大規模な発掘調査が必要となることは十分に予想されたことであった。阪神・淡路大震災では地震の被災地と生活基盤の再建地が同じ場所であり、復興事業による要調査遺跡及び総面積は早い段階で明らかにされた。本県の場合は、繰り返し襲ってくる津波被害の少ない場所に生活基盤を移動すること、あるいは丘陵から土を搬出して低地に盛土して嵩上げすることが復興事業の中心となったため、震災後、半年間は被災市町村の復興事業計画の策定を待つこととなった。また、国・県の施策として沿岸地域間、沿岸部と内陸部を結ぶ復興道路・復興支援道路建設が計画され、それらの計画の具体化を待つ必要があった。

その間、文化庁及び被災市町村担当者との協議、文化庁主催の三県一市会議、県内文化財担当者会議、復興事業想定箇所埋蔵文化財包蔵地の把握、阪神・淡路大震災からの復興調査に係る情報収集等を行った。平成 12 年度に埋蔵文化財に係る文化財保護上の権限が都道府県等に移譲されたことから、復興事業に係る埋蔵文化財保護のための対応は被災 3 県でそれぞれ責任をもって行うこととなり、復興計画策定前に県独自の基本方針を検討することとした。

ウ 復興事業に係る埋蔵文化財保護のための基本方針

復興事業に係る埋蔵文化財保護のための基本方針は、①埋蔵文化財調査は復興事業を推

進する工程の一つと捉えること、②復興事業を担う国・県・市町村の各部局と連絡・調整を密接に行うこと、③埋蔵文化財の調査工程を復興事業の中に組み入れること、とした。この方針はかつての阪神・淡路大震災に係る復興調査の対応と大きく異なるものではない。本県としては、かつての復興調査の経験と成果を参考にしながら、埋蔵文化財復興事業の中に調査工程を組み入れ、迅速かつ柔軟な対応を行うこととした。例えば、「工事着手可」に至る埋蔵文化財の取扱いについては、①分布調査段階で遺跡と思われるものが確認されない範囲は「工事着手可」、②試掘調査実施後、記録保存不要とされた範囲も「工事着手可」、③発掘調査が終了したところから順次引き渡すことで「工事着手可」とするなど、円滑で柔軟な対応を行い、復興事業を遅らせまいよう心がけることとした。

土地に埋蔵された文化財ということで、埋蔵文化財関連の取扱いは、開発事業の諸手続きの中でも分かりにくい分野である。復興事業の直接の担当者に対しては、文書通知では伝わらないことを想定して、事業地内で調査と工事の同時並行が可能であることを丁寧に説明した。特に、遺跡内容次第で複数年に及ぶ調査でさえも工期に遅れを来すことなく終えられるとの具体的な説明を行った。

エ 全国からの専門職員派遣と調査経費の公的負担

予想される広大な面積の発掘調査に従事する専門職員の確保は、復興事業に係る各種埋蔵文化財協議への対応や、想定される大規模発掘調査を円滑かつ迅速に進める上で最大の課題であった。文化庁は、平成23年9月30日付け文化庁次長通知「東日本大震災の復興・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のための職員派遣について」により各都道府県・政令指定都市あてに協力要請を行い、平成24年度当初から全国の都道府県・政令指定都市から専門職員を受け入れることが可能となった。

調査経費については、文化庁の調整により、試掘調査等の経費や防災集団移転のための本発掘調査等の経費はすべて復興交付金で対応できることになり、国庫補助と特別交付税により実質的に地元負担ゼロで復興事業を進めることが可能となった。また、全国自治体からの職員派遣は、「地方自治法」第252条の17の規定に基づき、人件費は特別交付税で対応できることになった。沿岸市町村にも、全国の自治体や内陸市町村から派遣された専門職員が配置された。また、全国埋蔵文化財法人連絡協議会は加盟する財団間の職員出向を行うこととし、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに各府道県及び市の財団調査機関から出向職員が配置されることとなった。

オ 復興事業に係る発掘調査体制

復興事業に係る発掘調査は、通常時の役割分担を踏襲し、特別な枠組みは作らなかった。基本的に復興事業に対しては、県・市町村・財団等が連携して行うこととした。

○県教育委員会事務局生涯学習文化財課 埋蔵文化財担当

- ・県内の復興事業の窓口となり、県内の復興調査全体の総括
- ・埋蔵文化財担当に「復興班」を設置、復興事業に係る分布調査・試掘調査・発掘調査
- ・被災市町村からの要請による調査支援

○公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以降、県埋文センターと呼称)

- ・ 県教育委員会の調整を受けて、国・県の復興事業に係る大規模な発掘調査
- ・ 市町村からの委託による防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業等に係る発掘調査
- ・ 任期付調査員・期限付調査員・OB職員を新規採用し、調査体制を強化

○市町村教育委員会等、及び博物館・県埋文センター等

- ・ 市町村の復興事業（道路整備・宅地造成等）に係る試掘調査、発掘調査等
- ・ 仮設住宅、災害公営住宅、個人住宅等に係る協議・試掘調査・発掘調査等

内陸市町村教育委員会は沿岸市町村の教育委員会への専門職員の派遣(自治体派遣)や、国・県の通常事業等の受託による後方支援等を行い復興調査の進展に貢献した。一方、県立博物館は主に文化財レスキュー、及び被災文化財の安定化処理・修復等を担当した。県教育委員会柳之御所担当及び世界遺産担当は、通常班の試掘調査対応等による後方支援や文化財レスキューの連絡・調整を行った。

カ 復興事業に係る発掘調査等の円滑化・迅速化

県教育委員会は、埋蔵文化財調査の円滑化・迅速化の取組として、早期の事業把握とそれに伴う分布調査の実施と要試掘調査範囲の通知、試掘調査の迅速な対応を行い、未伐採箇所の試掘調査は人力掘削を行った。県埋文センターは、調査開始を4月初頭、調査終了を11月又は12月として発掘調査期間を2ヶ月延長した。また、最新デジタル技術を導入し調査の効率化に努めた。一方、厳冬期については、地表下30cmまでの凍結とそれによる泥滑化、測量機材の故障や作業員の健康面での配慮、凍結道路の移動による事故発生の恐れなどを理由に発掘調査は行わないこととした。

県教育委員会は、事業者との調整により要調査範囲を縮小することで期間の短縮を図った。通常時は試掘調査後に要調査範囲を示し発掘調査を実施するが、高台造成事業等では計画段階で遺跡の中心地を除外することや、盛土・舗装を行わない等の工法変更で調査不要（確認調査のみ）とした。個人住宅では、試掘調査に基づき調査範囲の縮小や建物基礎の構造変更等の協議を行うこととした。

（２）復興調査の成果と課題

平成24年度に本格化した復興調査は、平成25～27年度にピークを迎え、平成28～29年度に漸減傾向となり令和元年度に概ね終息した。沿岸市町村、県埋文センター、県教育委員会は連携を密にしながらそれぞれ復興調査を遂行した。現地説明会では多くの参加者があり、地域の貴重な文化財を再発見する機会となった。以下、その成果と課題を列挙し若干の説明を行う。

ア 復興調査の「成果」

① 復興調査によりそれぞれの地域の固有の歴史や文化が明らかになったこと

沿岸部を中心に行われた復興事業に係る発掘調査は、考古学や歴史学の分野に留まらず、それぞれの地域の固有な歴史や文化を明らかにした。その概要は次の（３）で説明する。

② 復興事業を遅延させることなく「発掘調査」が進められたこと

県埋文センターでは、予想を超える遺構密度や遺物量であることが判明した際、県教育

委員会の調整を受けて、全体の調査体制を再編成するなど臨機応変な対応を行い、調査終了期日を守るよう努力した。期限を守られず、調査をせずに開発事業が開始されたということとはなかった。

③ 被災者や事業者の理解を得ながら、埋蔵文化財保護に係る迅速で円滑な対応を行ったこと

想定外の遺構・遺物が発見された場合や重要遺構が発見された場合、悪天候等で調査期間を確保できない場合等、早期の事業担当者との連絡・調整により、期間延長等の了解を得ることができた。復興事業の計画策定の遅延や突然の計画変更・計画中止等、埋蔵文化財保護の対応が困難な場面があったが、事業者との密な連絡と調整を行い、理解を得ながら迅速で円滑に対応するように努めた。

④ 現地説明会等により調査成果を地域に還元するよう努めたこと

限られた発掘調査期間の中で可能な限り現地説明会を開催するよう努めた。地域の人々の関心が高く100名を超える参加者も珍しくなかった。県埋文センターは、現地説明会が諸事情で開催できない場合でも、「現地公開」により成果を還元する努力を行った。派遣・出向職員が担当した遺跡では、それぞれ派遣元のお国言葉での説明があり、全国からの支援を印象づける効果があった。

⑤ 専門職員の派遣・出向により調査体制が充実し、埋蔵文化財調査が進捗したこと

全国及び県内の自治体や財団からの派遣・出向職員による調査支援により、県教育委員会・県埋文センター・市町村教育委員会等の調査体制が整い調査能力が向上したことで、復興事業に係る各種調査が格段の進捗をみせた。特に、専門職員不在あるいは絶対数の少ない市町村ではかけがえのない支援となった。事例の少ない近世町屋の調査では、派遣職員による的確な調査が行われた。

⑥ 冬期間の室内整理等により充実した内容の報告書作成が可能となったこと

本県独自の冬期間調査休止により、調査担当の職員により調査記録・遺物の整理、原稿執筆等を行うことができた。支援・出向職員は帰任後の報告書刊行となるが、自ら整理し原稿を残して置くことで、的確で充実した内容の報告書作成が可能となった。

⑦ 埋蔵文化財専門職員間の協力・連携の動きが生まれてきたこと

全国からの派遣・出向職員が帰任した後も当県・市町村等職員との交流が継続し、帰任先で本県の縄文文化を紹介する展覧会開催などの動きがあった。本県の専門職員も派遣・出向職員から学ぶことも多く、共同研究による考古学論文作成等の動きもみられた。

⑧ 調査技術の共有化を進め、デジタル技術を積極的に導入したこと

復興調査では、製鉄炉跡や配石遺構、貝層、土器捨て場等、専門性の高い遺構が多く調査された。県埋文センターでは、より多くの調査員がそれらの調査を経験し、調査技術を共有し高めていくことができた。また、追尾型トータルステーションによる測量・実測やドローンを活用した航空写真・写真測量等を積極的に導入し迅速化に貢献するとともに、現地説明会資料等で活用した。

イ 復興調査の「課題」

① 調査支援の体制を今後の調査にも生かしていくこと

復興調査においては、専門職員の派遣・出向の他に、県教育委員会から市町村、内陸市町村から沿岸市町村、近隣県から沿岸市町村、博物館等から沿岸市町村等の調査支援の形が現れ、復興調査の進捗に貢献した。復興調査という緊急の支援体制であり、専門職員が不足する市町村への職員配置を進め、近隣市町村のブロック単位での連携や、大規模災害等の際の調査支援体制が機能するように、日頃から専門職員同士の情報共有や共通する事項の調査・研究に取り組む必要がある。

② 重要遺跡と判明した場合の調整と現状保存の可能性を検討すること

遺跡は「掘ってみなければ分らない」という側面がある。重要遺跡であると判明した場合、復興事業者とどのように調整を進めていくか、あらかじめ文化財側の対応マニュアルを準備しておく必要がある。今般の復興調査でも重要遺跡がいくつか判明した。全面保存が難しいとしても部分的な保存等について可能な限り調整を進めたが、最終的に地元自治体及び住民に復興か、遺跡保存かの二者選択を迫った形になった。各地域の重要遺跡を早期に把握する日常の取組みが必要である。

③ 発掘調査を担う人材育成を進めていくこと

復興調査は長期間に及び、調査員の多くは疲弊し、休みもとれない状態が続いた。復興のため、被災者のためという意識だけががんばってきたような面がある。少しでも緩和するため専門職員等の採用を進めたが、十分ではなかった。大学等との連携により、人材育成を進めていく必要がある。

(3) 復興調査で明らかになった地域史的な成果

10年に及ぶ復興調査は、これまで発掘調査が必ずしも多くなかった本県沿岸地域の「地域史」を明らかにしてきた。時代毎に復興調査成果をまとめ、それぞれの遺跡調査の概要を述べる。

ア 縄文時代早期の集落跡

外屋敷 X IX 遺跡(久慈市)、上長部 館跡(陸前高田市)、荷竹日向 I 遺跡(宮古市)、宿戸 遺跡・中野城内遺跡(洋野町)、石峠 II 遺跡(山田町)等で該期の集落跡が調査された。外屋敷 X IX 遺跡では、住居跡4棟と焼土3基、尖底土器の底を突き刺した痕跡等が発見された。上長部館跡では、土坑埋土から草創期～早期の石器(尖頭器)と粘板岩製の刮片が出土したことから、付近に石器製作地が所在したと推測されている。宿戸遺跡では平面形が隅丸方形ないし楕円形の住居跡が発見されている。本県沿岸地域では、該期の遺跡は中沢浜貝塚や関谷洞穴が知られていたが、該期の遺跡が沿岸部の広範囲に分布していることが明らかになった。

イ 縄文時代前期の大型住居跡

赤前 III 遺跡・越田 松長根 I 遺跡・田鎖車 堂前 遺跡(宮古市)、赤浜 II 遺跡(大槌町)、小田ノ沢 I 遺跡(洋野町)、芦ヶ沢 I 遺跡(久慈市)、峯岸 遺跡(大船渡市)、石峠 II 遺跡(山田町)等で該期の集落跡が調査された。越田松長根 I 遺跡では、残存状況の良い前期前葉の住居跡群が発見された。小田ノ沢 I 遺跡では、前期前葉の住居跡14棟と土坑群、芦

ヶ沢Ⅰ遺跡でも長軸約 12m の大型住居跡を含む前期前葉の住居跡 10 棟が発見された。赤前Ⅲ遺跡では長軸 13.6m の大型住居跡を含む前期末～中期初頭の住居跡群が、赤浜Ⅱ遺跡では長軸約 15m の大型住居跡を主体とする住居跡群が発見されている。ロングハウスとも呼ばれる大型住居跡は、内陸部の集落跡で発見例が多かったが、沿岸部にも分布域が広がっていることが明らかになった。

ウ 三陸の貝塚

周知の貝塚としては、内田貝塚・長谷堂貝塚・野々前貝塚・宮野貝塚（大船渡市）、堂の前貝塚（陸前高田市）等で調査が行われた。内田貝塚では、縄文前期～中期の住居跡群が調査され、該期の貝層からは骨角器やマグロやイルカ、アシカ等の骨が出土した。マグロの頸椎骨が多いのが特徴である。長谷堂貝塚では、中期後半の住居跡や配石遺構、大型貯蔵穴等が発見された他、貝層の調査でイヌ・ニホンジカの骨やアサリ、カキ等の貝殻が出土した。野々前貝塚では成人や乳児等の縄文時代の人骨 5 体が出土した。堂の前貝塚は、広田湾を望む約 30m の台地に立地する中～後期の貝塚で、中央部に住居跡・貯蔵穴、斜面部に「土器捨て場」が発見された。貝塚とは関係しないが、方形の掘方をもつ古代の大型建物跡が発見されている。復興調査で貝層が発見された遺跡としては、屋形遺跡（釜石市）、沢田Ⅲ遺跡（山田町）等が挙げられる。屋形遺跡は中期末～後期初頭の集落跡であるが、中央部に住居跡群・貯蔵穴、斜面地に岩礫性二枚貝を主体とする貝塚が形成されたことが明らかになり、貝塚と集落がセットになった貴重な遺跡として令和 3 年に国の史跡に指定された。

エ 縄文中期の大規模集落

中野遺跡（大船渡市）、石峠Ⅱ遺跡・間木戸Ⅰ遺跡・間木戸Ⅱ遺跡・浜川目 沢田Ⅰ遺跡・沢田Ⅲ遺跡（山田町）、浜岩泉Ⅲ遺跡・菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡（田野畑村）、力持遺跡（普代村）、高根遺跡・袋帯遺跡・田鎖車堂前遺跡・青野滝北Ⅰ～Ⅲ遺跡（宮古市）、長谷堂貝塚（大船渡市）、北ノ沢Ⅰ遺跡（洋野町）、堂の前貝塚（陸前高田市）、赤浜Ⅱ遺跡（大槌町）、片岸貝塚・小白浜遺跡（釜石市）等、多くの遺跡が調査された。力持遺跡では狭小な範囲に住居跡 60 棟以上が発見された。石峠Ⅱ遺跡では、中期後半の住居跡 110 棟以上が発見され、装飾的に石を配置した複式炉を有する住居跡が特筆される。高根遺跡では山腹急斜面に住居跡・貯蔵穴が階段状に構築されていた。住居跡群に直径及び深さ約 2 m の貯蔵穴が伴う集落跡であり、貯蔵穴は 500 基以上発見された。海まで 300m の海辺に面した浜川目沢田Ⅰ遺跡では、複式炉を伴う多くの住居跡が発見され、大コンテナ 437 箱分の遺物が出土した。沢田Ⅲ遺跡では中期後半の大集落跡が発見された。住居跡覆土から堅果類・獣骨・貝類が出土した。間木戸Ⅰ遺跡では、前期末～中期末と平安時代の住居跡が 270 棟発見された。土器捨て場も北ノ沢Ⅰ遺跡・堂ノ前貝塚等で調査され、大量の遺物が出土した。沿岸部の集落跡は緩斜面部に居住域、斜面部に貯蔵穴・土器捨て場を配置する特徴があることが明らかになった。

オ 縄文後期の配石遺構

該期の遺跡としては、西平内Ⅰ遺跡・南川尻遺跡・サンニヤⅠ遺跡・宿戸遺跡（洋野町）、

乙部野Ⅱ遺跡・岩井沢遺跡（宮古市）、長谷堂貝塚（大船渡市）、赤浜Ⅱ遺跡（大槌町）等が調査された。乙部野Ⅱ遺跡では住居跡50棟と貯蔵穴、土器捨て場等が発見され、該期の拠点的な集落跡として注目される。西平内Ⅰ遺跡では、後期初頭～前葉の配石遺構・列石・整地層等が発見された。配石遺構は、2つの石列からなる内帯と46基の配石からなる外帯で構成されるという特徴を有し、周辺からは住居跡や掘立柱建物跡等が発見された。長谷堂貝塚では道路幅の細長い調査区で、後期初頭の配石遺構が発見された。赤浜Ⅱ遺跡では後期中葉頃の配石遺構が発見され、複数で列状の配石を構成し、標高1m台の斜面に沿って円礫が段状に組まれている遺構も発見された。中期末の遺構であるが、田鎖車堂前遺跡（宮古市）では集石を含む大規模な配石遺構が発見された。

カ 縄文晩期から弥生時代の集落跡

野場Ⅰ遺跡（田野畑村）、浜川目沢田Ⅰ遺跡（山田町）、宿戸遺跡（洋野町）等で晩期の遺構・遺物が発見された。野場Ⅰ遺跡では、前期及び晩期の住居跡89棟と貯蔵穴群が発見された。浜川目沢田Ⅰ遺跡では、住居跡と貯蔵穴群からなる集落跡が発見され、周辺から大量の土器や石器、土偶、翡翠製勾玉等が出土した。弥生時代の遺跡は、田鎖車堂前遺跡・木戸井内Ⅳ遺跡・乙部野Ⅱ遺跡・赤前Ⅲ遺跡・向新田Ⅲ遺跡（宮古市）、上代川遺跡（野田村）、長途遺跡（普代村）、鍛冶沢遺跡（大船渡市）等で調査された。田鎖車堂前遺跡では東北各地から搬入された弥生中期の土器が出土しており、乙部野Ⅱ遺跡では弥生前期の住居跡10棟以上が発見され、住居跡から完形の土器が多数出土した。木戸井内Ⅳ遺跡では弥生後期の方形基調の住居跡2棟が発見され、鍛冶沢遺跡では赤穴式の土器が出土した。上代川遺跡では、弥生中期の住居跡30棟と土器埋設遺構や土坑、焼土遺構が発見され、同遺跡南方にある長途遺跡でも、中期～後期の住居跡や土器、土製紡錘車等が出土した。古墳時代の遺構・遺物は中平遺跡・上泉沢遺跡（野田村）、沼里遺跡（宮古市）等で発見された。これまで、沿岸部の弥生時代の集落跡の調査は多くなかったが、復興調査により該期の遺跡が沿岸各地に所在し、特に宮古市周辺と野田村・普代村周辺に多く分布していることが明らかになった。

キ 古代の集落跡

奈良時代の遺跡では、津軽石大森遺跡・沼里遺跡（宮古市）、平清水Ⅲ遺跡（野田村）、八森遺跡・鹿糠浜Ⅰ遺跡（洋野市）等で該期の遺跡が調査された。津軽石大森遺跡では7世紀後半～8世紀中葉を主体とする多くの住居跡と庇付きの掘立柱建物跡等が発見された。遺物は土師器・須恵器・鉄製品・青銅製分銅等である。宮古市域は古代集落跡が数多く分布することから、閉村の蝦夷が昆布を貢献するための閉伊郡家が所在する可能性が考えられてきた。遺跡と「閉村」の年代が近いこと、関東系土師器や湖西産須恵器須恵器、鉄製品の存在から、当遺跡は昆布貢献に関係する官衙関連遺跡と想定する意見もある。平清水Ⅲ遺跡では奈良～平安時代の住居跡60棟が発見され、土壇墓から藤手刀が出土した。箱や青銅製金具等の残りも良好で、末期古墳以外での出土という点でも貴重である。八森遺跡・鹿糠浜Ⅰ遺跡からも該期の住居跡が発見されており、洋野町初の事例となった。

平安時代の遺跡は、赤前Ⅲ遺跡・金浜Ⅴ遺跡・弘川Ⅲ遺跡・田鎖車堂前遺跡・田鎖館跡・沼里遺跡・青猿Ⅰ遺跡・千徳城跡・隠里Ⅲ遺跡（宮古市）、田の浜館跡・石峠Ⅱ遺跡・沢田Ⅲ遺跡・間木戸Ⅱ遺跡・荷竹日向Ⅰ遺跡、浜川目沢田Ⅰ遺跡（山田町）、昼場沢遺跡（久慈市）、蒲沢遺跡（野田村）等、多くの遺跡が調査された。荷竹日向Ⅰ遺跡では、住居跡約70棟と鍛冶工房・鍛冶炉・排滓場等が発見され、鉄生産工房を営む集落の様相が明らかになった。田鎖館跡・田鎖車堂前遺跡では、尾根から斜面、沖積地にかけて住居跡が連続している状況が確認された。赤前Ⅲ遺跡では、鉄生産炉と工房を含む住居跡41棟が発見され、鉄生産を営む集落と推測された。隠里Ⅲ遺跡は、丘陵尾根から斜面部に営まれた集落跡で、工房を含む住居跡や鍛冶炉、火葬関連施設等が発見されており、灰釉陶器片が出土した点でも注目される。昼場沢遺跡では約2mの小型住居跡から銅鏡が出土した。銅鏡は平安後期の瑞花双鳳八稜鏡で、鏡面に阿弥陀三尊像が線刻されていた。宗教施設や儀式遺構で出土する遺物であり、出土した遺構や遺跡の性格解明に向けた総合的な調査が期待される。

ク 古代から中世の鉄生産遺跡

赤前Ⅲ遺跡・根井沢穴田Ⅳ遺跡・高根遺跡・弘川Ⅰ・Ⅱ遺跡・隠里Ⅲ遺跡（宮古市）、焼山遺跡・浜川目沢田Ⅱ遺跡・間木戸Ⅴ遺跡・田の浜館跡・沢田Ⅲ遺跡（山田町）、田屋遺跡（大槌町）、鍛冶沢遺跡（大船渡市）等で、主に鉄を生産したと考えられる遺構が発見された。間木戸Ⅴ遺跡では、8世紀の遺物包含層下位の地層から鉄滓が発見されたことから、本県の鉄生産開始が8世紀後半以前に遡る可能性が考えられた。焼山遺跡では、炭窯跡・製鉄炉跡・鍛冶炉跡・鍛冶工房跡・排滓場など製鉄に関連する一連の遺構が発見された。炉に羽口が装着された状態で発見された製鉄炉は、古代の鉄生産の技術を知るうえで貴重な資料となった。沢田Ⅲ遺跡では19基の鉄生産に関わる炉跡が発見され、根井沢穴田Ⅳ遺跡では残存状態の良い製鉄炉跡4基が発見された。4基の炉は地下構造が明確で、炉から流れ出したノロの痕跡が明確に残っていた。古代末から中世にかけての製鉄炉と考えられており、製鉄技術の変遷を知る上で貴重な事例となった。上代川遺跡では、古代末～中世前期の製鉄関連工房6基と炭窯跡40基、排滓場2ヶ所が検出された。製鉄炉と排滓場がセットとして調査できたこともあり、炭窯を始め当時の鉄生産の様相を知る上で貴重な調査事例となった。さらに、鍛冶沢遺跡では13世紀前半と推定される製鉄炉2基と鍛冶炉1基が発見され、大量の炉壁や鉄滓が出土した。気仙地方初の事例であり、清水貝塚でも鍛冶滓を伴う住居跡が発見されており、本県沿岸地域に鉄生産が広範囲に広がっていたことが明らかになった。その他に大規模縄文集落が発見された高根遺跡でも明確な地下構造をもつ製鉄炉2基が発見されており、千徳城遺跡群・青猿Ⅰ遺跡・沼里Ⅲ遺跡・浜川目沢田Ⅰ遺跡等でも、鍛冶を中心とする鉄生産関連工房が発見された。

ケ 豪族の居館跡と町家の調査

田鎖車堂前遺跡（宮古市）では幅5m、深さ2mの大溝跡が発見された。周辺からは「かわらけ」や陶磁器類、小札や馬具等、多くの遺物が出土した。12世紀後半の豪族居館を囲む堀跡の可能性が高く、土橋状の出入り口も確認されている。奥州藤原氏に関連する豪族

居館跡と考えられている。川原遺跡（釜石市）でも、礎石のある掘立柱建物跡と中国産磁器・東海産陶器・硯・かわらけ等が出土しており、奥州藤原氏に関連する豪族居館跡と推測されている。

中世の城館跡は、**腰廻館跡**（岩泉町）、**上長部館跡**・**花館跡**・**高田城跡**（陸前高田市）、**田の浜館跡**（山田町）、**伏津館跡**・**新館遺跡**（野田村）、**宇部館跡**（久慈市）、**世田米城跡**（住田町）、**狭田館跡**（大槌町）、**千徳城遺跡群**（宮古市）、**小出館遺跡**（大船渡市）等が調査された。三陸鉄道小本駅に近い腰廻館跡では、2つの郭のうち東郭の調査が行われ、塹堀や土塁など戦国期の城館跡に伴う遺構や平安時代の住居跡が発見された。伏津館跡では、土塁・竪穴建物跡・土輪・掘立柱建物跡等が発見され、15世紀代の青磁・白磁・常滑産の陶磁器や銭貨等が出土した。大型建物跡や出土した陶磁器類から財力のある有力豪族の居館と推測される。町の中心を見下ろす高田城跡では、中心部分ではなかったが、堀跡・土塁・切岸・掘立柱建物跡等が発見された。小出館遺跡は、越喜来湾を南に臨む丘陵に立地する城館跡で、城館跡全体を調査した貴重な事例であった。2地区の平場を2重の堀で囲む単郭構造で、主郭・外郭・土塁・虎口からなる中世城館の構造が明らかになった。16世紀中ごろから末にかけての城館跡と考えられている。

町方遺跡（大槌町）は、藩政期に盛岡藩大槌通23ヶ村を統治した大槌代官所を中心とする町屋遺跡である。度重なる津波と大火、地下水位が高いことにより次々に盛土造成された結果、町割り遺構が明確に残っており、陶磁器・木製品・金属製品が豊富に出土した。浜川目沢田Ⅰ遺跡（山田町）では16インチ砲弾の被帽や12.7mm機銃弾が出土し、軍事又は戦災遺跡の側面も窺わせた。

コ 明らかになった地域の歴史

復興調査の対象地は、これまで沿岸部で調査を行った場所と立地的に異なる場所であった。高台移転や三陸沿岸道路は海岸段丘や丘陵部に多く、浜辺や港湾等は対象とはならず、しかもまとまった面積を調査することができた。遺跡の立地とまとまった面積であったことで、新知見が多く得られたことは間違いない。本県沿岸部では、縄文集落や貝塚は津波被害の少ない段丘や台地に所在していたと考えられていた。例えば、浜川目沢田Ⅰ遺跡は山田湾に面した低地（嵩上げ対象地）であったが、海水面から数mしかない場所に集落跡が存在したことが分かった。配石遺構が海岸部に延びていた赤浜Ⅱ遺跡でも同様のことが言える。縄文人は主に高台で生活していたが、海辺の低地でも生活し、貝塚も存在した可能性があることが調査成果から窺うことができる。配石遺構（環状列石）や集落と一体になった鉄生産遺跡、中世城館跡、奥州藤原氏関連の居館跡の立地や遺構・遺物は学術的な成果であるが、それらは地域づくりの核となり得るものであり、地域史研究の基盤となることが期待される。

2 次世代への継承に向けて

（1）埋蔵文化財保護行政の方向性

東日本大震災津波発災後10年に及ぶ本県の復興調査の経験は、埋蔵文化財保護行政が今

後取り組んでいくべき方向性を明らかにした。特に「遺跡の把握と開発事業との調整」や「地域の埋蔵文化財についての周知活動」、「専門職員の育成と地域間の連携」については、次世代に埋蔵文化財を確実に継承していくためにも、積極的に取り組んでいく必要がある。

ア 遺跡の把握

埋蔵文化財の保護の観点からすれば、復興事業を計画する際に埋蔵文化財包蔵地を回避する調整を行うことが理想である。本県は、広い県土で山間地が多いため、未発見の遺跡が多数存在すると考えられる。本県の「岩手県遺跡情報システム」は毎年改訂し、市町村と連携して遺跡の位置と範囲、調査履歴等の内容の充実を図っているが、開発事業に伴う分布調査・試掘調査結果が反映されているのが実情である。県教育委員会は過去に中世城館跡や貝塚、製鉄遺跡等の詳細分布調査を実施してきたが、今後、関係市町村と連携して新規テーマの詳細分布調査や再調査が必要である。

宮城県では貞観 11 年(869 年)の大地震による津波痕跡が発見されており、本県でも過去の大災害の痕跡を調査することは今後の各地域の防災・減災を考えていく上で重要である。沿岸各地に残されている津波記念碑は設置された場所にも意味があり、津波痕跡と併せ分布調査を進めていく必要がある。

イ 地域の埋蔵文化財についての周知活動

それぞれの地域には、その場所の風土に根ざした生活文化があり、地中には先人たちの残した文化や地域の歴史が眠っている。埋蔵文化財保護行政は遺跡を確実に把握した上で、地域住民に地域の埋蔵文化財を分かりやすく説明していく必要がある。「史跡」が所在する地域では、その価値を適切に分かりやすく説明し「地域の宝」としての認識を高める必要がある。また、地域の埋蔵文化財の周知のため、遺跡の標柱や案内板等の設置、博物館・資料館等での出土品の展示やパネル・映像等での解説、学校教育での社会科補助資料化等の取組みを進めていくことが考えられる。

ウ 専門職員の育成と地域間の連携

市町村の埋蔵文化財担当の専門職員を確実に配置するとともに、世代交代等も視野に入れて人材育成を進める必要がある。研修等を通じて専門職員のスキルアップを図ることも重要である。また、地域間でブロック協議会を設け、相互扶助のシステムを作ることが必要である。県・各市町村担当者との日常的な連絡・調整や、地域ブロック内での連携体制の構築を進め、内陸部と沿岸部の相互支援や県と市町村の連携のシステムも重要である。このことは岩手県文化財保存活用大綱にも記載しており、調査成果の活用の取組みにおいても重要である。

(2) 復興調査成果の活用

文化財保護の取組みは「保存」と「活用」を車の両輪のように進めることが重要とされている。発掘調査・報告書刊行という「記録保存」の工程が終息し、出土品と調査記録等の確実な「保存」と、調査成果や出土品、遺跡整備等の「活用」が今後の課題となる。

ア 復興調査の成果の「活用」

復興調査成果の「活用」については、それぞれの地域の実態に応じた取組みを行うこととなるが、次のような方策が考えられる。

① 報告書刊行後の出土品の活用

復興調査で膨大な量の遺物が出土し、県埋文センター調査分は県の所有となっている。出土品は出土した市町村で活用するのが望ましいものの、収蔵施設等の問題で市町村への譲与が進まないのが現状である。保管場所の確保と出土品を管理する職員の配置が必要であるが、譲与後は詳細なリスト作成や調査研究の実施や、学校教育や公民館活動等の学習の場で活用等が望まれる。

② 発掘調査及び出土品の研究報告会・展覧会

すでに沿岸市町村で復興調査の報告会やシンポジウム等は開催されている。今後は震災前の調査等や出土品の研究成果の報告等を組み入れ定例化することが望まれる。調査パネルや出土品の展示は博物館等内だけでなく、ショッピングセンターや地域の公民館などでの移動展示も有効である。

③ 残された遺跡範囲や一括出土品の活用の取組み

復興事業により開発された部分はあるとしても、残された遺跡範囲は発掘調査で価値付けられた埋蔵文化財包蔵地である。残された範囲の史跡指定に取り組む市町村もあり、公有化や整備を進めることで「地域の宝」となることが期待される。まとまった範囲の調査である場合、出土遺物は地域の生活や文化を表す一括出土品となることから、地域学習の教材としての活用等が期待される。

④ 遺跡や出土品についての地域での講座や勉強会

地域の歴史や宝を、地域住民が学習する機会をつくること。専門性があり、地域住民からの要望で市町村あるいは県が指導・助言を行うこととする。

⑤ 現地で遺跡を紹介する標柱や案内板の設置

標柱や案内板の設置は、基本的に市町村教育委員会の対応となり、それらの仕様は統一的なものが望ましいが、設置や内容に関しては地域の人々の要望を組み入れ、地域の標柱等としての意識を高める。調査された遺跡周辺を歩く会の開催も必要であり、地域活動の一環となるように工夫する。

⑥ 調査成果を基にした市町村・各地域の関連遺跡の分布調査

それぞれの地域の特性に基づいた遺跡等の詳細分布調査を行い、地域毎に遺跡地図を作成し調査成果を共有する。市町村教育委員会や有識者と地域住民が一体となった調査活動が望ましい。

⑦ 遺跡や出土品等の動画化等による発信

遺跡や出土品の魅力を発信するため、動画撮影を行いYouTube等で公開する。動画作成の取組は固有のストーリーを作る必要があり、若年層を含めた地域全体の取組みとなることが期待できる。

イ おわりに

東日本大震災津波被災後、ある新聞紙面に「高台移転 遺跡の壁」という見出しが掲げら

れた。発掘調査は、国民の共有財産を保護するという行政措置のひとつであり「遺跡の壁」との表現は不適切な表現といえる。一方、被災者の生活再建のための発掘調査は単なる「行政措置」ではないことも確かである。記録保存としての発掘調査は、その地域の歴史や文化を掘り起こし、地域の在り方を見直し、現在に至る地域の歩みを明らかにする手段でもある。宅地造成等のハード面の復興に対し、ソフト面での復興（心の復興）を担う取組みの一つが「発掘調査」といえるかもしれない。

復興事業により、被災した場所から高台など安全な場所へ居住地が移っていった。発掘調査は主に段丘や高台などで行われ、発掘調査地は被災者にとってなつかしい故郷ではなく、新たに生活を営む未知の場所であった。発掘調査が明らかにしたのは、未知の場所の隠された歴史や昔の人々の生活や文化である。復興調査の成果を基にして、沿岸部の人々が新たな生活の場に想いを巡らし共有することで、新たな地域コミュニティづくりの契機になることができるのではないかと。被災地の発掘調査は、暮らしの積み重ね、つまり先人の努力の跡＝地域の誇りを再確認することであり、より広い意味での「地域の文化」を見出すことのできる方法であり、発掘調査成果の活用はこれからの被災地の本当の意味での復興に繋がることを期待したい。

本書をまとめるにあたり、発災からの記録を見返したが、恥ずかしながら書類や記録として残されていないものもあり、当課の歩みを正確に整理できたとは言いがたい。当時の対応がいかに慌ただしいものであったかが想定されることではあるが、後世への記録という観点からは非常に反省すべきことである。そのため、記録にないものもそのまま報告する。

本書が少しでも今後の埋蔵文化財の保護へと役立てば幸いである。

岩手県文化財調査報告書 第165集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(東日本大震災津波の復興事業に係る埋蔵文化財調査の総括報告)

発行日 令和4年3月28日

発行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

編集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

印刷 第一印刷(有)

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4丁目6-40
